

岡山市中区区づくり推進事業
平成30年度事業報告書

	事業名	ページ
広域交流部門	第21回百間川ふれあいフェスティバル	1～
広域交流部門	たかしま音楽祭・2018	8～
身近な交流部門	操明学区「桜祭り」	15～
身近な交流部門	三勲学区ふれあい事業	23～
身近な交流部門	第33回サマーフェスタ旭操“2018”	33～
身近な交流部門	三世代交流ふれ合いフェスタうの2018	42～
身近な交流部門	ふれあい夏まつり in 竜之口	51～
身近な交流部門	平井まつり“2018”	65～
身近な交流部門	第16回富山文化まつり	72～
身近な交流部門	第19回翔け操南ふれあい祭り	79～
身近な交流部門	第30回沢田柿まつり	87～
身近な交流部門	高島ふれあいとんどまつり	99～
地域活動部門	地域づくり会議の運営と事業展開	105～
地域活動部門	操明学区防災フロント（最前線）事業	113～
地域活動部門	住みたいまち幡多学区を創り隊	123～
地域活動部門	地域の防災力の向上	131～
地域活動部門	竜之口学区防災マップ作成	140～

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

平成 30 年 12 月 /2日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 百間川ふれあいフェスティバル実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者氏名 実行委員長 西崎 和良

以下の通り報告します。また、報告書の内容について、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第21回百間川ふれあいフェスティバル
事業実施区域(小学校区)	宇野, 旭竜, 高島, 幡多, 賊田, 竜え口, 三勲学区
① 業実施内容	<p>○ 開催日時 平成30年4月22日(日)午前9時より午後3時迄</p> <p>○ 開催場所 岡山市中区東川原百間川地内ワイワイ広場</p> <p>○ 事業実施内容</p> <p>第21回百間川ふれあいフェスティバル</p> <p>(1) 開催日時 平成30年4月22日(日)午前9時より午後3時迄</p> <p>(2) 開催場所 岡山市中区東川原地先 百間川ワイワイ広場</p> <p>雨天時: (小雨決行) 中止 (延期) 4月29日 日曜日 9時00分 ~15時00分</p> <p>第21回百間川ふれあいフェスティバル 児童・園児写生コンテスト表彰式ならびに作品展示</p> <p>(1) 開催日時 平成30年7月25日(水)~27日(金)</p> <p>(2) 開催場所 岡山市中区役所1階展示、2階表彰式</p> <p>○事業内容</p> <p>1. 百間川の自然と歴史と役割を知ろう</p> <p>(1)国土交通省岡山河川事務所(歴史と役割) パネル展示等</p> <p>(2)岡山県古代吉備文化財センター(歴史) 百間川埋蔵文化財展示</p> <p>(3)岡山淡水魚研究会(自然) 百間川の魚を水槽展示等</p> <p>(4)水辺教室(自然) 川に入る体験を通じて百間川の環境を知る</p> <p>(5)防災への啓発活動 取組紹介等</p> <p>2. 百間川の自然と環境を守ろう</p> <p>(1)岡山市環境保全課(環境) 環境問題に関する啓発パネル展示</p> <p>(2)水辺教室(自然・環境) 川に入る体験を通じて自然を守る</p> <p>(3)高齢者グラントゴルフ・学童ポートホールなどの大会参加者で会場とその周りを清掃</p> <p>3. 育もう豊かな心を</p> <p>(1)児童・園児による写生コンテストの開催 ①写生大会 ②絵画指導</p> <p>(2)前年度の応募絵画の展示</p> <p>(3)近隣の中学校・高校のボランティアスタッフを募集し事業などの手伝い</p>

4. 楽しもう河川広場で

- (1)宇野小学校児童による吹奏楽演奏(宇野学区)
- (2)操山中学校生徒による吹奏楽演奏(宇野、三勲学区)
- (3)太鼓の演奏(宇野学区)
- (4) 学童ポートボール大会(宇野、旭竜、幡多学区)
- (5)グランドゴルフ大会 競技終了後、希望者に対し、競技を指導
(宇野、旭竜、高島、幡多、竜之口、財田、三勲学区)
- (8)少年ソフトボール大会(宇野、旭竜、高島学区)
- (9)テニス大会
- (10)フアジアノ少年サッカー教室(今回は河川敷グランド使用不可のため中止)

その他の取組

- (1)献血と献血啓発活動
- (2)自衛隊岡山地方協力本部
- (3)岡山市消防局・岡山市消防航空隊
- (5)岡山市都市整備局公園緑地部緑化推進課
- (6)岡山市公園協会

運営スタッフ人数	200名	来場者数	6500名
出演者人数	400名	天候	晴れ

② 事業の成果 (目的をどの程度達成できか、まちづくりにどのような効果を与えたか)

過去20回にわたり実施した百間川ふれあいフェスティバルを通じて地域との連帯感、自然環境に対する認識、百間川の歴史・役割等、河川管理の大切さ、河川が果たす治水・利水についての理解を深め、環境美化・ゴミ減量化など協働してまちづくりに取り組まなければ成らない事を皆様に知ってもらえたと思います。また、百間川の歴史的な経緯・役割などの理解を深めること及び地域との連帯感・一体感を醸成するだけではなく、環境保全・地域の活性化による地域の発展・青少年健全育成等初期の目的を果たし、実行委員会の組織作りや、地域ボランティアの参画などと、年を重ねるごとに充実してきていると思います。

また周辺の学区をもとにした組織・実行委員会をより強固なものにしていくこと、また近隣を含めてより多くの対象となる団体やボランティア組織なども今後共同事業としてできる土壌は整いつつあるように思われます。4月下旬の日曜日には「百間川ふれあいフェスティバル」が開催されるという認識は定着してきたのではないのでしょうか。

今後、より地域・学区の皆さんがより活用でき、また子供たちが豊かな心を育める環境作りの一環となり、この百間川で楽しんでもらえるよう継続していけるフェスティバルに育て上げ、こんどはここで学んだ子供たちが次世代の実行委員会となればと思いますので、今後とも行政との連携をより一層強固なものにし、ご協力を仰ぎたいと切望しております。

③ 事業における地域性・特色

歴史的経過がある「百間川」をテーマとしています。地域住民との交流、百間川とのふれあい、歴史的役割の認識、地域防災意識の向上、治水・利水・環境等河川管理の重要性等の認識で、地域らしさをアピールするために、このフェスティバルを通じて、百間川の素晴らしさ、役割や重要性がさらに深められ、「百間川」が地域の又、中区の住民の身近な憩いの場・地域連帯の場・行政と民間との協働(パートナーシップ推進事業)の場とすることによって地域性を向上させる事が出来ました。

今回も、スポーツ広場としての百間川を知って楽しんでもらうために野球場、ソフトボール場、テニスコート、サッカー場を開放し利用してもらいました。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- (1) 中学生ボランティア(主に操山中の生徒)も参加が定着しているので、今年以降はこのボランティアの輪を広げるために、近隣の学生にも声掛けし、子供たちの参加を促すことにより、今後の運営アイデアなども含めた内容作りにもより良い意見を求め、実行できる子供たちの現場フィールド作りを念頭におき積極的に参加してもらおう場を作っていたと思う。
- (2)水辺教室などを開催して子供たちに環境問題の大切さなどを身近にあるもので考えるような場を提供した。
- (3)百間川の歴史的な役割の認識、地域防災意識の向上を今一度PR強化していき、また治水・利水・環境等河川管理の重要性等、百間川がその役割を担って行く現状等を正しく認識していただけるようさらに努力した。
- (4)予算を抑え、なおかつデザイン的にアイデアを絞って、みんなの眼につき、かつ見に来てくれるようなチラシを考えた。
- (5)出店者からは出店料をグランドゴルフ大会やポートボール大会参加者からは参加費を徴収し、その他、協賛金・寄付金を多く集めるよう、実行委員会として全力で取り組んだ。
- (6)実行委員会としては、物販・飲食の店を出さないのので、出店業者への案内を送るときにパンフレット・チラシなどで企画内容等の周知を徹底した。
- (7)今後時流にあったまた予算のかからない新しい企画を考えて、また収入の上がりにくい時節あまり皆に負担のかからないような運営体制を構築し、かつマンネリ化しないように今後の組織も含めて運営していきたい。
今回よりホームページ開設し、ホームページからもメールによる問合せ、出店申込ができるようにした。結果として問合せ、申し込みがあったのでそちらの方も充実させていきたい。ライオンズクラブをはじめとするフェイスブックの活用や、ライオンズクラブメンバーのフェイスブックにも「いいね」をしてもらいながら仲間への告知を促進できた。(ITの活用)

⑤事業の公共・公益性

これまでも「百間川の歴史を学ぼう・自然を知ろう、守ろう、役割を知ろう」をテーマとしてきたが、これからの地方分権社会実現の流れの中で、我々市民と行政が、対等の立場で如何に「協働」(パートナーシップ)を発揮して円滑な事業を推進するかが重要な課題であるので、それらを意識し市民一人ひとりの意識改革にも貢献したいと思っている。

今後の協働のあり方として、地域防災意識の向上と防災活動、治水・利水環境等河川管理については、行政・市民とが協力して、アダプト事業の本格的な実施をおこなうなど、「住民自治」の充実を図っていくことが、円滑な事業実施に結びつくものである。地方分権社会の実現は、市民との「協働」が重要であるが、限定した事業のみでは、真の「地方分権社会の構築」は不可能と思っている。協働できると判断されるあらゆる施策を対象とすべきである。したがって、本事業は、地域の特性や市民の行政に対する関心度を高めるだけでなく、「住民自治」の成熟化を図る上で有効であると同時に、このフェスティバルを通じて、環境問題・危機管理・健康福祉並びに青少年の健全な育成など他の事業に波及し、岡山市の発展に貢献しなければならないと思っている。

⑥事業の情報公開

事業の情報公開については、あらゆる手段を講じて広くPRしました。今後も、関係する町内会のみならず連合町内会などの活用を図りながら、より効果を上げていこうと思っています。7連合町内会所属の142町内へ町内回覧版、町内掲示板等を利用、又7小学校へも絵画の案内とともにパンフレットを有効利用してもらった。今回よりホームページ開設し、ホームページからもメールによる問合せ、出店申込ができるようにした。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、 ② HPに掲載、 ③ 市の広報紙に掲載、 ④ TV、ラジオで公開、
⑤ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善等

合い見積もりを取るなどして経費削減に努めた。

自主財源の確保は、広告掲載者の増加に努めた。

⑧今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

財政関係については、依存の体質から脱却できず最大の課題となっているが、全力で収入を増加させること、また経費の削減などで、依存体質から脱却するように努力したい。出店者には応分の出店料等を徴収して実行委員会の運営資金に充当するなど工夫をこらしている。その他、協賛金・寄付金を多く集めるよう、実行委員会として全力で取り組んでいる。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

平成30年度審査会意見は平成30年3月15日に出されたものであり、このフェスティバルは4月22日に開催です。当年度の審査会の意見を聞きそれを検討しその意見を反映させるのは、日程的に困難です。でも前年度の意見を参考に少しずつ改善していったのが現状です。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
平成 29.2.26 と平成 29.5.20 審査会意見の内容に置き換えます。
テーマ・体験型イベント・チラシ

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

カヌー教室の開催ができていません

(理由:

カヌー教室開催可能な団体を探せなかった)

助言等の内容について、改善ができましたか。

Ⅰ できた

② おおむねできた

Ⅲ 一部できなかった

④ まったくできなかった

Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
30年1月10日	第1回企画会議を始める これ以降必要に応じて随時開催をする
1月17日	第1回準備会議を始める これ以降は企画会議と準備会議は合同で必要に応じて随時開催をする
3月14日	全体合同委員会 当日の全体スケジュール、イベント内容、注意事項の確認
4月20～21日	前々日前日の準備作業
4月22日	第20回百間川ふれあいフェスティバルを開催
4月22日	撤収作業終了後、全員で会場内を清掃する
5月9日	反省会の開催
7月24日	絵画展の準備作業
7月25日～27日	岡山市中区役所2階ロビーにて児童絵画展の表彰式を開催、 その後1階ロビーにて展示
7月27日	絵画展の撤収作業

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
宇野学区連合町内会	18
旭竜学区連合町内会	4
高島学区連合町内会	3
幡多学区連合町内会	5
財田学区連合町内会	3
竜之口学区連合町内会	2
三敷学区連合町内会	2
岡山市消防団宇野分団	14
宇野学区体育協会	20
宇野学区婦人会	1
宇野学区交通安全対策協議会	1
宇野学区子ども会育成連絡協議会	16
宇野学区交通安全母の会	1
宇野地区愛育委員会	3
宇野学区老人クラブ連合会	1
宇野学区社会福祉協議会	4
旭竜学区子ども会育成連絡協議会	1
岡山せとうちライオンズクラブ	24
計	18団体 123人

⑫事業実施メンバー

	申込団体での 役職	氏 名	住 所	年齢	備 考
1	大会会長				宇野学区連合町内会会長
2	副会長				旭竜学区連合町内会会長
3	〃				高島学区連合町内会会長
4	〃				幡多学区連合町内会会長
5	〃				財田学区連合町内会会長
6	〃				竜之口学区連合町内会会長
7	〃				三熟学区連合町内会長
8	〃				宇野学区コミュニティ協議会会長
9	〃				岡山市消防団宇野分団分団長
10	〃				宇野学区交通安全対策協議会会長
11	〃				宇野学区体育協会会長
12	〃				宇野学区婦人会会長
13	〃				宇野学区体育協会会長
14	〃				宇野学区交通安全母の会会長
15	〃				宇野学区子ども会育成連絡協議会会長
16	〃				宇野地区愛育委員会会長
17	〃				宇野学区老人クラブ連合会会長
18	〃				宇野小学校 PTA 会長
19	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
20	実行委員長				宇野学区
21	副実行委員長				宇野学区交通安全対策協議会会長
22	総務部会				岡山せとうちライオンズクラブ
23	〃				宇野学区
24	〃				幡多学区
25	企画部会				宇野学区
26	〃				高島学区
27	〃				幡多学区
28	会場・出店部会				幡多学区
29	〃				岡山せとうちライオンズクラブ
30	〃				幡多学区
31	〃				宇野学区
32	〃				旭竜学区
33	〃				幡多学区
34	〃				高島学区
	〃				
	〃				

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	800,000円	800,000円	
協賛金	520,000円	620,000円	パンフレット掲載料
負担金	350,000円	365,000円	店舗出店料
参加費	10,000円	8,000円	参加費
広告料			
寄付、他収入	20,000円	319円	
計	1,700,000円	1,793,319円	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	150,000円	142,800円	用紙、文具、賞状代等
②食糧費	100,000円	161,693円	事業当日の昼食飲料代
③印刷製本費	250,000円	139,375円	パンフ印刷代、コピー代等
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	120,000円	151,560円	切手、送料、電話代等
⑦広告料	30,000円	26,136円	広告代等
⑧手数料		53,264円	プレート作成代等
⑨使用料	700,000円	659,038円	テント、設備、球場等使用料
⑩原材料費	50,000円	16,843円	展示パネル代等
⑪委託料	120,000円	334,400円	会場交通整理等警備委託
⑫工事請負費	50,000円	円	会場設営、現状復帰費
⑬報償費	90,000円	70,000円	出演料等
⑭保険料	40,000円	38,210円	イベント障害保険
計	1,700,000	1,793,319	

岡山市区づくり推進事業報告書

(広域交流部門)

平成 30 年 6 月 30 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ たかしまおんがくさいじつこういんかい
団体名 高島音楽祭実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ナザキ ショウ
代表者役職・氏名 会長 鈴木 正二

以下の通り報告します。また、報告書の内容について、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	たかしま音楽祭・2018		
事業実施区域(小学校区)	高島小学校区・旭竜小学校区		
①事業実施内容	○開催日時: 30年5月26日(土曜日) 11時10分～15時30分 ○開催場所: 百間川せせらぎ広場(岡山市中区今在家<岡山市中消防署南側>) ○事業実施内容 次のような音楽演奏及び演舞を行った 1) Wayra Japan (ペルー人)の演奏 2) うらじゃ演舞 3) 高島公民館オカリナクラブの演奏 4) バンド演奏 わいわいスターズ 5) 香月ダンスファミリー(KDF)のダンス 6) 和太鼓演奏(備前陣太鼓) 7) 岡山市消防音楽隊の演奏 8) 岡山市立高島中学校吹奏楽部の演奏 9) 私立就実高校中学校吹奏楽部の演奏 10) 高島中学校・就実高校中学校、両吹奏楽部合同によるコラボ演奏 ※ 町内会、有志による屋台の出店をした。		
運営スタッフ人数	35人	来場者数	約 1,000人
出演者人数	281人	天候	晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

- 1) 今回は、旭竜学区の町内会及び各種団体が多数加わることにより、学区の垣根を超えて親睦・交流を図ることができた。
- 2) 両学区の町内会、各種団体などの繋がりが深まり、互助の精神を養うことができた。
- 3) 今回3回目となり、地域住民手作りの文化事業として定着する兆しが見えてきた。
- 4) 小学生・中学生が、地域のボランティア活動に触れながら、豊かな心を育んでくれることが期待できた。

③事業における地域性・特色

高島・旭竜学区は、西に旭川、百間川、北に竜の口山を擁し、豊かな自然環境に恵まれ、多くの歴史的遺産も有し、文化の香り高い地域である。

会場の「せせらぎ広場」は、百間川の源流としての川が流れ、4月初めには、「金平桜」（きんぺいざくら）が咲き誇り、年間を通して、保幼小の子どもたちが、遊びや学習のために訪れ、また多くの市民の憩いの場となっている。

このような豊かな自然の中で、地元である高島中学校吹奏楽部、就実高校中学校吹奏楽部を中心とした、「地元民による、地元民のための音楽祭」を開催することにより、両学区内に住む人々に楽しい音楽を提供し、同時に学区の人々の交流を深め、互助の精神を養うことができた。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- 1) 過去の2回については、旭竜学区からの参加が八幡町内会だけであったが、今回は旭竜学区の7町内会全部と10団体が参加し、高島学区・旭竜学区が一体となって参加できた。
- 2) 昨年度は、屋台をステージの裏側に配置したため、屋台販売担当者は何をやっているのか解らないままで終わってしまった。
改善策として、今年は屋台とステージが向き合うように配置し、屋台の販売担当者も観客と共に「たかしま音楽祭2018」を楽しむことができるようにした。
- 3) 前記2)との関連で、屋台を移動した後のステージ裏スペースを、駐車スペースに変更した事などで、昨年以上の駐車場を確保できたので、来場者が車で来やすくなった。
- 4) 最後に高島中学校・就実高校中学校、両吹奏楽部の合同によるコラボ演奏を取り入れ、音楽祭のフィナーレを大いに盛り上げることが出来た。

⑤事業の公共・公益性

（音楽を通じて）

- 1) 地域の活性化を図ることができた。
- 2) 高島学区、旭竜学区の両区民の地域コミュニティーの増進を図ることができた。
- 3) 地域の文化を高めることができた。
- 4) 音楽演奏の練習に励む人々に、練習の成果発表の場を提供することができた。

⑥事業の情報公開

1) チラシの全戸配布	8,000枚
2) 保育園、幼稚園、小学校、中学校、事業所へのチラシ配布	7,000枚
3) 町内会、事業所等へのポスターの掲示	400枚
4) 電子町内会への掲載	2町内会(賞田、中井)、高島連合町内会
5) 会場付近への幟旗の掲示(前日から)	30本
6) 高島公民館だよりへ地域の催しとして掲載	平成30年5月号
7) 市民のひろば・おかやまへ地域の催しとして掲載	平成30年5月号
8) 山陽新聞へニュース記事掲載	平成30年5月29日
9) オニビジョンによりドキュメントとしてTV放送	平成30年6月16日・17日 7月7日

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(幟の設置、ポスターの掲示)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善等

(経費の節減)
① 前年度の消耗品を出来るだけ使いまわし利用して、新規：発注数を少なくした。
(自主財源の確保)
① 新たに旭竜学区6町内会が加わり、協力金(1万円×6町内会=6万円)が増加した。
② 集金担当者が奮起し、訪問企業数を増やし、広告費の大幅増加に努めた。

⑧今後の課題(次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

1) 審査会意見として、「来場者が参加できる演奏、演舞を企画してはどうか」と指摘された。 今後は、オカリナ演奏等で多くの人に親しみのある演奏をしてもらい、来場者も演奏を聴きながら一緒に歌を唄うこと等を検討したい。
2) 審査会意見として、「保険の加入を検討してはどうでしょうか」と指摘された。 次回からは保険加入を予定している。
3) 音楽祭前日の準備、当日のボランティア活動に、青年層、壮年層の関わり方が少なく、高齢者層が多い。もっと青年層、壮年層に関わってもらう必要がある。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

1) 旭竜学区の全町内会と10団体が参加し、高島学区・旭竜学区で一体的な開催ができた。	
2) 昨年10月組織変更し、方針を決定する実行委員会と、実行委員会で決まった方針に従って活動する実行部隊を区分した。	
3) ポスターの印刷枚数も200枚から400枚に増やし、PRに努めた。	
○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容	助言等の内容について、改善ができましたか。
右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。	Ⅰ できた
(理由:)	② おおむねできた
	Ⅲ 一部できなかった
	Ⅳ まったくできなかった
	Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
1) 平成29年 8月19日	全体会議・実行委員会の再構築・新役員の選任など
2) 平成29年10月 9日	平成30年度「区づくり事業申請」に向けての打ち合わせ 新役員の選任
3) 平成29年11月19日	開催日程・予算の確認。当日の作業分担、今後の予定など協議
4) 平成30年 1月 7日	平成30年度区づくり推進事業申請確認な
5) 平成30年 2月25日	平成30年度区づくり推進事業ヒアリング
6) 平成30年 3月 8日	当日の作業分担の協議、確認
7) 平成30年 4月 1日	作業分担の確認
8) 平成30年 5月 6日	準備状況、前日及び当日の作業分担の再確認
9) 平成30年 5月26日	音楽祭開催(当日)
10) 平成30年 5月26日	反省会(当日の夜)
11) 平成30年 6月10日	反省点、改善点、来年度の方針を協議
12) 平成30年 6月20日	監査

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
高島学区 国府市場東町 町内会	3
高島学区 祇園上 町内会	2
高島学区 祇園下 町内会	8
高島学区 中の里 町内会	1
高島学区 段原 町内会	4
高島学区 山浦 町内会	1
高島学区 中井 町内会	1
高島学区 祇園山手 町内会	1
高島学区 今在家 町内会	5
高島学区 藤の里 町内会	1
高島学区 国府市場 町内会	2
高島学区 国府市場出村 町内会	3
高島学区 民生委員・児童委員協議会	3
高島学区 祇園下 子ども会	5
高島学区 体育協会	2
高島・旭竜学区 高島公民館	1
桜ヶ丘学区 西桜ヶ丘八丁目 町内会	1
旭竜学区 中島 町内会	3
旭竜学区 八幡 町内会	8
旭竜学区 高島一丁目 町内会	1
旭竜学区 高島二丁目西 町内会	1
旭竜学区 高島二丁目東 町内会	1
旭竜学区 八幡東町 町内会	1
旭竜学区 公務員住宅自治会	1
旭竜学区 旭竜小学校PTA	1
旭竜学区 子ども育成会連絡協議会	1
旭竜学区 民生委員・児童委員協議会	1
旭竜地区 社会福祉協議会	1
旭竜学区 婦人会	3
旭竜学区 体育協会	1
旭竜学区 環境衛生協議会	1
旭竜学区 老人クラブ連合会	1
旭竜学区 おやこクラブ・どんぐり会	1
岡山市消防団宇野分団	1
高島・旭竜学区 高島中学校吹奏楽部	60
その他 就実中学校・高校吹奏楽部	110
その他 オカリナクラブ高島	12
その他 わいわいスターズ	8
その他 うらじゃ踊り連 我喜屋	20
その他 KDF香月ダンスチーム	40
その他 備前和太鼓チーム	10
その他 岡山市消防音楽隊	20
その他 ワイラ・ジャパン	1
計	43 団体 379 人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会 長				祇園上 町内会
2	副会長				祇園下 町内会
3	副会長				八幡 町内会
4	副会長				段原 町内会
5	事務局長				市場東 町内会
6	町内会長				今在家 町内会
7	町内会長				藤の里 町内会
8	町内会長				市場出村 町内会
9	町内会長				祇園山手 町内会
10	町内会長				山浦 町内会
11	会長				高島学区 民生委員
12	民生委員				高島学区 民生委員
13	副会長				祇園下 町内会
14	副会長				祇園下 町内会
15	相談役				国府市場 町内会
16	会員				市場東 町内会
17	会員				市場東 町内会
18	副会長				段原 町内会
19	会員				国府市場 町内会
20	会員				祇園下 町内会
21	会員				祇園下 町内会
22	会長				祇園下子供会
23	副会長				祇園下子供会
24	副会長				祇園下子供会
25	会員				段原 町内会
26	会員				段原 町内会
27	会員				段原 町内会
28	会員				段原 町内会
29	町内会長				桜ヶ丘西8丁目町内会
30	町内会長				中島 町内会
31	会長				旭竜学区子ども育成会連絡協議会
32	会員				八幡 町内会
33	会員				八幡 町内会
34	会員				八幡 町内会
35	会員				中島 町内会

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	350,000	350,000	
協賛金	100,000	180,000	連合町内会・単位町内会
負担金	0	0	屋台出店料など
広告料	100,000	210,000	企業からの広告料
寄付、他収入	150,000	113	個人からの寄付金
計	700,000	740,113	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	225,000	216,682	インク・トナー(26,927円) のぼり・ポール10セット(18,360円) 横断幕3枚(85,968円) 会場内警備ボランティアベスト20着(52,704円) その他(32,723円)
②食糧費	10,000	4,151	会議お茶代
③印刷製本費	45,000	33,630	ポスター400枚(11,870円) チラシ15,000枚(21,100円) コピー代ほか(660円)
④通信運搬費	173,000	161,980	切手・はがき代(31,300円) 楽器等輸送トラック3台(76,680円) 部員輸送バス2台(54,000円)
⑤手数料	5,000	4,428	振込手数料
⑥使用料	182,000	198,932	ステージ用大型テント2張り(68,580円) 発電機4台(34,472円) 音響設備(30,000円) 仮設トイレ3基(65,880円)
⑦原材料費	10,000	7,910	幟設置用杭など(7,910円)
⑧委託料	0	32,400	会場内警備員(2名)
⑨報償費	50,000	80,000	出演(4組)
⑩保険料	0	0	
計	700,000	740,113	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 31年 1月 7日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 そうめいがつくさくさなみきじふこういんかい 操明学区桜並木実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 実行委員長 池田 裕

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	操明学区「桜祭り」		
事業実施区域(小学校区)	操明小学校区		
① 事業実施内容	<p>○開催日時: 平成30年 4月 1日(日曜日) 10時 00分 ~ 15時 30分</p> <p>○開催場所: 岡山ふれあいセンター(岡山市桑野) 芝生広場及び軽スポーツ広場</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> a 「桜の樹にみんなで花を咲かせましょう」コーナー (大きな桜の樹にメッセージを書いた花びらをみんなに書いて貼り付けてもらいます。) b スタンプラリー(会場内、桜並木の見学場所等をクイズを解きながら訪れてもらいます。) c 小学生によるポスターコーナー(様々な桜の絵が楽しめます。)と写真展 d レクリエーション(ゲーム・昔遊び・グラウンドゴルフ・ふわふわハウス・竹とんぼ作成)コーナー e ステージ(吹奏楽・コーラス・大正琴・太鼓・大型紙芝居・ジャズ等) f 飲食及び展示テント(各種団体・JA・学区内協力企業・岡山県ポート連盟・消防等行政機関) g 前年度の桜並木、及び桜祭りの写真展を行った。 <p>会場・ステージ・ゲームコーナーの各々が連結し、ふれあいセンター内や桜並木見学場所も含め、スタンプラリー等で全てのエリアの踏破を楽しく目指してもらえたと思っています。</p>		
運営スタッフ人数	300人	来場者数	6000人
出演者人数	150人	天候	晴れ

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

「桜祭り」を続けることで、学区内外に百間川の桜並木の存在をアピールできていると実感している。操明小学校の児童にお願いしている「桜祭り」のポスター作製も、年々増加し300名近い児童から応募があり定着しつつある。近年は、小・中学生や学区民の活動発表の場としても認知され、ステージの参加団体の申し込みが時間を超過するのではと心配するほどである。また、飲食テントも学区内の飲食店からの参加希望が増え、周知が浸透していることがうかがえる。

学区全体が参加できる行事が秋の体育祭しかなかったが、「桜祭り」を実施するようになってから、学校・PTA・各種団体・学区民の交流が活発になる効果は表れている。クリーン作戦・自主防災活動等の活動とお互いに刺激を与えつつ、相乗効果が出ているものと思われる。

③ 事業における地域性・特色

百間川西岸土手に植樹している桜並木の保存・整備の啓蒙を一つの目的としている。この学区内に完成した社会資本を広く学区民及び岡山市民に知ってもらい、大切に育てることを訴えるとともに、自然環境の美化への意識を高めたいと思っている。美しい自然環境の中では、荒廃した人間性や隔絶した人間関係は発現しないという信念のもと取り組んでいる。

拡大し続ける学区の特性を鑑み、住民の連携・一体感の醸成が不可欠な情勢である。そのために、連合町内会・各種団体・幼小PTA・親父の会・スポーツ少年団・かがやきクラブ（老人会）まで、学区内のほとんど全ての団体に参加・協力をいただき、学区が一体となって運営していることが特色である。

「安心・安全の街づくり」を積極的に推進している当学区の活動の紹介も行った。また、学区内の全戸に案内・チラシを配布し、小さな子供たちからお年寄りまで楽しめる企画としている。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

出店等が集中する中心エリアに「桜の花を咲かせよう」コーナーを設け、ステージ・ゲーム・レクリエーションと、誰でもどこかに楽しめるエリアがあるという設定にした。

スタンプラリーの広報が浸透してきた結果、用意した景品が午後の早い段階で無くなってしまった。会場内の4つのエリアや桜並木の見学場所等にスタンプ場所を設置し、多くのエリアを廻って祭りを楽しんでもらえるように工夫しました。

祭り実施10日前ほどから、ふれあいセンター内のプロムナードでパネル展示（昨年度の桜祭り）を実施し、今年の桜祭りのチラシも置いて宣伝を行った。

⑤ 事業の公共・公益性

江戸時代に造られた干拓地であるので、歴史的な建造物や文化遺産はない地域である。しかし、戦前には百間川の土手に黒松並木があり、美しい景観だったという地域の人々の声を受けて、地域内の議論の末、公共の社会資本として桜並木を植樹した。

この桜並木を地域・岡山市民が集える場として整備・普及を図りたいと思っている。また、当桜祭りをその発信源として活用して、これを続けることで桜並木の周知・啓蒙を図っていきたい。

⑥事業の情報公開

- 全戸配布の広報誌
- 「桜祭り」の全戸配布チラシ
- ポスター(小学生の手作り)
- 岡山市全域への民間広報誌

上記広報物を通じて、学区内及び岡山市全域に広報・情報公開を行っている。

また、12月・1月・3月の実行委員会や各種団体長会議において、連合町内会・各種団体に対して、事業内容(申請書・企画書・予算書・決算書)の公開をしている。

詳細な決算書に関しては、連合町内会と実行委員会が保管・管理し要請があればいつでも開示できる体制をとっている。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- Ⅰ チラシを作成配布、
- Ⅱ HPに掲載、
- Ⅲ 市の広報紙に掲載、
- Ⅳ TV、ラジオで公開、
- Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

出店団体の会計は分離し、本部会計には組み込まず独立採算性を確保し、本部運営予算の縮小を図っている。逆に出店団体からはテントスペース料を徴収し、将来の自主予算での実施に向けての方向性を維持しつつ祭りの盛り上がり(参加者の増加等)を模索している。

ふわふわランドを業者から譲り受け、自主運営できるようになった。これにより、ふわふわランドの収入は、概ね実行委員会の収入とすることができた。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

現在、学区の人口も増え、連合町内会や各種団体も世代交代の時期を迎えている。新たな飛躍や拡大が可能な状況にある反面、一体感を維持していくことに困難や今まで以上の労力が必要となってきたのも現状である。

地域での周知が広まり、ステージ・テント出店等の希望者が増えている流れを大切にしながら、今まで同様、学区を挙げて取り組む行事であるというスタンスを維持し、世代交代した各種団体を有機的に取り込んでいけるかどうか、この祭りの今後を左右するという認識のもと精力的に取り組んでいきたい。

また、岡山市の補助事業ではなく、学区の独自事業への変換も視野に入れつつ事業の運営を考える時期に来ていると思われまます。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

食糧費については、出展団体の会計を分離していることから、本部会計が縮小されていることによって割合が上がっている。出展団体等の仕入れや備品購入までを全て本部会計に計上すれば、1/3以下にはなると思います。

また、学区全体で取り組む行事という位置づけにしているので、各種団体等が全て参加しているので役員が多いという特徴がある。

次に、学区内での認知度が上がり、小学生のポスター提出数が年々増えていることから、謝礼で渡す食事券の枚数が増えてきているのも理由としてあげられます。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・食糧費の割合が高さが気になる。内訳の説明をして欲しい。
- ・低予算・手作り感あるイベントに好感が持てる。
- ・パネル展・三幡鉄道の展示は優れた取り組みです。
- ・「桜祭り」が、永続実施できる体制の構築を期待します。
- ・桜並木のウォーキングなどの企画を検討してもらいたい。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

(理由:)

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
29年11月7日	企画会議(企画案検討・作成)
29年11月25日	連合町内会理事会(企画案提示・参加要請・参加内容の報告依頼)
29年12月5日	準備会議(コミュニティー協議会内の役割分担協議)
30年1月16日	準備会議(ポスター依頼・ボランティア依頼等の協議)
30年1月23日	準備会議(ステージ出演団体の確認)
30年1月30日	各種団体長会議(各種団体の役割分担確認・依頼)
30年2月13日	準備会議(出展団体等への諸注意事項伝達・ネットワーク&全戸配布チラシの内容確認)
30年2月20日	準備(ポスター提出児童への食事券作成)
30年2月27日	準備会議(ポスターのラミネーター処理・パンチ穴開け・紐通し)
30年3月13日	準備(桜の木の絵の作成)
30年3月20日	準備会議(参加役員等への食事券作成)
30年3月30日	準備(当日備品等の最終確認)
30年4月1日	当日
30年5月8日	反省会
31年1月12日	監査(予定)

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
連合町内会	15
交通防犯協議会	35
交通安全母の会	20
体育協会	40
社会福祉協議会	2
環境衛生協議会	8
愛育委員会	20
親父の会	14
操明小学校PTA	10
操明幼稚園PTA	5
操南中学校PTA	10
操明学区コミュニティー協議会	12
電子町内会	7
連合自主防災会	12
かがやきクラブ江並上	10
かがやきクラブ藤崎上	10
かがやきクラブ桑野・沖元	6
三幡消防団	7
JA三幡婦人部	8
大型紙芝居ぶんちやっちや	11
大正琴同好会	11
操南中学校吹奏楽部	46
中学生ボランティア	27
岡山市レクリエーション協会	7
操明グランドゴルフ同好会	10
コーラス	15
太鼓同好会	70
岡山県ボート連盟	5
計	28団体 453人

⑫事業実施メンバー

	申込団体での役職	氏 名	住 所	年代	備考(加入団体等)
1	連合町内会会長				統括・単位町内会代表
2	連合町内会副会長				藤崎下担当・環衛協副会長
3	〃				江並下担当・自主防災会会長
4	〃				藤崎上担当・青少年育成代表
5	〃				桑野上担当・コミュニティー会長
6	〃				桑野下担当・健康21
7	〃				江並中担当・地域活性化
8	〃				江並上担当・地域活性化
9	連合町内会書記				かがやきクラブ連合会支援
10	連合町内会理事長				地区活性化支援
11	環境衛生協議会会長				実行委員会(整備・美化)委員長
12	体育協会会長				連合町内会理事・生涯スポーツ支援
13	愛育委員会会長				連合町内会理事
14	社会福祉協議会会長				連合町内会理事
15	交通防犯協議会会長				連合町内会理事
16	交通安全母の会会長				連合町内会理事
17	操明小学校校長				操明小学校 校長
18	操明幼稚園園長				操明幼稚園 園長
19	操明小学校PTA会長				小学校対応
20	操明幼稚園PTA会長				幼稚園対応
21	操南中学校PTA副会長				中学校対応
22	親父の会				総務
23	電子町内会会長				連合町内会理事
24	学校施設開放運営委員長				連合町内会理事
25	連合町内会理事				行政関連支援
26	〃				交通防犯活動支援
27	〃				自主防災会副会長
28	〃				自主防災会副会長

29	連合町内会理事	福祉・コミュニティ活動支援
30	〃	電子町内会推進委員
31	〃	電子町内会推進委員
32	〃	地区活性化支援
33	〃	体育協会副会長
34	〃	青少年育成活動支援
35	〃	社会福祉協議会副会長
36	〃	電子町内会推進委員
37	〃	編集委員会委員長
38	〃	民児協会長
39	連合町内会会計	財務管理
40	かがやきクラブ会長	総務
41	〃	総務
42	〃	総務・栄養改善協議会会長
43	〃	総務
44	三幡漁協	総務
45	JA三幡婦人部	総務
46	操明学区コミュニティ協議会 副会長	総務・自主防災会担当
47	〃	実行委員会(広報・植樹)委員長
48	操明学区コミュニティ協議会	総務・環境衛生協議会担当
49	〃	総務・交通安全母の会担当
50	〃	総務・電子町内会担当
51	〃	総務
52	〃	総務
53	〃	総務
54	〃	総務

⑬ 収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	236,500	210,600	
協賛金	203,500	172,969	学区補助金
負担金	18,000	21,000	テントスペース料
広告料	0	0	
寄付、他収入	15,000	16,710	ゲーム券売上等
計	473,000	421,279	

◆支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	55,000	43,488	事務文具等
②食糧費	215,000	216,088	当日食事代等
③印刷製本費	15,000	0	
④燃料費	0	0	
⑤光熱水費	0	0	
⑥通信運搬費	5,000	82	切手代
⑦広告料	55,000	54,000	広告掲載料
⑧手数料	1,000	108	両替手数料
⑨使用料	1,000	0	
⑩原材料費	1,000	0	
⑪委託料	45,000	30,000	レクリエーション協会等
⑫工事請負費	0	0	
⑬報償費	70,000	68,000	出演団体謝礼等
⑭保険料	10,000	9,513	イベント保険料
計	473,000	421,279	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 5 / 年 / 月 / 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ
団体名

サ
三

ク
勲

カ
会

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名

会
長

な
り

た
成

ま
田

し
昌
士

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三勲学区ふれあい事業(春・夏・冬の四世代ふれあいフェスティバル)		
事業実施区域(小学校区)	岡山市立三勲小学校区域		
①事業実施内容			
○春の四世代ふれあいフェスティバル			
1.開催日	平成30年5月20日(日)	天候	晴れ
2.時間	午前8時30分～午後2時00分まで		
3.場所	岡山市三勲小学校(体育館及び校庭)		
4.イベント内容	①ふれあいゲーム(ビンゴ・フリースロー・ホールインワン)②フワフワドーム ③婦人会による野点 ④うどんのサービス ⑤災害時対策(炊き出し) ⑥幼児によるダンス(幼稚園教員の指導による) ⑦シャボン玉遊び ⑧中学生企画(借り人競争)⑨体力測定(スポーツ推進とのコラボ企画)		
5.来場者数	700名		
○夏の四世代納涼フェスティバル			
1.開催日	平成30年8月11日(土)	天候	晴れ
2.時間	午後4時～午後9時まで		
3.場所	岡山市三勲小学校(校庭)		
4.内容	①中学生企画(宝さがし)②なんでもステージ③チャレンジゲーム		
5.来場者数	800名		
○冬の四世代事業			
1.開催日	平成30年12月2日(日)	天候	晴れ
2.時間	午前9時～12時まで		
3.場所	東山公園コミュニティー集会所前付近		
4.イベント内容	①ふれあい餅つき大会		
5.来場者数	460名		
運営スタッフ人数	200名	来場者数	1,960名
出演者人数	-	天候	晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

年3回のイベント開催により、地域の活性化が図れ、住んでみたい三敷学区、住んでよかった三敷学区の理念が築けていると思われまます。地域住民の協力体制も整い、防犯活動にも役立っています。小学校も地域外よりの通学者も年々増加しています。地域内には岡大附属小学校もあり、子ども同士の交流にもつながっています。これらのイベントを核とし、地域の各種団体が主催する行事もあり、三敷会を中心に日程調整、協力体制の確立も出来ており、継続活動により、躍動的な魅力ある三敷学区を目指します。

③事業における地域性・特色

三敷学区の四世代ふれあい事業は地域活性化のため、連合町内会・社会福祉協議会・体育協会他、地域の各種団体の協力により毎年開催されています。各種団体の協力体制、行事調整等のため、各種団体長が出席する三敷会を2ヶ月に1回開催しています。

春の四世代ふれあい事業は、新入学・転勤者などの多い春に、地元の小学校で1日みんなで遊びながら学区民のふれあい、地域活性化による非行防止呼びかけを目的に開催しています。非常用炊き出し・消化訓練などの災害時対策コーナーではまさかに備えて体験し、700名の参加があり、学区の春のイベントとして定着しています。中学生も企画段階から実行委員会に参加し、岡山市スポーツ推進委員とのコラボによる体力測定も行ないました。

夏の四世代納涼事業は、夏休みの間の交流イベントとして各種団体の日頃の鍛錬の発表の場とし、10年以上も続いた事業として夏のイベントとして定着しています。今年は800名の参加があり、中学生企画の宝さがしでも楽しめました。日程の関係より参加者との調整がうまくできず、ステージがうらじゃチームのみとなったのが残念でした。

冬の四世代ふれあい事業は年末の風物詩でもある餅つきをベースに、餅が出来るまでの流れを体験してもらい、世代を越えたふれあいを目的に開催しています。

どの企画も地域全体で盛り上げている企画であり、これらをベースに各種スポーツ大会・各種セミナー等を各種団体が主催し、四季を通じての学区イベントが開催されています。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

毎年の行事実施にあたり、各種団体への協力体制の確立・事業計画の立案のため最低2回は企画会議を開催し、学区民に対するイベントの説明会実施・ポスター・チラシなどによる学区内外への浸透を図っています。各行事開催時の安全管理には細心の注意をはらい、幼児から年配者まで安全に楽しく過ごしていただく環境作りに配慮しています。終了後には反省会を実施し、幅広い意見収集を行い次年度計画に役立てています。

また、学区内の各種団体の活動アピールの場でもあり、民生児童委員協議会・交通安全母の会・防犯協議会・交通安全対策協議会・体育協会・子ども会などがイベント開催時に活動をアピールしています。

毎年少しずつイベント内容にも工夫を凝らし、中学生の企画段階からの参画、岡山市スポーツ推進とのコラボ企画等により、参加者にイベントへの参加呼びかけを行っています。

⑤事業の公共・公益性

学区住民だけでなく、近隣の学区からもイベントに参加しており、地域活性化が図れていると思われまます。費用もほとんどが無料となっており、利益主義となっておりません。

⑥事業の情報公開

各事業の企画には、事業実施メンバーが事前に最低でも2回以上の会議を開き、予算の検討及び四世代のふれあい交流にふさわしいプログラム内容を検討し、開催1ヶ月前には、地域に対しイベント内容説明会を実施、ポスターの掲示・チラシ配布の協力を得ています。行事終了後は収支決算を実施し、実施報告ならびに次年度開催へ向けた協議会を開催しています。

また、参加者の募集に関しては、小学校・幼稚園の協力も得ており、学校からの募集ルート・町内からの募集ルート・ポスターなどによる幅広い告知、場合によっては新聞チラシなどを活用しています。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

連合町内会、社会福祉協議会等よりの助成金をベースに、地域住民によるボランティアスタッフの手による手作りのイベントを開催している。ステージ・機器等以外は各自持ち寄り費用削減に協力していただいている。スタッフ昼食も最低限の費用となる様、努力している。

⑧今後の課題（次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等）

春のイベントは防災を核として、夏のイベントは学区民の発表の場を核とし、毎年の内容を昨年までの結果を踏まえ、マンネリ化を防止する必要があります。スタッフの高齢化問題もあり、企画段階での協力が弱くなっています。中学生スタッフとの企画会議の定着化を図り、他地区とのコラボ企画も考慮し、進めていきます。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

岡山市のホームページへの掲載による周知徹底を行い、他地区に対しての情報発信をしたい。学区民を中心としたイベントではあるが、近隣の小学校区からも参加があり、中区の三軒を中心としたイベントとしても推進したいと考えている。

学区内の各種団体が協力して各事業を実施しているため、学区内の連携強化などが図られ、防犯への協力をはじめ、地域活動の協力体制が出来、活性化が図られています。

中学生のボランティア参画もあり、幼児から年配の方まで年々参加者意識が増加しています。特に中学生のボランティアは、春・夏のイベント時に企画段階からの継続参画を図ります。

また、地区内のみならず、他地区・団体とのコラボ企画についても検討を重ねていきます。

高齢者の増加がありますが、自宅から屋外へ出てもらい、元気な高齢者が増加する様にイベント内容についても工夫していきます。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:

)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
2018年 1月 10日	・三黥会での年間行事計画会議(日程・概要等の検討)実行委員会
2018年 2月 15日	・実行委員会による年間行事計画会議
2018年 3月 14日	・三黥会にて各種団体との日程調整及び協力要請
2018年 4月 7日	・実行委員会による春のイベント、夏のイベントの概要確定
2018年 4月 17日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの詳細内容調整会議
2018年 4月 21日	・中学生実行委員との内容検討、イベント内容確定
2018年 4月 24日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの各町内会等への説明会開催
2018年 5月 7日	・岡山市スポーツ推進委員役員会で内容調整
2018年 5月 9日	・三黥会にて各種団体との最終調整実施
2018年 5月 10日	・岡山市スポーツ推進委員理事会での最終調整
2018年 5月 12日	・中学生実行委員との内容調整会議
2018年 5月 15日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの最終調整会議
2018年 5月 19日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの前日準備
2018年 5月 20日	・春の四世代ふれあいフェスティバルの開催及び当日の反省会
2018年 5月 26日	・中学生実行委員との振り返り、次年度に向けての会議、夏企画会議
2018年 6月 14日	・実行委員会での振り返り、次年度に向けての会議、夏企画会議
2018年 6月 16日	・中学生実行委員会との夏イベント内容検討会議
2018年 7月 11日	・岡山市スポーツ推進委員役員会での内容振り返りと次年度計画
2018年 7月 11日	・三黥会にて春の四世代ふれあいフェスティバルの各種団体との反省会
2018年 7月 18日	・実行委員会による夏のイベント検討会議
2018年 7月 20日	・岡山市スポーツ推進委員理事会での振り返りと次年度計画
2018年 8月 2日	・実行委員会会議
2018年 8月 4日	・中学生実行委員による準備、リハーサル
2018年 8月 11日	・夏の四世代ふれあいフェスティバルの開催
2018年 8月 12日	・夏の四世代ふれあいフェスティバル片付けと振り返り会
2018年 9月 12日	・三黥会にて振り返りと次年度に向けての検討 ・三黥会にて冬のイベント概要検討
2018年 9月 25日	・冬のイベントのポスター作成・印刷
2018年 11月 4日	・冬のイベントの準備
2018年 11月 5日	・冬のイベントの準備(買い物)
2018年 11月 14日	・冬のイベントの詳細内容検討及び各種団体との調整会議
2018年 11月 20日	・冬のイベントの準備(買い物)
2018年 11月 23日	・冬のイベントの準備(買い物)
2018年 11月 24日	・冬のイベントの準備及び打ち合せ
2018年 11月 30日	・冬のイベントの準備及び打ち合わせ
2018年 12月 1日	・冬のイベントの前日準備
2018年 12月 2日	・冬のイベントの実施
2018年 12月 3日	・冬のイベントの片付け
2018年 12月 4日	・冬のイベントの反省会・次年度に向けての検討①
2018年 12月 5日	・冬のイベントの反省会・次年度に向けての検討②
2019年 1月 9日	・三黥会にて2018年度の四世代イベントの反省と次年度に向けての検討

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	連合町内会会長
2	理事				社会福祉協議会会長
3	理事				防犯協会会長
4	理事				民児協会会長
5	理事				老人クラブ会長
6	理事				子ども会会長
7	理事				三敷消防分団長
8	理事				うさぎの家代表
9	理事				教育振興会会長
10	理事				子ども会アドバイザー
11	理事				民児協主任児童委員
12	理事				婦人会会長
13	理事				民児協主任児童委員
14	理事				交通安全母会会長
15	理事				三敷小 PTA 会長
16	会計				愛育委員会会長
17	会計監査				社協事務局長
18	事務				体育協会会長
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

⑬ 収支決算書

◆収入 総括

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	298,000	273,700	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	298,000	273,882	
計	596,000	547,582	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	85,000	63,555	皿、はし等
②食糧費	67,000	50,512	会議お茶
③印刷製本費	107,000	103,360	チラシ、ポスター制作
④燃料費	8,000	17,545	ガスボンベ
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	16,000	16,360	案内状等切手
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	195,000	193,166	ステージ・フワフワ・紅白幕
⑩原材料費	60,000	56,284	炊き出し用米、小豆等
⑪委託料	43,000	32,400	ゴミ処理代・警備料
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	15,000	14,400	傷害保険
計	596,000	547,582	

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入 春のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	94,000	82,900	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	94,000	83,051	
計	188,000	165,951	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	45,000	24,727	事務用品・ピンゴカード等
②食糧費	40,000	38,754	スタッフ昼食
③印刷製本費	40,000	38,000	ポスター・チラシ
④燃料費	4,000	6,480	プロパンガス
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	6,000	6,910	案内用切手
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	35,000	34,320	ふわふわ・紅白幕
⑩原材料費	10,000	9,600	炊き出し用米
⑪委託料	3,000	2,160	ゴミ処理代
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	5,000	5,000	傷害保険
計	188,000	165,951	

⑬ 収支決算書

◆収入 夏のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	165,500	153,700	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	165,500	153,702	
計	331,000	307,402	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	15,953	事務用品等
②食糧費	25,000	11,758	昼食等
③印刷製本費	65,000	64,800	チラシ・ポスター
④燃料費	3,000	8,355	プロパンガス
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	10,000	9,450	切手・ハガキ
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	160,000	158,846	ステージ
⑩原材料費			
⑪委託料	40,000	30,240	ガードマン、ゴミ処理
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	8,000	8,000	傷害保険
計	331,000	307,402	

⑬ 収支決算書

◆収入 冬のイベント

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	38,500	37,100	
協賛金			
負担金			
広告料			
寄付、他収入	38,500	37,129	
計	77,000	74,229	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	20,000	22,875	皿、はし等
②食糧費	2,000	0	
③印刷製本費	2,000	560	チラシ、ポスター制作
④燃料費	1,000	2,710	カセットボンベ、まき
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料			
⑩原材料費	50,000	46,684	もち米、小豆等
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	2,000	1,400	傷害保険
計	77,000	74,229	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成31年 7 月 28 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ
団体名 サマーフェスタ旭操実行委員会

所在地

連絡先

代表者氏名 実行委員長

※提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

印

事業名称	第33回サマーフェスタ旭操“2018“		
事業実施区域(小学校区)	旭操小学校区		
① 事業実施内容			
○開催日時:	平成30年 7月21日(土曜日) 17時00分～21時30分		
○開催場所:	岡山市立旭操小学校		
○事業実施内容	沖新田開発により生まれた地域の歴史と文化を次世代に伝え、田園風景が残る学区の「夜空の星」をテーマに学区の新旧住民、世代間の融和・交流を図り、地域の活性化を図るべく実施した。		
① ネル展示	学区内各所の写真展示(名所、用水路、大木、公園、学校、家並み、浸水等過去の災害時などの写真の展示) 旭操学区の歴史年表(江戸時代からの歴史を年表として展示) ※地域の現況、歴史などを展示することで愛着の高めることができる。		
② 舞台演技	白菊保育園(鼓笛隊)、旭操幼稚園(うらじゃ演舞)、旭操小学校(ダンス)、操南中学校(吹奏楽)、興陽高校和太鼓部(和太鼓)、コーラス、婦人会・老人会(盆踊り)、カラオケなど。		
③ 子どもコーナー	ピッチングゲーム、ダーツなど		
④ ミニ新幹線	みんなで乗車(子どもに大人気)		
⑤ ボート体験教室	ボート漕ぎ体験		
⑥ 模擬店	食事、おやつ、飲み物など		
⑦ バザー	体育館の中で開催(毎年、好評を博す。)		
運営スタッフ人数	873 人	来場者数	4,500 人
出演者人数	300 人	天候	晴れ

② 事業の成果(目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたかなど)

この事業は子どもから高齢者まで、町内会・各種団体まで学区一体で企画から実施まで総力を挙げて取り組んでおり、特に小学生(高学年)から中学生ボランティアがスタッフの中心になり、できる範囲で事業に携わることにより次世代の人材育成となった。

このことは、学区民から小・中学生の挨拶・交通ルールが良くなったと好評を得ている。

昨年の体験から、各々の自発的行動と学区民との協力態勢から信頼関係が生まれたことを実感した。学区の防火活動をはじめとする様々な協力を必要とする場面で、自ら進んで協力していく態勢づくりの土壌が育まれた。

③ 事業における地域性・特色

学区の一大イベントと位置づけ、地域内の保育園、幼稚園、小学校、中学校から町内会、各種団体、子どもから高齢者まで全員参加での実施が基本である。

学区の新旧住民・近隣学区及び世代間の交流が広がり、絆がより強くなった。旭操学区最大のイベントと位置付けています。当地域は新田開発によって生まれた土地であるが、近年宅地化が進み、若い世代を中心とした入居者が増加している。「昔ながらの地域」「新興住宅地」が混在している地域である。地域内の保育園、幼稚園、小学校、中学校をはじめ各種団体など幼児から高齢者まで学区民が総ぐるみで企画立案、準備、作業、進行、出演、片付けを行います。学区の新旧住民、近隣学区及び世代間交流が促進され地域の一体感が高まっています。

④ 企画・運営の工夫(前年度からの改善点等)

<基本的な考え>

プログラムは毎年検討している。特に子供から高齢者まで楽しめ、かつ参加できる種目を考えている。次年度は関係団体と十分検討し拡大したいと考えている。

①学区民の交流が進むように努力した。

・新旧住民、乳幼児から高齢者までの様々な世代、連合町内会、各町内会、コミュニティー協議会、社会福祉協議会、防犯協会、交通安全対策協議会、体育協会、環境衛生協議会、婦人会、民生委員協議会、老人クラブ、交通安全母の会、子ども育成クラブ、スポーツ少年団、幼稚園・小学校・中学校のPTAなど各種団体が一致協力してフェスタを開催することで地域のお互いが顔見知りとなり、防犯・防災などの非常時を含め一体感を持ち、あらゆることにみんなが協力することができる地域を創造することを今後も目指している。

② 合町内会を中心に各種団体が、それぞれの立場から「より住みやすい地域となる。」ことを念

頭にアイデアを出し合い、有意義なフェスタとなるよう努めている。

- ③ 区内各所の写真展示(名所、用水路、大木、公園、学校、家並み、浸水等過去の災害などの写真の展示)や旭操学区の歴史年表(江戸時代からの歴史を年表として展示)を大々的に展示することで地域住民の地域への愛着が高まった。
- ④ イベントにおいて中学生がボランティア活動(模擬店での接客やフェスタの運営に参加)をすることで、学区民としての意識の高揚と「奉仕する心」を学んだ。
- ⑤ ゴミの分別ボックスを設けて環境美化に努めた。
- ⑥ 駐輪場に係員(誘導員)を配置するなど要所に人員を配置し、交通安全を含め参加者の安全に努めた。
- ⑦ 高齢者が増加する中で自分で参加できない高齢者を招待(特に、施設に入居している方)し、ひととき会場で過ごす体験を試験的に実施し大変喜んでもらった。

⑤ 事業の公共・公益性

- ・連合町内会を中心とした各種団体が協力して実施している。
- ・新旧住民、乳幼児から高齢者まで、また、施設入所高齢者や障害者の方など、地域住む誰もが参加でき、楽しむことができるフェスタである。

⑥ 事業の情報公開

岡山市公式ホームページ「電子町内会・連合会・旭操」を随時更新し、最新の情報を提供した。時期が近付けば、近隣に「サマーフェスタ旭操」の幟を掲げ、チラシを作成し各種団体に配布し、各町内会の掲示板に張り出すなど地域に周知されるよう工夫した。

実行委員会での協議結果(事業内容、企画、予算、決算等)を各種団体に広く共有した。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、⑤ その他(広報車)

⑦ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

なるべく無駄な経費を節減していくよう努めているが、今後もできることから少しずつでも取り組んでいく。

⑧ 今後の課題

学区の高齢化の進行が著しい中で、高齢者の1人や2人暮らし世帯が多くなっており、この事業が中心になり「近所の輪」がもっと広がるよう学区として取り組み、防災活動をはじめとする地域で一致協力しなければならない事象に対し、地域住民自ら積極的に参加・行動できるよう更に地域の輪を広げていく必要がある。

また、元気な高齢者も積極的に参加していただき学区を超えた友好を図っていく必要も感じている。

⑨ 感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

<感想、PR>

- ・学区内各所の写真展示及び旭操学区の歴史年表は新たな出来事や行事を随時追加し、見やすいように配置を工夫し、自分たちの暮らす地域の歴史、文化、現況の風景などを見ることで地域への愛着を高めている。
- ・「昔ながらの地域」「新興住宅地」が混在している地域で、地域内の学校園をはじめ各種団体が協力し、また幼児から高齢者まで地域を挙げて取り組むことで地域のまとまりが強まっている。
- ・ボランティア活動(模擬店での接客やフェスタの運営に参加)を行うことにより中学生が「奉仕の心」を高めるとともに、普段あまりつながらない大人と交流することで社会性を身に着けることができる。
- ・ゴミの分別により環境美化意識が向上する。
- ・普段あまり顔を合わさない住民同士が、会場で飲食を共にしながら交流を深めることでふれあいのある住みよい地域となることが期待できる。
- ・ステージイベントの出し物で、出演団体の地域における親睦・友愛につながる。
- ・真夏のイベントであり、熱中症対策を実施している。

<事業実施上の改善点>

- ・学区内の写真展示、歴史年表は新たな出来事や行事を随時追加したり、見やすいように配置を工夫した。
- ・今後も各種団体や各参加者が協力して、地域の誰もが参加でき、多くの方に参加してもらえるようなフェスタにしていきたい。また、一体感のあるよし住みやすい地域をめざして少しずつでも前進していけるように努めていく。

○区づくり推進事業審査会からの助言等を、遵守できましたか

右記のⅠ～Ⅳの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:

- | | |
|---|------------|
| Ⅰ | できた |
| Ⅱ | おおむねできた |
| Ⅲ | 一部できなかった |
| Ⅳ | まったくできなかった |

⑩ 事業実施経過（企画会議・準備会議・準備当日・反省会・監査等を詳しく列挙して下さい）

会議等実施日				会 議 等	参加人数
年	月	日	曜		
30	5	13	日	第1回実行委員会（実施要領・予算・協賛金等）	60名
30	6	10	日	第2回実行委員会（会場設定・役割分館・ボランティア）	74名
30	7	1～18		各担当打ち合わせ実施	380名
30	7	8	日	第3回実行委員会（プログラム・バザー等最終打合せ）	102名
30	7	10	火	操南中ボランティア説明会	136名
30	7	14	土	旭操小ボランティア説明会	8名
30	7	20	金	会場準備（17:00～19:00）	132名
30	7			会場準備（9:00～13:00）	233名
30	7	21	土	17:00 サマーフェスタ オープン スタッフ	1, 116名
30	7	22	日	会場片付け	244名
30	8	30	木	監査	8名
30	9	2	日	第4回実行委員会（実施報告・監査報告・反省改善事項）	68名

⑪ 事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
旭操学区連合町内会	82
旭操学区コミュニティ協議会	6
旭操学区コミュニティ同好会	5
旭操学区社会福祉協議会	35
旭操学区防犯協議会	30
旭操学区交通安全対策協議会	30
旭操学区体育協会	45
旭操学区婦人会	82
旭操学区愛育委員会	50
旭操学区民生児童委員協議会	12
旭操学区老人クラブ連合会	11
旭操学区交通安全母の会	30
旭操学区子ども育成会	57
あけぼのクラブ保護者会	60
白菊保育園保護者会	10
旭操幼稚園 PTA	26
旭操小学校 PTA	15
操南中学校 PTA	48
旭操スポーツ少年団	25
旭操スポーツ少年団後援会	61
旭操セーフティーズ	4
消防操陽分団	5
操南中学校ボランティア	135
旭操小学校ボランティア	8
計	24 団体 873 人

⑫ 事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	連合町内会
2	会長				コミュニティ(協)
3	会長				社会福祉(協)
4	会長				防犯(協)
5	会長				交対協
6	会長				体育協会
7	会長				環境衛生協議会
8	会長				婦人会
9	会長				愛育委員会
10	会長				民生委員協議会
11	会長				老人クラブ(連)
12	会長				交通安全母の会
13	会長				子ども育成会
14	会長				おやこクラブ
15	会長				あけぼのクラブ
16	副会長				操南中学校 PTA
17	会長				旭操小学校 PTA
18	会長				旭操幼稚園 PTA
19	会長				旭操スポ少年団
20	会長				同 後援会
21	会長				セーフティーズ

22	分団長				消防操陽分団
23					
24					
25					

⑬ 収 支 決 算 書

◆収入

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	区づくり事業補助金
協賛金	700,000	800,000	
負担金			
広告料			
寄付・他収入	50,000	57,252	寄付外
計	1,150,000	1,257,252	

◆支出

単位：円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
消耗品	60,000	54,530	用紙インク他
食料費	150,000	128,626	会議他飲料水代他
印刷製本費	50,000	51,840	抽選券印刷代
通信運搬費	40,000	65,331	通信費
手数料	30,000	20,655	クリーニング・振込料
使用料	450,000	601,770	テント・長机・ゲーム機 扇風機・照明・焼物機他
原材料費	60,000	52,340	米・豚肉・カレー粉等
委託料	80,000	80,000	ミニ新幹線
工事請負費	150,000	150,000	電気工事代
報償費	50,000	30,000	出演者謝礼
燃料費	5,000	0	ガソリン代
保険料	25,000	22,160	傷害保険他
計	1,150,000	1,257,252	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成30年10月 / 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ サンセダイ=ツクホウフレアイフェスタウノジツコウインカイ
団体名 三世代交流ふれ合いフェスタウの実行委員会

所在地

連絡先

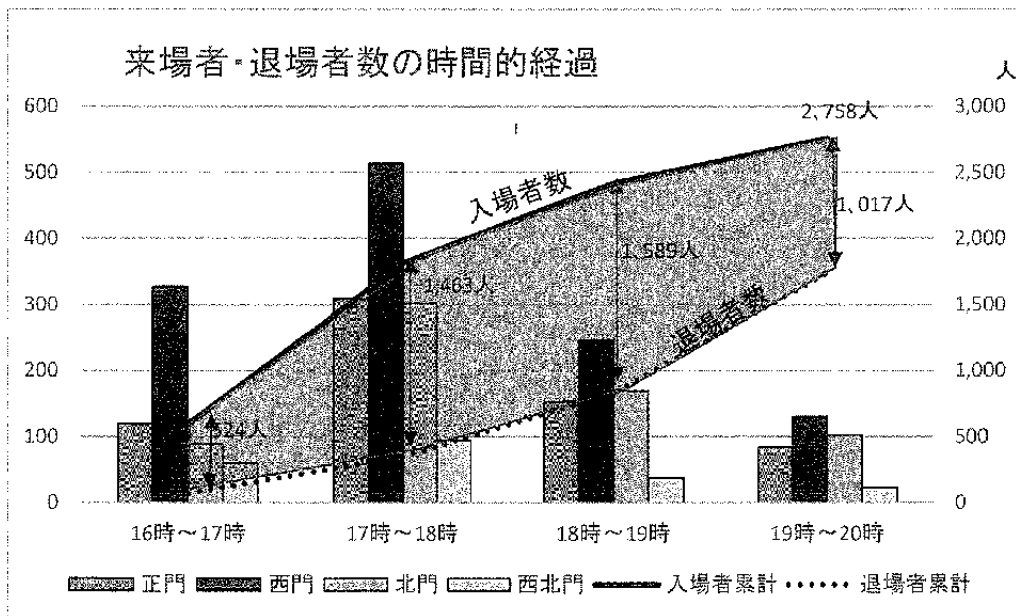
フリガナ ツクナベ タクシ
代表者氏名 実行委員長 渡邊 唯志

* 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	三世代交流ふれ合いフェスタウの2018																												
事業実施区域(小学校区)	宇野小学校区																												
① 事業実施内容	<p>○開催日時:平成30年 7月28日(土曜日) 17時00分 ~ 20時30分</p> <p>○開催場所:岡山市立宇野小学校体育館(台風接近の為グラウンドから変更)及び体育館下</p> <p>○事業実施内容</p> <p>(1) 三世代・障害者交流 17:00~20:30</p> <table border="0"> <tr><td>1. 開会</td><td>17:00</td></tr> <tr><td>2. 宇野小学校吹奏学部 演奏</td><td>17:00~</td></tr> <tr><td colspan="2">ストラックアウト(台風12号接近の為中止)</td></tr> <tr><td>3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り</td><td>17:20~</td></tr> <tr><td>4. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ</td><td>17:35~</td></tr> <tr><td colspan="2">スイカ割り(園児)</td></tr> <tr><td>5. 烏城穰鼓遊会 太鼓演奏</td><td>18:10~</td></tr> <tr><td>6. ご挨拶</td><td>18:25~</td></tr> <tr><td>7. 岡山中央警察署寸劇</td><td>18:55~</td></tr> <tr><td>8. お楽しみゲーム</td><td>19:05~</td></tr> <tr><td>9. 夏総踊り(穰鼓遊会太鼓演奏)</td><td>19:25~</td></tr> <tr><td>10. 閉会</td><td>20:00~</td></tr> <tr><td></td><td>20:30</td></tr> </table> <p>障害者交流 障害者運営夜店 3店舗 (夜店全体 14店舗)</p> <p>環境美化 ・「ペットボトル」・「空き缶」・「燃えるゴミ」を分別するために、大型段ボール箱10個設置(1箇所集約) ・夜店では、ビン類販売禁止(埋め立てゴミの発生防止) ・中学生ボランティアによる分別指導</p>			1. 開会	17:00	2. 宇野小学校吹奏学部 演奏	17:00~	ストラックアウト(台風12号接近の為中止)		3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り	17:20~	4. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ	17:35~	スイカ割り(園児)		5. 烏城穰鼓遊会 太鼓演奏	18:10~	6. ご挨拶	18:25~	7. 岡山中央警察署寸劇	18:55~	8. お楽しみゲーム	19:05~	9. 夏総踊り(穰鼓遊会太鼓演奏)	19:25~	10. 閉会	20:00~		20:30
1. 開会	17:00																												
2. 宇野小学校吹奏学部 演奏	17:00~																												
ストラックアウト(台風12号接近の為中止)																													
3. 宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園 歌・踊り	17:20~																												
4. 西山諒一郎とマウナハワイアンズ	17:35~																												
スイカ割り(園児)																													
5. 烏城穰鼓遊会 太鼓演奏	18:10~																												
6. ご挨拶	18:25~																												
7. 岡山中央警察署寸劇	18:55~																												
8. お楽しみゲーム	19:05~																												
9. 夏総踊り(穰鼓遊会太鼓演奏)	19:25~																												
10. 閉会	20:00~																												
	20:30																												
運営スタッフ人数	37人(別途ボランティア 46名)	来場者数	2,758人(16~20時実測)																										
出演者人数	142人	天候	曇り																										

②事業の成果(目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果をあたえたか)

- ・企画・開催を通して、各種団体・ボランティアとの絆の強さを感じた。
- ・台風12号接近により、安全を考慮し、ステージはグラウンドから体育館へ、夜店は体育館1階ピロティへ開催前日12時に急遽場所変更を決定したが、実行委員会・関係団体が一致協力して実施出来た。
- ・夜店に、知的障害者通所授産施設「あおば」・就労継続支援A型事業所「ひとひら」・支援を必要とする親と子の会「たんぽぽの会」が参加してくれ、障害者とのふれ合いの場となっている。
- ・入場者数のカウントに追加して、退場者数のカウントをすることにより、滞留者数を把握できた。
- ・参加者数は、台風12号接近のため、減少するであろうと予想していたが、16時から20時までの計測では、昨年より131人多い2,758人となった。16時以前から準備をしているスタッフや、夜店の担当者、小学校吹奏楽部等を含むと、3,100人と思われる。
- ・より多くの参加者があり、地域の連帯感を醸成することについては、成果があったと思われる。
- ・イベントの始めに、小学校吹奏学部演奏・幼稚園歌踊りを配置したので、保護者や祖父母が早くから大勢(16時～17時までに524人)来場され、参加者増に繋がり、三世代交流に寄与した。
- ・中学生ボランティアによりゴミ分別指導に努め、環境美化活動に繋がった。又、4箇所配置していたゴミ収集場所を、1箇所に集約したことは、管理・指導に役立った。
- ・台風接近の為、当日片付を実施したが、来場者も大勢手伝ってくれ、協力して会場を清掃したことは、地域の連帯感醸成に繋がった。
- ・全体的には、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くことに大いに貢献できた。



	正門	西門	北門	西北門	入場者累計	退場者累計	滞留者数
16時～17時	120	327	89	60	596	72	524
17時～18時	309	514	302	94	1,815	352	1,463
18時～19時	153	246	169	37	2,420	831	1,589
19時～20時	84	130	102	22	2,758	1,741	1,017
合計	666	1,217	662	213	2,758	1,741	1,017

③事業における地域性・特色

- ・コミュニケーションの場を多くの人に提供するため、従来より16回続いていたうの盆踊り大会を、「三世代交流ふれ合いフェスタうの」と名称・内容を変え、28年度は小学校耐震工事で重なりやむなく中止したが、今年、3回目となる。
- ・近郊農業地域から市街化地域と発展し、高齢者と新世代の世帯が増加して、コミュニケーションの場が必要であり、より多くの人が集まり楽しめるよう、学区全体の組織が協働して実施している。
- ・保育園から大学まである文教地区の特色を活かし、出演者・ボランティアで参加して貰っている。
- ・プログラム最初に、宇野小学校吹奏楽演奏・宇野幼稚園(今年から、宇野保育園・浜保育園が協同参加)歌・踊りを配置し、保護者・祖父母が、開会前から大勢来られ三世代交流となった。
- ・低い防災意識を高めるため、お楽しみゲーム(サバイバルゲーム)で、防災に関する問題を出し、意識向上に努めた。
- ・県立操山中学校・市立操山中学校のボランティアが大いに活躍してくれた。
- ・障害者を含め三世代がふれ合える場を提供でき、ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を築くための一助になった。

④企画・運営の工夫(前年度からの改善点等)

(1)開催場所の変更

- ・台風12号接近により、ステージは体育館2階へ、夜店は体育館下ピロティへ、急遽場所を変更した。テント16張りを設置する必要がなくなり、準備片付も楽になった。来年は今年を参考にして、不要なテント配置を減らし、レイアウトを変えて実施する予定。

(2)学区内最良のふれ合いの場となるよう努力した。

- ・小さな子どもから高齢者の方までが楽しめるプログラムとした。
- ・高齢者・障害者席を設けた。
- ・夜店には、知的障害者通所授産施設「あおば」・就労継続支援A型事業所「ひとひら」・支援を必要とする親と子の会「たんぼぼの会」に参加をお願いし、障害者の方々とのふれ合いの場となった。
- ・幼稚園・小学校のステージ出演は、地域交流に大いに貢献した。
- ・学区内にある岡山中央警察署からは、生活安全課・交通課に参加を依頼し、子どもの安全・交通について、寸劇他をしていただいた。
- ・防災意識を高めるため、サバイバルゲームの問題に取り入れた。

(2)連合町内会を始め各種団体の協働を図ることができた。特に、出演者の掘り起こしや協賛金集めでは、ノウハウを持った実行委員が活躍した。

(3)中学生ボランティアには放送係・来場者退場者数カウント・チラン配り・ゴミ分別指導を頼み、裏方として大いに活躍してくれた。

(4)環境美化では、大型の段ボール箱を準備し、1箇所^①に集約して分別収集を図った。

(5)出入口3箇所^②に、照明を増やし、転倒防止を図った。

(6)出入口・駐輪場に実行委員の誘導員を交替で配置し、交通安全・駐輪場整理に努め、特に終了時、来場者が出口に殺到するため、実行委員全員を出口へ配置し交通誘導に努めた。

(7)効果検証をするため、各入口で、カウンターにより来場者・退場者数を把握した。

(8)実行委員全員がベスト(蛍光色赤)を着て、実行委員の気構えを表現できた。

⑤事業の公共・公益性

「三世代交流ふれ合いフェスタうの」は、宇野学区各種団体(43団体)が協働して、全てが手作りで行っている。ふれ合いのある住みよい明るい地域社会を作ることを目的として、幼児から高齢者までが楽しめる企画を心がけており、岡山市が進める「協働のまちづくり」に大いに貢献している。

⑥事業の情報公開

- | | | |
|--------------------------------|-------------|-------|
| (1)チラシ(A4カラー)回覧用配布 | 6月22日 | |
| ・各町内会 | 20町内 | 600枚 |
| ・各種団体 | | 100枚 |
| ・小・幼・保育園 | | 1200枚 |
| ・コミュニティハウス | | 100枚 |
| (2)ポスター(A3カラーラミネート加工)配布 | 7月10日 | |
| ・各町内会 | 20町内会 | 100枚 |
| ・コミュニティハウス・郵便局・銀行・商店・スーパー・事業所等 | | 100枚 |
| (3)実行委員会開催(5/31、6/28、7/26) | 反省会開催(8/30) | |
| (4)出店者打合せ(6/15、7/20、7/21) | | |

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報誌に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(掲示物は、各町内会へ必要部数をラミネート加工し配布した。)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

- (1)経費の削減
・テントの借用・運搬・設営については、地域各種団体で行っている。(今回は体育館で行い、未実施)
・資材・機材についても地域団体から借用を心がけている。
- (2)自主財源の確保
①各町内会からの助成金、②企業からの協賛金・協賛品

⑧今後の課題(次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

- (1)改善点
・台風12号接近により、安全を考慮して体育館へ開催場所を変更した。
・開催場所の変更は、来期開催方法のヒントを与えてくれた。16張りものテント運搬・設営・解体・片付けは、実行委員・ボランティアに大きな負担となっていたが、夜店については、体育館1階を有効に利用すれば、テント数を大幅に減少できることが分かった。
・小・幼・保の演舞・演奏は、非常に多くの保護者・祖父母の参加があるが、終了すると大幅に減少する。
・本部席を体育館2階へ置き、スピーカーを1階にも置いたが、大勢の参加者が体育館下の夜店に集中し、スピーカーの音が聞こえなかった。夜店のスペースを広く取る必要が有る。
・来期は、ステージを元の運動場へ移す。
・来場者数・退場者数をカウンターを使い数えた。滞留者数は、1500人程になり、机・椅子の数を増やす必要がある。
・サバイバルゲームは、盛り上がるが、実行委員の数を増やして、公正にする必要がある。
- (2)実行委員の高齢化対策
・中学校生ボランティアが大勢来てくれた。将来大人になり、実行委員になってくれれば良い。
- (3)将来像
・来場者数に実行委員・夜店担当者・出演者を加えると、約3100人程になった。今回片付けは当日終了後に行ったが、来場者も手伝ってくれた。来場者と一体となったフェスタにしたい。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

(1) 感想、自己評価、PR

- ・当日台風12号を考慮し、前日に急遽体育館移動を決めたが、前もって検討しており、時間的余裕はなかったが比較的スムーズに実施できた。
- ・「ふれ合いのある住みよい明るい地域社会づくり」を目的に、その一つ的手段として「三世代交流ふれ合いフェスタうの」を実施しているので、プログラム進行の多少のミスがあっても、来場者の笑顔を見ると、成功裏に終わったと思う。
- ・来場者の評価として、来場者数・退場者数をカウンターで実測できたことは良かった。(実測 2,758人)

(2) 審査会の助言及び意見を踏まえた改善点

- ・文教地区として、学生ボランティアを募集し、今回は操山中学の放送部にもアナウンスをお願いし、好評であった。その他、入場者・来場者のカウント、チラシ配り、ゴミ分別をした貰った。
- ・行政の中心地区として、中央警察署にはステージ出演をして戴き、中消防署には、火気使用の指導をしていただいた。
- ・防災については、サバイバルゲームで、防災関係の問題を出題することにより、啓蒙を図った。
- ・機器等使用料及び電気工事等請負の削減については、体育館に移動したため経費削減となったが、実際には難しい。テント等については、地元調達を図り、運搬から片付まで実行委員で行っている。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・ステージに高齢者・障害者席を設けることは良い取組です。
- ・三世代交流に加えて、障害者交流への取組は地域住民交流の原点といえます。
- ・文教地区であり、行政の中心地区であるという地域の特性を活かしさらなる発展を願います。
- ・防災に関連した手作りイベントを是非実行して、他学区の範としてほしいです。
- ・機器等使用料と電気工事等請負費の削減の工夫を期待します。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

右記のⅠからⅤの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。

(理由:)

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年	月	日	内 容
	平成30年	5月11日(金)	ふれ合いフェスタの2018開催案内配布
	平成30年	5月8日(火)	5月度連合町内会役員会 9名参加
	平成30年	5月31日(木)	第1回実行委員会開催 25名参加
	平成30年	6月14日(木)	出演者に予定表配布
	平成30年	6月12日(火)	宇野学区町内会長等懇談会(連合町内会主催)で、出店について説明 8名参加
	平成30年	6月15日(金)	第1回出店者会議開催 13名参加
	平成30年	6月22日(金)	配布物仕分け 6名
	平成30年	6月26日(火)	回覧板用パンフレット配布
	平成30年	6月28日(木)	第2回実行委員会開催 34人参加
	平成30年	7月11日(水)	県立操山中学校・市立操山中学校ボランティア打合せ
	平成30年	7月12日(木)	中央警察署・中消防署打合せ
	平成30年	7月16日(月)	市立操山中学校ボランティア打合せ
	平成30年	7月19日(木)	宇野小吹奏楽部・宇野幼稚園・宇野保育園・浜保育園打合せ
	平成30年	7月20日(金)	第2回出店者打合せ 21名参加
	平成30年	7月26日(木)	市立操山中学校放送部打合せ
	平成30年	7月26日(木)	最終打合せ 28名参加
	平成30年	7月27日(金)	事前準備 駐輪・駐車ライン引き、机・椅子運搬
	平成30年	7月27日(金)	台風12号接近により、開催場所を運動場から体育館へ変更決定・連絡
	平成30年	7月28日(土)	三世代ふれ合いフェスタの2018実施、終了時片付実施。
	平成30年	7月30日(月)	机・椅子片付・返納 5名
	平成30年	8月14日(火)	8月度連合町内会役員会 9名参加
	平成30年	8月30日(木)	会計監査
	平成30年	8月30日(木)	反省会 25名参加

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
宇野学区連合町内会(各町内会含む)	54
宇野学区コミュニティ協議会	10
宇野地区社会福祉協議会	10
宇野学区交通安全対策協議会	1
宇野学区防犯安全パトロール隊	5
宇野学区婦人会	5
宇野学区交通安全母の会	15
宇野学区愛育委員会	12
宇野学区環境衛生協議会	1
宇野地区民生委員児童委員協議会	20
宇野学区子ども会育成連絡協議会	15
宇野学区体育協会	5
岡山市消防団宇野分団	6
宇野学区老人クラブ連合会	5
宇野小学校PTA	15
岡山市立宇野小学校	10
岡山市立宇野幼稚園	5
岡山市立宇野保育園	5
岡山市立浜保育園	5
岡山県立岡山操山中学校	2
岡山市立操山中学校	11
宇野体協婦人バレー	2
うのっこ食堂	5
宇野ファイターズ	30
宇野FC	20
西竹田町内会	8
知的障害者通所授産施設みどりワークセンター(あおば)	5
学童保育うのクラブ	15
たんぽぽの会	5
就労継続支援A型事業所ひとひら	5
岡山県立岡山操山中学校ボランティア	7
岡山市立操山中学校ボランティア	20
計	32 団体 339 名

⑫事業実施メンバー

NO	役職名	町内会及び各種団体	代表者(会長)名	年齢 (歳代)	住所
1	監査	町内会	[REDACTED]		岡山市中区浜1-14-3
2	実行委員長				岡山市中区浜3-5-32-2
3	会計				岡山市中区浜1-12-21
4	実行委員				岡山市中区浜1-15-76-6
5	実行委員				岡山市中区浜1-17-24
6	会長				岡山市中区原尾島3-9-27
7	実行委員				岡山市中区原尾島1-17-11-3
8	実行委員				岡山市中区原尾島2-8-19
9	事務局				岡山市中区原尾島873-3
10	実行委員				岡山市中区原尾島2-16-5
11	実行委員				岡山市中区糠東町1-2-15
12	実行委員				岡山市中区西川原309
13	実行委員				岡山市中区浜1-4-5
14	事務局				岡山市中区西川原1-5-17-12
15	監査				岡山市中区東川原179-5
16	実行副委員長				岡山市中区竹田155
17	実行委員				岡山市中区竹田101-1
18	実行委員				岡山市中区竹田118-51
19	実行委員				岡山市中区竹田98-47
20	実行委員				岡山市中区糠71-8-V-604
21	(実行委員長)	各種団体	[REDACTED]		岡山市中区浜3-5-32-2
22	(会長)				岡山市中区原尾島3-9-27
23	(実行副委員長)				岡山市中区竹田155
24	(監査)				岡山市中区1-14-3
25	実行委員				岡山市中区糠東町1-2-15
26	実行委員				岡山市中区浜1-9-12
27	実行委員				岡山市中区原尾島3-12-58
28	実行委員				岡山市中区藤原西町1-2-5-1
29	実行委員				岡山市中区原尾島1-15-29
30	(実行副委員長)				岡山市中区竹田155
31	実行委員				岡山市中区浜3-3-2070-774/202
32	実行副委員長				岡山市中区藤原西町1-2-5-1
33	実行委員				岡山市中区中島239-5
34	実行委員	岡山市中区1-11-6-2			
35	実行副委員長	岡山市中区竹田110-1-102			
36	顧問	岡山市中区原尾島1-9-1			
37	実行委員	岡山市中区原尾島1-9-1			
38	顧問	岡山市中区西川原332			
39	顧問	岡山市中区国富3-11-1			
40	顧問	岡山市中区原尾島1-7-11			
41	顧問	岡山市中区西川原351-12			
42	顧問	岡山市中区浜1-14-4			
43	顧問	岡山市中区浜412			

()番きは、兼務

★新任

⑬ 収支報告書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	400,000	区づくり事業補助金
協賛金	350,000	302,000	企業協賛金
負担金	11,000	9,000	夜店
広告料	0	0	
寄付、他収入	201,690	97,310	コミュニティ協議会
貯金利息	0	0	
計	962,690	808,310	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必ず記載して下さい)
消耗品費	60,000	34,825	ラインパウダー、養生シート、ガス代、スイカ代他
食糧費	35,000	22,641	当日飲料代、おにぎり代
印刷製本費	55,000	50,938	カラーチラシ代 カラー掲示板用、会議資料印刷代
通信運搬費	0	0	
手数料	2,160	1,512	振込手数料
使用料	450,000	149,480	照明機器、音響機器、 コミュニティハウス使用料等
原材料費	0	0	
委託料	37,800	223,020	ステージ、ゴミ収集・運板・処分費
工事請負費	206,000	200,000	夜店照明等電気工事
報償費	60,000	69,364	出演者謝礼
燃料費	11,000	10,800	照明機器用
保険料	45,730	45,730	傷害保険費用
計	962,690	808,310	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 31 年 3 月 25 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ふれあい夏まつり in 竜之口実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 実行委員長 守谷 俊昭

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	ふれあい夏まつり in 竜之口		
事業実施区域(小学校区)	竜之口学区		
① 業実施内容	<p>○開催日時: 30 年 8 月 18 日(土曜日) 16 時 30 分 ~ 21 時 00 分</p> <p>○開催場所: 竜之口小学校運動場</p> <p>○事業実施内容 各種団体による出店 28 店(竜之ログルメの食べ歩き、楽しいゲーム) 当日のプログラム</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 岡山県立東岡山工業高等学校 吹奏楽部による夏バージョンの夕べのひと時 2. 岡山学芸館高等学校 和太鼓部による競演 3. 開会式 4. 竜之ロクラブ児童による大合唱 5. 地域女性音楽集団「すまいる」による演奏と歌 6. 総踊り 7. 大抽選会 8. 閉会式及び片付け <p>当日の準備(テントの設営・やぐら・ステージの飾り漬け及び提灯の取付け敷線等)又、プログラムも計画通り進み大変多くのお客様でにぎわい、事故もなく無事終わり、この事業も岡山市・協賛各社・実行委員会・学区諸団体がボランティア・お客様の理解と協力のお陰と感謝しています。</p> <p>小学校清掃 平成 30 年 8 月 19 日(日) 7 時 30~10 時 00 分 学区民 250 名以上参加</p>		
運営スタッフ人数	285 人	来場者数	約 3,000 人
出演者人数	200 人	天候	晴

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

会場の設営は各町内会・各種団体の関係者が早朝からヤグラの飾りつけ、提灯の取り付け、テントの設置等を学区民が一体となって取り組み事故もなく計画通り準備を行いました。

開会は東岡山工業高校吹奏楽部による夏バージョンの夕べのひと時、学芸館高校和太鼓部による若さ溢れる太鼓のリズムでお客様と一体となり会場は老若男女多数の人々の歓喜と笑顔、竜之口グルメを提供する各種団体 28 店の夜店、調理する人、売り子のボランティア、スタッフとお客様とが一体となり祭りを楽しみ絆を深めることができました、事故もなく無事終わりました。

翌日は小学校の清掃作業です、早朝より参加者 250 名を超える地域の人達が小学校子どもたちのために「安全・安心・きれい」を旨に体育館の清掃・校庭の草取り作業に取り組み大変きれいになり、2学期を爽やかに迎えることができました。

少子高齢化社会ではありますが、「人と人、人と地域、地域と地域」の絆が本事業を通し育んだと思います。

③ 事業における地域性・特色

田舎の自然と歴史が残る「急速に発展した地域」と「昔ながらの地区」が混在し、近郊には支援学校、総合福祉施設、工業高等学校が在り、学区との交流が盛んに行われている。多くの人たちが「夏まつり」開催の会場は社交場となり、日頃は交流を図りづらい人びとが、「夏まつり」という同じ空間を楽しんでいます。地域にはぶどう畑がありピオーネ、雄町米を素材に使った「酒まんじゅう」を製造販売、まつりは地域住民や事業者をはじめとする多くの団体からの協賛金と積極的な出店者の理解と来場者皆様に運営されています。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- 1.夜店の行列対策としてりんご飴の新規の出店をお願いした。
- 2.出店者のスタッフの増員。
- 3.環境衛生協議会がゴミの分別対策を行う。
- 4.地域女性音楽集団「すまいる」による演奏と歌の出演

⑤ 事業の公共・公益性

- 1.近郊の障害者施設で制作した製品の販売を行う。お客様にポスター、チラシ等でPRし理解を頂今後も支援活動を推進していきます。
- 2.災害地の特産品の販売と募金活動を行いました。
- 3.各町内会、学区諸団体、小学校 PTA、児童クラブ、郵便局、障害者施設等が出店の参加が有ります。
- 4.夜店は低価格で販売。
- 5.夏まつりの翌日に小学校清掃活動を行いました。

⑥ 事業の情報公開

1. 事業内容は電子町内会ホームページで活動状況等を公開しています。
2. ポスターを作成し各町内会の主要な場所、区役所、公民館、郵便局等の公共施設、スーパー、商店へ掲示を依頼しました。
3. 夜店の品目、会場の見取り図の“チラシ”を作成し学区全戸へ配布しました。
4. 地域の公園、小学校、幹線道路周辺へ“竜之口オリジナルのぼり”を設置しました。
5. 8月発行の新聞“たつのくち”は夏まつり一色、事業内容及び各出店者のPR等を掲載し学区全戸へ配布しました。
6. 竜之口電子町内 1,000 名余りへ“夏まつり開催”の一斉メール発信を行いました。
7. 事業の進捗状況は実行委員会を通して各町内会へ情報を伝達しました。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- ① チラシを作成配布、 ② HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、
⑤ その他(ポスターを製作し公共施設、スーパー等へ掲示をお願いした。)

⑦ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

1. 会議用の資料は高島公民館で印刷を行った。
2. テント・机・椅子等は各町内会、コミュニティハウスを使用している。
3. 焼き物、かき氷等の調理用具は旭川荘や近郊の子供会等、様々な所から借りている。
4. 提灯の敷設、電気配線については町内会有志、中学校ボランティア等が設置しました。
5. 環境衛生協議会が出店者と参加者へゴミの分別を徹底、昨年度より大幅に改善しました。
6. 運営費は協賛事業者に広くお願いをしました。

⑧ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

次年度は第 10 回の区切りになる夏まつりの開催です、初心を大切に『目的』意識を新たに事業実施メンバー全員に認めた取り組みを徹底します。課題の夜店のお客様対応の販売数量を解決するため更に新規の出店者の参加を呼びかけをします。竜之口学区の将来像「安心安全でより住みやすいまちづくり」を学区連合町内会が頭に各種団体がそれぞれが連携、協働することにより相乗効果のあるまちづくりを行います。また、自主的な活動を展開することにより、生きがいの創出や地域への愛着や誇りが深まり、住んでよかった、これからも住みつづけたいと思える活力あふれる地域の創造につなげたいと思います。

第 10 回「ふれあい夏まつり in 竜之口」を『地域力』で開催するに当たり、若いスタッフと新たな人材を抽出し、失敗を恐れず新企画等に挑戦します。夏まつりを通して地域の抱える諸課題解決と更に住みよい竜之口学区の実現に向けて取り組みます。

第 10 回の開催は記念となる企画を予定、近郊の 2 つの保育園からも出演依頼があります。参加頂いたお客様、地域住民の皆様、運営にかかわったスタッフの皆様からの意見に耳を傾け議論を重ね今後の活動の糧にさせて頂くことが重要と思っています。

⑨ 感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

審査会で地域の文化・歴史・自然等の企画へ提案がありました、地域には古から盆踊りで歌って踊った「四御神音頭」があり、現在では「竜之口音頭」となり文化・歴史・自然の歌詞の原稿を手作りうちはへ印刷しまし。

竜操中学校へボランティアを毎年募集、設営、夜店の販売、スタンプラリー係り等で大活躍を頂き大変感謝しています、中学校からも大変喜ばれています。

竜操中学校のボランティアの皆様はこの祭りの目的を通して自主的に活動され地域の皆様と笑顔で接し交流も図られネットワークにより一層の結びつきが強く感じられたと思っています。

「酒まんじゅう」は年間を通して子どもから高齢者までが喜んで食べられるまんじゅうの研究を婦人会・栄養改善協議会の皆さんが素材のピオーネを確保、保存、早々と売り切れました、し試行錯誤中です。

子ども達に大人気のリンゴ飴を販売しました、素材の姫りんごの確保では、りんごの産地青森、福島、長野県等へお願いしました、生産者・販売店からは良い回答は得られませんでした。私が数年前に旅行した時のメモを思いつき生産者へ連絡しました、その生産者からは姫りんごは有りませんが数軒の生産者を紹介いただきました、リンゴが無い訳は夏まつりの8月までの保存方法です、低温倉庫が必要になります。4件目の紹介先でようやく500個の姫りんごが確保できました。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- 1.低価格の夏まつりで、手作り、きれい、連携をモットーにされており、地域の一体感が感じられます。
- 2.行事の前から中高生ボランティア募集など、参画意識を持たせていることが成功につながります。
- 3.学区の歴史、文化、自然などに関する企画を充実させ、さらなる盛り上がりを目指します。
- 4.竜之口を代表する「酒まんじゅう」の完成度をさらに高めてほしい。
- 5.テントの設営なども自分たちで行っており、地域の人たちの誇りを感じます。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- ⑩ おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

右記の I ～ V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
5月12日	第1回実行委員会	<p>コミュニティハウス 実行委員会委員 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成30年度岡山市区づくり推進事業助成申込み及び事業決定について 平成30年度区づくり推進事業申請審査結果報告 2. 平成30年度ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて <ol style="list-style-type: none"> 1) ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて概要説明 2) 夏まつり開催日 8月18日(土) 16時30分 小学校清掃日 8月19日(日) 7時30分 3) 事業運営への参加団体及び事業実施メンバー構成 4) 実行委員の役職(役割分担)の確認 5) 実行委員会スケジュール 6) 予算書 7) 保険加入について 8) 第2回実行委員会開催議事について
5月14日	出店者募集	<p>出店者へ募集の案内及び資料送付 担当者</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ふれあい夏まつり in 竜之口開催について 2. ふれあい夏まつり in 竜之口出店者募集要領 3. 出店に伴う注意事項 4. 出店計画書 5. 出店の概要 6. 従事者名簿 7. スケジュール表
5月19日	企画会議	<p>コミュニティハウス 実行委員会企画担当者 第8回開催の反省点等検討、プログラム(案)他について</p>
6月2日	出店者募集締め切り	出店計画書受領 担当
6月6日	出店者審査会	<p>コミュニティハウス 実行委員会担当者 各出店者の出店計画書の確認</p>
6月9日	第2回実行委員会	<p>コミュニティハウス 実行委員会委員 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 平成29年度区づくり推進事業報告書審査後の事業評価報告 2. 企画会議の報告 3. 会場設営及び出店者関係(案) <ol style="list-style-type: none"> 1) 出店者一覧表 2) 出店場所配置図(案) 4. 小学校清掃関係 <ol style="list-style-type: none"> 1) 小学校清掃活動の案内(案) 2) 小学校清掃の参加団体(案)

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
6月12日	ポスター募集 手作りうちわ製作	小学校 PTA、中学校 PTA 担当者 ポスター作成について小、中学校へ依頼書による 担当者 手作りうちわ製作について小学校へ依頼書による
6月14日	寄付金集め	担当者 協賛事業者へお願い
6月15日	竜操中学校ボランティア募集	中学校 PTA 担当者 竜操中学校へ募集要領でお願いする。
6月16日	出店者説明会	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 議題 1. 平成30年度岡山市区づくり推進事業助成申込みについて 2. 平成30年度に実施した岡山市区づくり推進事業の事業評価を報告 3. 平成30年度ふれあい夏まつり in 竜之口開催に向けて説明 4. 出店者関係 1) 出店者一覧表 2) 出店者の注意事項 5. スタンプラリーの説明 6. 雨天時開催の説明 7. 保険関係
6月29日	ポスター受け取り	小学校 PTA, 担当者 中学校 PTA 担当者
6月30日	第3回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議題 1. 第9回ふれあい夏まつり in 竜之口プログラム関係修正(案) 2. 小学校・竜操中学校のポスター原稿状況について 3. 小学校へ“手作りうちわ”の製作について 4. チラシ制作について 5. 各町内会へ会場設営応援要請 6. 小学校清掃案内書 7. 出店者収支一覧表 8. ふれあい夏まつり in 竜之口実施要領 細目(注意事項、その他) 9. 雨天時の夜店配置について
7月13日	ポスター完成	ポスター受取り 担当者 各町内会へ配布 公共施設・スーパー等へ配布し掲示を依頼

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
7月14日	第2回出店者会議	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 1. 岡山市消防局より〈催物(花火大会・祭り等)における屋台等出店時の消火器設置等の注意事項について 2. 各町内会のテント設営配置図 3. 出店注意事項 4. 竜操中学校生徒(26名)が応募したボランティア活動内容の内訳 5. ボランティア活動の今後の予定 6. 岡山市保健所の注意事項配布
7月20日	小学校周辺へのぼり設置	竜之口小学校 担当者、竜操中学校 PTA 担当者2名 竜操中学校ボランティア6名が小学校周辺へのぼり25本を設置
8月2日	竜操中学校ボランティア説明会	コミュニティハウス 竜操中学校 PTA 担当者2名 担当者 1. 活動内容の説明 2. ふれあい夏まつり in 竜之口当日の注意事項 3. 夜店配置を割付け
8月4日	連合町内会月例幹事会	コミュニティハウス 各町内会長 各町内会へ“たつのくち新聞”を配布
8月5日	第4回実行委員会	コミュニティハウス 実行委員会委員 1. 実施要領・スタッフについて 2. 各設営関係の主な項目の説明 ヤグラ・ステージ・各テント・本部関係 3. 開催当日の設営・準備予定の時系列表の説明 4. 竜操中学校ボランティア配置表について 5. 小学校清掃について 6. 緊急時対応の携帯電話登録について
8月11日	第3回出店者会議	コミュニティハウス 出店者代表・担当者 夏まつり当日の時系列を説明 1. やぐらへ提灯の取り付け・本部テント設営 2. 各町内会のテント設営 3. 夜店の設営についての注意事項 4. 出店準備 5. 夜食 6. 開店準備 7. 開店 8. 閉店 9. 片付け

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
8月16日	やぐら・ステージ位置を設定	竜之口小学校運動場 担当者 月本建設
8月17日	前日準備	竜之口小学校運動場 サッカー一部役員・担当者 1.各テント位置の区割り 2.月本建設 やぐら・ステージ・ポスター展示版の設営
8月18日	祭り当日	竜之口小学校運動場 各町内会役員・実行委員・学区民 竜操中学校ボランティア他 1.会場設営(準備) 1)コミュニティハウス・小学校体育館・倉庫から機材運搬 2)やぐらへ提灯の取り付け・本部テント設営 3)各テントの設営、提灯の敷設 4)各テントへ机・椅子を配布 5)放送設備の確認 6)ステージの飾り・ポスター掲示 2.開場(祭り開催) 1)出店準備 2)スタッフへ夜食 3)開店準備 竜操中学校ボランティア配置 4)夜店の開店 5)夜店の閉店 6)片付け プログラムのタイムスケジュールで進み、多数の来賓者、参加者約3,000人が祭りを楽しみ惜しみながら無事終了しました
8月19日	小学校清掃	竜之口小学校運動場・校舎・体育館他 小学校先生 学区民他 1.環境衛生協議会ゴミ拾い他 2.学区民総勢250名以上が参加し無事終了しました。 3.前日の夏まつりに出たゴミは環境衛生協議会が分別収集を行った事、また出店者、参加者皆様の理解と協力により昨年度より大幅に減少しました、有難うございました。
9月1日	反省会	コミュニティハウス 実行委員会委員 出店者代表他 反省点、改善点の意見がありました、次回開催時に反映します。

⑩ 事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

月 日	項 目	詳 細
12月15日	総会	コミュニティハウス 実行委員会委員 議事 1. 平成30年度事業報告 2. 平成30年度決算報告・監査報告 3. 平成31年度事業計画案 4. 平成31年度予算案 5. 質疑応答 6. その他

今後の予定

1. 平成30年度岡山市区づくり推進事業報告書提出(第9回)
2. 平成31年度岡山市区づくり推進事業助成申込書提出(第10回)
3. 平成31年度岡山市区づくり推進事業審査会ヒアリング 2月末の予定
4. 来年度は10周年の節目になります、アイデア・工夫等で記念になる夏まつりを開催したいと思います。

⑪ 事業への参加状況(1/2)

事業運営への参加団体等	参加人数
1. 竜之口学区連合町内会(会長)	12
2. 竜之口学区コミュニティ協議会(本部・写真班)	3
3. 竜之口地区社会福祉協議会(会計・本部・踊り指導)	3
4. 竜之口学区防犯防火防災協議会(各町内会)	12
5. 竜之口学区交通安全母の会(各町内会)	12
6. 竜之口学区交通安全対策協議会(各町内会)	12
7. 竜之口学区環境衛生協議会(各町内会)	12
8. 竜之口学区老人クラブ連合会(総務)	3
9. 竜之口学区愛育委員会(各町内会)	12
10. 竜之口学区婦人会(夜食の配食係・酒まんじゅう販売)	24
11. 竜之口学区体育協会(設営・ホルモン焼き・かき氷)	16
12. 竜之口学区民生委員児童委員協議会(本部・地域福祉の店)	10
13. 四御神郵便局(本部・輪投げ)	6
14. 竜操中学校PTA(企画・中学校ボランティア担当・設営)	8
15. 竜之口小学校PTA(企画・スタンプラリー・設営・小学校清掃)	32
16. 竜之口幼稚園(企画・設営)	3
17. 竜之口小学校(小学校清掃)	32
18. 岡山県立東岡山工業高等学校(吹奏楽演奏)出演	35
19. 竜之口クラブ(大合唱)出演	120
20. 岡山市消防財田分団	6
21. 竜操地域学校応援団	4
22. 竜之口学区栄養改善委員協議会(酒まんじゅう・串焼き)	16
23. たまごクラブ(企画)	2
24. 土田町内会(設営・やきとり・フランクフルト)	20
25. 前土田町内会(設営・焼きそば)及び出演	20
26. 東四御神町内会(設営・黒豆おこわ・赤飯)	14
27. 四御神町内会(設営・たこ焼き)	12
28. 東ヶ丘第一町内会(設営)	6
計	467人

⑪ 事業への参加状況(2/2)

事業運営への参加団体等	参加人数
29. 西四御神町内会(設営・金魚すくい)	16
30. 中四御神町内会(設営・おもちゃ)	24
31. 東ヶ丘第三町内会(総務)	1
31. 南四御神町内会(設営・お好み焼き・綿菓子・ポップコーン・りんご飴)	34
33. 芙蓉町内会(設営・ヨーヨーつり)	10
34. 横縄手町内会(設営・ヨーヨーつり)	16
35. 東雄町町内会(設営・ヨーヨーつり)	24
36. 岡山市社会福祉協議会(福祉コーナー)	2
37. 幡多障害者支援センター(ふくじゅ)	8
38. 旭川荘(手作りの手芸品)	4
39. 岡山学芸館高等学校(和太鼓の競演)出演	40
40. 地域女性音楽集団「すまいる」	5
41. 小学校清掃(各町内会・各種団体)	268
42.	
43.	
44.	
45.	
46.	
47.	
48.	
49.	
50.	
51.	
52.	
53.	
54.	
55.	
56.	
計	39団体 919人

⑫事業実施メンバー(1/2)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	役 職
1	学区コミュニティ協議会 顧問 学区老人クラブ連合会 会長 見守りボランティア 代表	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	顧問
2	竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区電子町内会 会長 東四御神町内会 会長				会長・広報
3	竜之口学区連合町内会 副会長 四御神町内会 会長				副会長
4	竜之口学区連合町内会 副会長 南四御神町内会 会長				副会長 実行委員長
5	竜之口学区連合町内会 会計 東ヶ丘第三町内会 会長				本部・総務
6	竜之口学区体育協会 会長 西四御神町内会 会長				事務局
7	前土田町内会 会長				副実行委員長
8	土 田町内会 会長				本部・総務
9	中四御神町内会 会長				監事 近郊対策 出演者関係
10	学区交通安全対策協議会 会長 東雄町町内会 会長				環境衛生対策委員
11	竜之口学区環境衛生協議会 会長 横縄手町内会 会長				交通安全対策委員
12	芙蓉町内会 会長				監事 防災コーナー
13	東ヶ丘第一町内会 会長				監事
14	竜之口地区社会福祉協議会 会長				会計
15	学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会 会長 竜之口保育園 園長 竜之口クラブ運営委員会 会長				本部 報道関係
16	竜之口学区電子町内会 委員				編集
17	竜之口学区愛育委員会 会長				本部・総務
18	竜之口学区婦人会 会長				本部・総務 総踊り担当
19	学区栄養改善委員協議会 会長				出店者指導

⑫事業実施メンバー(2/2)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	役 職
20	竜之口学区交通安全母の会 会長				交通安全対策委員
21	竜之口小学校 校長				小学校施設
22	竜之口小学校 教頭				小学校施設
23	竜之口幼稚園 園長				幼稚園施設
24	竜操中学校PTA 竜之口地区代表				企画 中学校ボランティア
25	竜之口小学校PTA 会長				企画
26	竜之口小学校PTA 副会長				企画
27	竜之口小学校PTA 会長				企画
28	竜之口幼稚園PTA 会長				企画
29	竜之口児童クラブ 夏まつり代表				企画
30	四御神郵便局 局長				本部
31	竜之口地区社会福祉協議会 副会長				本部・総務
32	竜之口地区社会福祉協議会 老人会				本部・総務
33	地区民生委員児童委員協議会 副会長				本部
34	東四御神町内会 副会長				本部・総務
35	東四御神町内会 副会長				本部・総務
36	竜之口学区体育協会 事務局				設営
37	竜之口学区体育協会 理事				設営
38	土 田町内会(ボランティア)				本部・救護
39	前土田町内会(ボランティア)				設営・電気関係
40	竜之口学区区づくり推進委員 南四御神町内会(ボランティア)				設営・放送関係
41	南四御神町内会(ボランティア)				アナウンサー
42	たまごクラブ 運営委員				企画
43	竜操中学校ボランティア				企画
44	竜操中学校ボランティア				企画
45					
46					

⑬ 収支決算書

◆収入

単位:円

項目	予算額	決算額	備考
岡山市補助金	400,000	400,000	岡山市補助金
協賛金	260,000	295,000	協賛金
負担金	180,000	146,304	連合町内会負担金
広告料	120,000	120,000	各町内会の負担金
寄付、他収入	35,000	35,000	当日寄付金
計	995,000	996,304	

◆支出

単位:円

項目	予算額	決算額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	230,000	145,902	うちわ・コピー用紙・インク
② 食糧費	180,000	155,227	会議お茶・スタッフ食事
③ 印刷製本費	200,000	211,544	新聞・ポスター・会議資料
④ 燃料費	5,000	6,577	発電機・保冷車用ガソリン
⑤ 光熱水費	0	0	
⑥ 通信運搬費	10,000	6,880	切手
⑦ 広告料	0	0	
⑧ 手数料	0	0	
⑨ 使用料	20,000	11,664	リース代
⑩ 原材料費	10,000	0	木材
⑪ 委託料	65,000	69,120	ガードマン、ゴミ処理
⑫ 工事請負費	220,000	350,000	仮設舞台・ヤグラ
⑬ 報償費	35,000	25,000	出演者御礼
⑭ 保険料	15,000	14,390	傷害保険、傷害・傷害旅行
計	995,000	996,304	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 31 年 1 月 22 日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ ヒライマツリジッコウメインカイ
団体名 平井まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ ハノカ エイトロウ
代表者役職・氏名 委員長 花岡 栄太郎

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	平井まつり“2018”		
事業実施区域(小学校区)	平井小学校区		
①事業実施内容			
	○開催日時:平成31年 10月 27日(日曜日) 9時40分～14時00分		
	○開催場所:岡山市立平井小学校		
	○事業実施内容		
校舎内	親子で楽しむ木工教室、東山中学校美術部によるワークショップ 平井小PTAの制服リサイクルバザー		
運動場	開会行事及び平井小学校スマイルバンド・東山中学校ブラスバンド 演奏、岡山市消防音楽隊演奏、山陽学園学生によるうらじゃ踊り 警察車両展示、消防車両展示、防火・防犯啓発活動、各種団体啓発 活動、起震車による地震体験、交通安全啓発活動、移動環境学習車 体験、各種団体模擬店、学区内企業模擬店、国土交通省啓発活動 東山中学校ボランティア部生徒によるバルーンアートの実演と配布お楽 しみイベントなど		
運営スタッフ人数	230 人	来場者数	約 2,500 人
出演者人数	153 人	天候	晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

*この行事は、学区内の学校園・各種団体と警察署・消防署・岡山河川事務所等の行政機関の参加をして頂き、行政との協働と地域の絆で安全・安心に対する関心が出てきている。

*学区内の学校園の児童・園児の出演により、保護者・祖父母も参加し世代交流が出来ている。

*学区内の特別養護老人ホーム(おもいやり)の参加により高齢者施設との交流が出来た。

③事業における地域性・特色

今年の平井まつりには、約 2500 人以上の参加者があり、学区全体の行事として定着している。また、この行事を通じて学区民のふれあいの場と防災・防犯・交通安全の情報を提供することにより、地域の活性化が、促進されると考えておりますとともに、各種団体の連携の強化と行政機関の参加より防犯、防災への関心や、各種行事に対する協働体制が図られると考えております。

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- ・ 各種団体などの代表者からなる実行委員会を組織して手作りの企画・運営を行う。
- ・ 分別ごみ箱を設置することにより、ごみのリサイクルを啓発する。
- ・ 警察・消防等・岡山河川事務所が参加して、防災・防犯・防火の啓発、指導を行ってもらう。
- ・ このイベントを、各種団体は活動内容をアピールする場として活用する。
- ・ まつりのチラシ・ポスターの原画を平井小学校の生徒が作成。
- ・ 学区内の施設や企業の参加で地域のつながりが出来る。

⑤事業の公共・公益性

・参加団体等は利益を目的にせず、地域のふれあい、安全・安心して暮らせる地域となる行事として開催している。

⑥事業の情報公開

チラシA4 サイズ	学区内に回覧	450 枚
	小学校、幼稚園、保育園(園児・児童呼びかけ用)	1200 枚
ポスターA3 サイズ	町内会掲示板、郵便局、銀行、商店、スーパー、事業所等	100 枚
ホームページ	平井学区電子町内会(学区内外への情報発信)	

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- Ⅰ チラシを作成配布、Ⅱ HPに掲載、Ⅲ 市の広報紙に掲載、Ⅳ TV、ラジオで公開、
Ⅴ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

・連合町内会、各種団体からの助成金の見直しと出展者からの負担金を徴収額の見直し等をして自主財源の検討をする。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

・運営のメンバーが高齢化してきているので、学校園の保護者等の参加を少しずつ進んでいるがこの事業を次世代につなげていくこと

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

・毎年参加者、参加団体が増加しており、地域の障害者施設や高齢者施設の参加もあり地域課題の高齢者福祉や障害者福祉への関心が持てた
 ・参加者のアンケートは実施できなかったが、口頭での確認では良かった。次年度検討

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

- ・高齢者の居場所が少ない
- ・アンケート調査の実施

右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- Ⅱ おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
30. 5. 25	実行委員会
30. 6. 22	実行委員会
30. 7. 27	実行委員会
30. 8. 24	実行委員会
30. 9. 21	実行委員会
30. 10. 19	実行委員会
30. 10. 26	前日準備
30. 10. 27	開催
30. 10. 28	会場清掃
30. 11. 2	反省会
30. 11. 22	監査
30. 12. 24	監査報告会

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
平井学区連合町内会	10
平井学区教育振興会	6
平井地区社会福祉協議会	4
平井消防分団	15
交通安全協会平井支部	11
平井学区シルバークラブ連合会	5
平井学区体育協会	12
平井学区コミュニティ協議会	5
平井学区安全・安心ネットワーク	15
平井学区交通安全母の会	5
平井小学校学校支援ボランティア	7
平井地区民生委員・児童委員会	17
平井地区愛育委員会	17
平井小学校	8
平井小学校 PTA	30
平井幼稚園 PTA	18
平井保育園保護者会	16
山陽短期大学附属幼稚園PTA	11
平井土手町内会	10
平井地区少年警察協助員会	4
平井地区保護司会	3
弘徳学園	9
おもいやり	7
計	245人
団体	

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	歳代	備考(加入団体等)
1	顧問				連合町内会会長
2	委員長				安全・安心ネットワーク会長
3	副委員長				教育振興会長
4	副委員長				連合町内会副会長
5	委員				湊町内会長
6	委員				コミュニティ協議会長
7	委員				シルバークラブ会長
8	委員				交通安全協会支部長
9	委員				市消防団副団長
10	委員				東山中PTA会長
11	委員				学校ボランティア代表
12	委員				平井小学校教頭
13	委員				平井地区社協会長
14	事務局・会計				元上町町内会会長
15	幹事				元、民児協会会長
16	幹事				愛育委員会会長
17	幹事				平井幼稚園長
18	幹事				交通安全母の会長
19	幹事				元コミュニティ協議会長
20	幹事				連合町内会副会長
21	監事				防犯協議会長
22	監事				平井小学校長
23					
24					
25					

⑬ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	220,000	151,100	
協賛金	180,000	138,291	学区各種団体
負担金	40,000	13,000	出展者(13 団体)
広告料			
寄付、他収入			
計	440,000	302,391	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	80,000	45,358	巻き尺、バルーン、ロープ等
②食糧費	60,000	56,781	弁当、お茶代
③印刷製本費	50,000	51,296	ポスター、チラシ、会議資料
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	6,000	5,996	切手、ハガキ代
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料	150,000	50,000	テント、イス、机 リース代
⑩原材料費			
⑪委託料	15,000	12,960	車両誘導警備
⑫工事請負費			
⑬報償費	30,000	38,000	出演者等 謝礼
⑭保険料	49,000	42,000	当日の行事参加者傷害保険
計	440,000	302,391	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 30 年 12 月 25 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマフミカ 渋谷ウイニカイ
 団体名 富山文化まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ コシノトモ子
 代表者役職・氏名 委員長 小西 満智子

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第 6 回 富山文化まつり		
事業実施区域(小学校区)	富山		
①事業実施内容	<p>○開催日時: 30 年 10 月 27 日(土曜日) 10 時 00 分 ~ 16 時 00 分 30 年 10 月 28 日(日曜日) 10 時 00 分 ~ 15 時 00 分</p> <p>○開催場所: 岡山市立富山公民館 及び 岡山市立富山小学校と校庭</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 作品部 学区民による 作品展示 富山中学校・小学校・幼稚園・子供園の作品展示 ● 舞台部 1 日目 おもて大人中心の演技、演奏中心 2 日目 午前中子供中心のイベント 午後は音楽会(フラッシュバンド) ● 体験部 大正琴 折り紙 剣道部 子供会 折り紙等 おもちつき ● 模擬部 お札 焼鳥 カレーライス おにぎり パン お菓子 コーヒ 店舗 ● 広報部 ポスターの作成 文化まつりニュース発行 プログラム作成 DVD 作成 ● 電子冊子 展覧作品・舞台の様子 会場内の様子の ビデオ取り 写真と取る 		
運営スタッフ人数	30 名	来場者数	2,000 名
出演者人数	463 名	天候	晴

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

今年はお介技研から会場設営のため若い社員連が来て下さり
一気に会場の中のふんいきが活気にあふれハワーアップした
若年社員の方は本当に気持ちよく心から動いてくれ、これと区民連がとても
感謝していた。これを本音が願っている協働作業によるコミュニケーション
作りが出来た様子を見て我々委員も感謝した

③事業における地域性・特色

富山学区は緑豊かな礪山を以て有名な曹源寺があるなど農業、商業
会社も混然としている。しかし文化は高く、向上心のある人連が多い
と思う。そしていろいろ特技を持った方連が多いと思う。
各種団体も互いに助け合い活動にも活気がある

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

弁当類がすぐに売り切れてしまいお客様ご事情を裁いたの、来年度は
どういった方がいいよう考えたい
昨年から中学生にまつりのボランティア活動の内容を事前に説明する会と設
けて自分のやりたい所を選んでもらうようにしたらボランティアの数が増えた。

⑤事業の公共・公益性

多くの学区民が富山文化まつりの存在を知る様になり、来場者も
多くまた何よりも子供連がたくさん来てくれる様になった。
そして各種団体からも協力を得富山文化まつりの成功に向けて
団結する事でコミュニケーションが生まれ活気ある地域に発展
していると思う。

⑥事業の情報公開

7月にチラシ1号を富山学区全戸に配布10月にチラシ2号を配布した、文化まつりより3週間前に富山公民館のロビーにてポレイメント(昨年の文化まつりの様子の写真)を展示した。又会場周辺にのぼりを40本たて、歩道橋に横断幕をかけた。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

① チラシを作成配布、 Ⅱ HPに掲載、 Ⅲ 市の広報紙に掲載、 Ⅳ TV、ラジオで公開、 Ⅴ その他(ポスター・電子町内会・所回覧・のぼり・横断幕 公民館にのぼり)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

1番経費の上がる所はやはり機材の運搬費である。これと比べればホランテなどで買ってあげると言うこと、それと比べれば利益を上げるかは模擬店の販売力と上げることにあると思っている。今年から大友カーOG技研の若手社員10名を依頼し、車の手配1度には運搬出来れば寄財に行こうと思っている。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

若い実行委員が仕事をしつからず学区のまつりと守伝う車が出来ない様工夫していかねければと考えている。

地域のホランテ、OG技研という大会社にまつりの意義と理解してもらい協力を要請する。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

毎年体験コーナーと設け実施しているが発表の中での来場者参加も実施した。毎年子供の参加者かふえている。今年もアンケート調査を実施した。おちつき好評だった。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

助言等の内容について、改善ができましたか。

I できた
 ② おおむねできた
 III 一部できなかった
 IV まったくできなかった
 V 改善意見がなかった

右記のI～Vの該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:)

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
30年 3月 15日 第1回実行委員会	第16回の富山文化まつりを行う実行委員のメンバーの顔見せと今年1年まつりまでの行程の確認
" 6月 4日 役員会	第2回実行委員会に向けての打ち合わせ
" 7月 1日	ニュース1号発行
" 8月 25日 第2回実行委員会	作品出品、舞台出演申し込みの状況把握 それぞれの役割分担
" 9月 2日 第1回参加者合同会議 役員会	PM 1:30~2:00 全員へあいさつ PM 2:00~3:00 作品部、舞台部、広報部、体験部 模擬部に分かれてまつりの説明
"	PM 3:00~5:00 合同説明会の把握と各部の進行
"	ニュース2号発行
" 10月 7日 第3回実行委員会	AM 10:00~12:00 それぞれの役割が出来ているか
第2回合同説明会	2回目は作品部と舞台部だけ会場設営、リハーサルの取り扱
10月 25日	文化まつりに使用する白布等備品の仕分け
10月 26日	備品借用 会場設営 準備 リハーサル
10月 27日 28日	富山文化まつり、備品返却
12月 1日 参加者反省会	13:30~14:00 全体の反省 14:00~15:00 各部に別々反省
第4回実行委員会 反省会	16:00 参加者反省会と揃ってからの委員会 実行委員としての反省点を話し合う

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
1 富山学区連合町内会	21 町内
2 富山文化まつり実行委員会	28名
3 富山こども園	40名
4 富山幼稚園	120名
5 富山小学校	35名
6 富山中学校	100名
7 富山中学校 PTA	20名
8 富山学区民(作品展示・舞台発表)	463名
9 富山電子町内会	10名
10 富山スポーツ少年団後援会	16名
11 交通安全 母の会	8名
12 富山学区ユミニティー協議会	5名
13 富山ハートフルバンド	40名
14 晴吹 フラスバンド	45名
15 若松園	30名
16 愛育委員会	10名
17 あくらの会	10名
18 元気のできる会	10名
19 富山荘	20名
20 恵鳳荘	30名
21 O.G.技研	10名
22 福泊町内会	10名
23 なかよしクラブ	10名
24 富山学区婦人会	8名
25 栄養改善協議会	8名
計	25 団体 1086人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会長
2	委員長				
3	副委員長				
4	副委員長				連合町内副会長
5	副委員長				
6	副委員長				
7	部会長				
8	部会長				
9	部会長				
10	部会長				
11	書記				
12	会計				
13	監査				
14	実行委員				
15	〃				連合町内会計
16	〃				
17	〃				
18	〃				
19	〃				
20	〃				
21	〃				
22	〃				
23	〃				
24	〃				
25	〃				夢育委員長
26	〃				
27	〃				富山中学校教頭
28	〃				富山小学校教頭

収 支 決 算 書

◆ 収入

単位：円

	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	275,000	243,100	岡山市補助金
協賛金	160,000	138,900	作品出店、出演料等
負担金	50,000	50,000	自治振興会より
寄付、他収入	65,000	54,320	模擬店出店料等
利息	0	1	
	550,000	486,321	

◆ 支出

単位：円

	予 算 額	決 算 額	備 考
消耗品費	200,000	166,109	封筒、文具、用紙、賞状等
食糧費	60,000	62,619	事業当日の昼食飲料代など
印刷製本費	100,000	96,522	印刷、コピー、ポスター代等
通信運搬費	45,000	51,692	切手、封筒代、運搬費等
手数料	5,000	11,580	クリーニング代、振込手数料等
使用料	0	0	
原材料費	3,000	5,599	もち米代等
委託料	7,000	5,000	遊具の組立、解体、修理等
報償費	100,000	55,000	出演料・音響運営等
保険料	30,000	32,200	保険代
	550,000	486,321	

以上のとおり、収支決算の内容を報告します。

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成 31 年 / 月 2 / 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ 団体名 ^{いんぱんくさつせいかい} 操南学区の活性化実行委員会

所在地

連絡先

代表者役職・氏名 ^{やまなか けん} 会長 若城 孝行

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	沖ノ河廻り操南ふれあひ祭り		
事業実施区域(小学校区)	操南小学校区		
①事業実施内容	<p>○開催日時: 平成30年 11月18日(日曜日) 午前 9時 分 ~ 午後 2時45分</p> <p>○開催場所: 岡山中区桑野 桑野スポーツ広場</p> <p>○事業実施内容 (詳細 別紙)</p> <p>① ステージの部 冬のお話、学童の演技、吹奏楽演奏、カラオケ、パレード演奏、 ドンゴゲーム、餅投げ、福引、お宝表彰</p> <p>② 出店の部 野菜、食品の取巻(肉丸、うどん、パン、焼きそば、豚汁等)、花木</p> <p>③ 展示の部 地域活動写真 等、消防車、パトカー</p> <p>④ ふれあひコーナー ふれあひランド、各種ゲーム、木工体験、ボート練習機体験</p> <p>⑤ その他 献血、健康チェック、空き缶回収、健康・介護相談 防災コーナー(防災グッズ展示、防災グッズ、非常食炊き出し)</p>		
運営スタッフ人数	431	来場者数	2,950
出演者人数	245	天候	晴

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

実行委員、ステジ出演者、テント出店者の協力により事故もなく、参加者の交流促進を図ることができた。

③事業における地域性・特色

学区内の全組織により本事業を実施

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

操南学区連合自主防災会の内容改善。
非常食炊き出しに 防災グッズ展示、防災クイズを実施、
今後も引き続き内容の充実を図る

⑤事業の公共・公益性

上記の防災関係内容の充実

⑥事業の情報公開

① 全世帯へチラシを配付 (概要、確定分(プログラム・会場マップ))
 ② 各町内へ "のぼり" を立てる
 ③ 反省会で収支を含む事業全般を報告

該当する全てのものに○を付けて下さい。
 ① チラシを作成配布、② HPに掲載、③ 市の広報紙に掲載、④ TV、ラジオで公開、
 ⑤ その他()

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

リース料の出店者負担(一部)の可否検討

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

地域連携の有力な対策であり、充実を図る

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 舞台関連費用削減 企画案行員・若手等の起用</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分○を付けて下さい。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。</p> <p>(理由:)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた Ⅱ おおむねできた Ⅲ 一部できなかった Ⅳ まったくできなかった Ⅴ 改善意見がなかった (具体案)</p>
--	--

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
30年 3月 5日	操南学区活性化実行委員会 中核実行委員会予定 4月2日
4月2日	中核実行委員会 (本部、実行委員長、班長、副班長) 審査会意見、反省会意見、経費節減検討
10月1日	「第19回翔ヶ瀬南ふしみの祭り」次回実行委員会 商備内容、実行委員会の再編、役割 所内会長への依頼事項、準備作業概要、 参加予定
10月22日	出演者、出店者、ボランティア参加依頼開始 中核実行委員会 ステージ進行調整
11月5日	「第19回翔ヶ瀬南ふしみの祭り」出店者会議 出店留意事項等 「第19回翔ヶ瀬南ふしみの祭り」次回実行委員会 実施要領、会場設営等作業スケジュール
11月16日	} 会場設営、駐車場整備
17日	
18日	ふしみの祭り実施 終了後片付け
19日	会場片付け
12月17日	「第19回翔ヶ瀬南ふしみの祭り」反省会 予算執行状況、意見交換

①事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
操南中学校吹奏楽部	45
操南保育園 (幼児)	69
操南幼稚園 (幼児)	38
ゆりかご保育園 (幼児)	28
ジュニアキッズ・トルコ体操 (幼児)	21
〃 (子供)	32
操南学区社会公民館カラオケクラブ	6
エレキバンドのんべえす	6
操南学区体育協会 (腕相撲、グラウンドゴルフ等)	15
操南小幼稚園PTA (スーパボールおけいこ)	13
ライホーム 桐白牛組 (木工工作体験)	10
操南保育園 (ゲーム)	17
操南幼稚園 けん玉、たんぼ製作、昔遊び	6
操南幼稚園 厚生部 おもちゃ作り、リース製作	9
佐伯糸店 商品割引販売 (産菜12つき)	3
岡山ふしあひせう 児童館おそび、備し物広報	5
元気の会、社会、民衆、公民館、小中学校 写真展示、健康作り	22
山陽病院 藤崎奇苑 減塩口配慮した豚汁	12
林さくら祭典 肉まん、ホットケーキ	3
岡山県ボト協会 ボト展示、練習機器体験	15
操南小神主の会 焼酎おけいこ	15
岡山博覧会 うどん、せんざい、ワナリ	15
JFA女性部 三幡支部 野菜販売、J-11、天竺	19
ワタリワタリおけいこ会 野菜、果物、パン	7
環境美化班 綿菓子、空	7
岡山中央警察署 バトカー、行方等配布	3
中消防署 旭東出張所 消防車展示、体験	3
計	団体
	人

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
三幡分司 消防車展示、防火広報、フランクフルト敷設	12
沖田分司 消防車展示、体験	8
操南学区連合自主防災会 防災グッズ展示、防災グッズ、非常食炊き出し	15
日本赤十字社岡山県支部 献血	8
操南学区愛育委員会 救護、バザー、健康告知	13
操南学区女性クラブ うべん、J-セー、めん私、肉私	13
操南学区交通安全母の会 フランクフルト、おまつりステック	10
操南学区栄養改善協議会 カレー、豚汁、お餅	17
緑のうえエゾホール岡山 温かいそば、飲物	4
こやま薬局江崎店 チョコバナナ、フランクフル	9
岡山医療生協、岡山中央病院 健康告知、介護相談	20
武田園芸 花、植木、苗木	2
操南中学校PTA	8
操南中学校生徒ボランティア	43
操南学区連合所内会	50
計 41 団体	676 人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	会長				連合町内会会長
2	副会長				〃 副会長
3	〃				〃 副会長
4	〃				〃 副会長
5	顧問				〃 顧問
6	会計部長				〃 会計
7	事務局長				〃 事務局長
8	バ外部長				小用水上町内会長
9	監事				連合町内会 監事
10	バ外部部長				〃 理事
11	実行委員長				交神協 会長
12	交通警備班長				青バ外隊
13	環境美化班長				中畑西町内会長
14	記録班長				中藤崎中町内会
15	救護班長				愛育委員会会長
16	お宝記録班長				社協 会長
17	スノーダ班長				倉益南町内会長
18	本店班長				女性行々会長
19	展示班長				操南公民館館長
20	設営班長				体育協会副会長
21	ゲーム班長				操南小PTA会長
22	福引記念班長				栄養改善協会長
23					
24					
25					

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	470,000	470,000	岡山補助金
協賛金	570,000	502,000	企業個人協賛金69件
負担金	345,990	291,929	連合町内会助成金
広告料	0	0	
寄付、他収入	100,000	134,850	売上及び出店協賛金
利息	10	6	JA預金利息
計	1,416,000	1,328,785	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費	25,000	31,744	事務用品費
② 食糧費	20,000	18,720	会議お茶代
③ 印刷製本費	180,000	97,940	チラシ、協賛取組誌、 シール 資料等印刷
④ 燃料費	0	0	
⑤ 光熱水費	0	0	
⑥ 通信運搬費	15,000	9,090	郵便ハガキ、切手代
⑦ 広告料	0	0	
⑧ 手数料	0	0	
⑨ 使用料	950,000	963,729	無音、音響、電源、テレビ他リース料
⑩ 原材料費	20,000	10,642	石灰、石灰、石膏等
⑪ 委託料	30,000	25,920	カード等委託
⑫ 工事請負費	66,000	66,000	掲示板設置撤去
⑬ 報償費	80,000	80,000	
⑭ 保険料	30,000	25,000	会場入場者の賠償責任保険料
計	1,416,000	1,328,785	

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成30年12月18日

岡山市長 大森雅夫 様

フリガナ 団体名 サワダカキマツリジッコウイインカイ
沢田柿まつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 ジッコウイインチョウ ナガシオ ロシク
実行委員長 長汐 良

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	第30回 沢田柿まつり		
事業実施区域(小学校区)	幡多小学校区		
①事業実施内容	<p>○開催日時：平成30年11月18日(日曜日) 10時00分～15時00分 ○開催場所：岡山市中区沢田地先の百間川河川敷(沢田橋東の多目的広場)</p> <p>7月の西日本豪雨により開催場所が甚大な被害を受け、開催日までに復旧が困難であると判断し開催中止となった。</p>		
運営スタッフ人数	67人	来場者数	0人
出演者人数	0人	天候	曇りのち晴れ

②事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

なし

③事業における地域性・特色

なし

④企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

前々回より全町内会長を実行委員メンバーにしたことで参加する年齢層の幅が広がり多少ではあるが高齢化の解消になっている。

⑤事業の公共・公益性

地元の保育園・小学校・中学校・交通安全母の会・交通安全対策協議会・体育協会・郵便局・宅配業者・柿出荷組合・学校応援団・婦人会・農協・PTA・里山センター・愛育委員・消防団・自警団・各団体企業・連合町内会など、また地元議員の支援もあり地域一体となって盛大におこなっており地域活性化につながっている。

⑥事業の情報公開

会議を開催し実行委員へまつり開催中止の説明と報告をおこない協賛先・地域住民等へ開催中止文章の手渡し・回覧等による周知を依頼した。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

- I チラシを作成配布、 ⑩ HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、
⑤ その他(開催中止文章の手渡し・回覧・郵送)

⑦経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

消耗品については、前回の在庫を確認し使用可能なものは使用することで新たな購入費用を抑え、通信運搬については、基本郵送だが近隣に関しては持参・手渡しなどで切手購入費用を抑えた。

⑧今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

事業の収入源である地元団体・企業からの協賛に関して、今回開催中止になったことで熱が冷めてしまっているのではないかと不安はあるが例年より早めの取り組みに努めていく。
地域キャラクター「ハタわん」を多用し柿販売のイメージから地域イベントのイメージへ変化させていく。

⑨感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

地域キャラクター「ハタわん」の多用による地域全体のイベントであるイメージを定着させていく。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
II おおむねできた
III 一部できなかった
⑩ まったくできなかった
V 改善意見がなかった

右記の I ~ V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由: 開催中止となったため。)

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
平成30年 8月17日	事務局会議 第1回実行委員会会議の事前打ち合わせ・開催可否の協議 ※開催中止が決定
平成30年 8月21日	岡山市中区役所へ開催中止決定の報告
平成30年 9月 5日	第1回実行委員会会議 開催中止決定の報告、協賛者・地域住民へ周知の依頼など
平成30年 9月19日	後援団体等へ開催中止の挨拶回り 備前県民局、JA全農岡山、JA 岡山、岡山市公園協会 岡山中央警察署
平成31年 1月(予定)	反省会義 収支報告、意見交換、次回開催の協議など

沢田柿まつり 参加団体・人数

コーナー	団体	参加人数
1 開催中止		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
	計	0

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	別紙2				
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					
24					
25					

沢田柿まつり実行委員会名簿

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
1	実行委員長				連合町内会会長 防犯協議会会長
2	副実行委員長				沢田生産組合
3	副実行委員長				沢田生産組合副組合長
4	副実行委員長				青果物生産組合幡多支部支部長
5	副実行委員長				沢田生産組合組合長
6	副実行委員長				社会福祉協議会会長
7	副実行委員長				婦人会会長 赤田町内会会長 連合町内会副会長
8	副実行委員長				体育協会会長 経営管理委員
9	副実行委員長				沢田町内会会長
10	実行委員				清水町内会副会長 司会担当
11	実行委員				沢田生産組合
12	実行委員				沢田自警団団長
13	実行委員				沢田青年団団長
14	実行委員				本部付
15	実行委員				沢田生産組合
16	実行委員				市議会議員 交対協会会長 竜操地区学校応援団
17	実行委員				愛育委員会会長
18	実行委員				追分町内会会長 連合町内会副会長
19	実行委員				老人クラブ連合会会長 関東ひまわり会会長
20	実行委員				沢田生産組合
21	実行委員				交通安全母の会会長 交対協副会長
22	実行委員				いきいきサロンもくよう会代表
23	実行委員				藤原町内会会長
24	実行委員				藤原団地町内会会長
25	実行委員				沢田生産組合
26	実行委員				藤原団地北町内会会長
27	実行委員				清水町内会会長 連合町内会副会長

沢田柿まつり実行委員会名簿

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
28	実行委員				清水東町内会会長
29	実行委員				高屋町内会会長
30	実行委員				沢田生産組合
31	実行委員				関町内会会長 連合町内会監事
32	実行委員				兼基町内会会長 連合町内会監事 菊部会部長 青果物生産組合幡多支部副支部長
33	実行委員				今谷町内会会長 (極真空手演武)
34	実行委員				関サニ一団地町内会会長
35	実行委員				沢田生産組合
36	実行委員				藤原南町内会会長
37	実行委員				関東町内会会長
38	実行委員				関北町内会会長
39	実行委員				関竜操町内会会長
40	実行委員				沢田生産組合
41	実行委員				兼基東町内会会長
42	実行委員				竜操パーク町内会会長
43	実行委員				サーパス藤原西町町内会会長
44	実行委員				ハイタウン百間川町内会会長
45	実行委員				沢田生産組合
46	実行委員				竜操清水町内会会長
47	実行委員				ピュア藤原西町町内会会長
48	実行委員				西地区いきいきサロン代表 (楽鼓組)
49	実行委員				婦人会
50	実行委員				小学校PTA会長 交刘協副会長
51	実行委員				岡山市立東公民館館長
52	実行委員				幡多クラブ
53	実行委員				総代代表
54	実行委員				岡山市消防団幡多分団分団長

沢田柿まつり実行委員会名簿

No.	役職	氏名	郵便番号	住所	備 考
55	実行委員				女性部岡山支部副支部長 (民踊同好会)
56	実行委員				レタス部会部長 青果物生産組合幡多支部副支部長
57	実行委員				国土交通省 岡山河川事務所 百間川 出張所所長
58	実行委員				岡山県古代吉備文化財センター
59	実行委員				岡山市公園協会 操山公園里山セン ター・百間川緑地管理事務所所長
60	実行委員				藤原町内会 ふくじゅう
61	実行委員				関北町内会 岡山長岡郵便局
62	実行委員				竜操清水町内会
63	事務局				営農部園芸課課長
64	事務局				沖田営農センターセンター長
65	事務局				沖田営農センター
66	事務局				幡多支所支所長
67	事務局				幡多支所支所次長

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	400,000	11,900	
協賛金	1,060,000	0	地元団体企業等協賛金
負担金	460,000	0	
広告料		0	
寄付、他収入	12,000	12,018	
その他	68,000	0	弁当・お茶
計	2,000,000	23,918	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	26,000	3,600	封筒
②食糧費	168,000	4,932	お茶
③印刷製本費	280,000		プログラムポスター
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費	30,000	15,386	切手
⑦広告料			
⑧手数料	41,000		振込・ごみ収集運搬
⑨使用料			
⑩原材料費			
⑪委託料	1,269,000		会場設営・遊戯施設
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料	13,000		会場・駐車場・食品
	173,000		会場・駐車場警備
計	200,000	23,918	



平成30年 8月21日

岡山市中区役所
区長 高橋 克行 様

沢田柿まつり実行委員
委員長 長 汐 良

第30回沢田柿まつり中止のお知らせ

7月に発生しました西日本豪雨により会場予定地が甚大な被害を受けており開催予定日までの復旧が困難であるため、平成30年11月18日(日)に開催を予定しておりました「第30回沢田柿まつり」は中止とさせていただくこととなりましたのでお知らせいたします。

節目の第30回沢田柿まつりの実施に向け、課題を一つずつ解決しながら、準備を進めて参りましたが、柿まつりを開催できる環境にないこととご来場者の安全を考慮した結果、やむを得ず中止の判断をいたしました。

幡多学区にとりましても、大事なイベントの一つであることからこのような結果となり実行委員一同非常に残念ではございますが、何卒ご理解を賜りたくお願い申し上げます。

最後になりますが、豪雨の被害にあわれた皆さまに心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を心より申し上げます。

以上

連絡先 沢田柿まつり実行委員会

実行委員会 事務局 JA岡山幡多支所内 電話 086-272-0801

岡山市区づくり推進事業報告書

(身近な交流部門)

平成31年2月6日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ タカシマフレアイトンドマツリジッコウインカイ
 団体名 高島ふれあいとんどまつり実行委員会

所在地

連絡先

フリガナ
 代表者役職・氏名 委員長 西崎 英夫

印

* 提出した報告書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
 ただし、個人情報に関する部分は除きます。

事業名称	高島ふれあいとんどまつり		
事業実施区域(小学校区)	高島小学校区		
① 事業実施内容	<p>○開催日時：平成31年1月12日(土曜日) 9時30分 ～ 11時30分</p> <p>○開催場所：岡山市立高島小学校運動場</p> <p>○事業実施内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とんど焼きの実施 ・ふれあい餅つきの実施 ・おかざりの歴史についてのパネル、高島のおかざりの展示 ・雄町米の紹介、パネルの展示 ・天然記念物アユモドキの写真パネル、高島小児童の学習内容等の展示、魚釣り遊びの実施 ・ふれあい昔遊びの実施(こままわし、けん玉、お手玉、メンコ) ・大学生サークルによる防災体験の実施 ・高島の地域資源に関するクイズラリーの実施 ・各種団体によるふるまい模擬店 <ul style="list-style-type: none"> 高島学区婦人会……………豚汁 高島小学校PTA……………ぜんざい JA 岡山高島支所女性部…焼き芋 ・消防車(ポンプ車)の展示 		
運営スタッフ人数	101人	来場者数	約1,500人
出演者人数	—	天候	曇り

② 事業の成果（目的をどの程度達成できたか、まちづくりにどのような効果を与えたか）

当日は一時雨がちらついていたものの影響は少なく、多くの参加者に来場いただけた。来場者は家で飾ったお飾りや、書き初めを持参し、とんど焼きに参加するとともに、高島学区の文化や歴史に触れ、地域団体によるふるまいを楽しみながら、相互に交流していた。また、幼児・児童はクイズラリーに参加し、各ブースに設置したクイズに挑戦していた。

昨年の反省を踏まえ、会場内のブースの内容がわかるよう、各ブースにのぼり旗を設置するとともに、昨年機能した動線をベースに改善したことで、様々な場面で笑顔と会話が生まれ、地域の新旧住民のふれあい・交流が促進し、地域の活性化に貢献したと考えている。

③ 事業における地域性・特色

高島学区は、土地開発による宅地化が進み、若い世代が増加しており、少子化が進む中で小学校校舎が増築されるという、市内でも珍しい人口動態を見せる地域である。そのため、今後の高島地区の振興・発展のためには、古くから地域の文化や歴史を紡いできた住民と、新たに加わった住民との融合が不可欠である。

そのため、どの世代にも馴染みのある伝統行事「とんど焼き」をふれあいのきっかけの場とし、全国に誇る雄町米や自然環境保護のシンボルでもあるアユモドキ保護の活動、会場である高島小学校児童の地域学習の成果など、地域の文化や歴史を伝えるとともに、昔遊びなどの体験を通し、来場者が交流する場を作り、高島学区への理解と愛情を持ってもらうこととした。

④ 企画・運営の工夫（前年度からの改善点等）

- ・連合町内会役員及び若い世代である幼稚園・小学校 PTA を中心に組織を構成し、各種団体と協働し、学区をあげて企画運営を行った。
- ・参加者ファーストの視点に立ち、各ブースにのぼり旗を設けるとともに、場内整理・案内スタッフを配置した。スタッフは統一ビブスを着用し、視覚的にも来場者にわかるようにした。
- ・雄町米、おかざりの展示ブースには、来場者の理解が進むよう、特設パネルを作成し設置するとともに、おかざりづくりの実演を行い、実際の作成工程を視覚的に体験してもらった。
- ・子供世代の参加と地域資源への理解促進を図るため、クイズラリーを実施した。参加者への景品とした缶バッジのデザインも、高島小学校児童から募集し、まつり前からの参画を促進した。
- ・クイズラリー、入り口付近の待合テントは、昨年度の高島小児童が地元のお祭りを学習した際に考案した改善提案であり、積極的に採用した。

⑤ 事業の公共・公益性

・高島学区全住民を対象に、交流促進や地域とのつながりづくり、ひいては地域の活性化に寄与しており、公共・公益性は高い。

⑥ 事業の情報公開

・当事業のチラシを作成し、各町内会、幼小中学校へ約2000枚を配布し、各町内掲示板に掲示するなどして周知を図った。

該当する全てのものに○を付けて下さい。

I チラシを作成配布 II HPに掲載、 III 市の広報紙に掲載、 IV TV、ラジオで公開、 V その他()

⑦ 経費の節減や自主財源の確保についての工夫・改善

- ・チラシを安価なインターネット印刷業者に発注した。
- ・今年度から購入が必要となった檜用の木材も、製材所との交渉によって安価に入手した。
- ・地元企業に働きかけ、協賛金を得た。
- ・案内看板やセイフティコーンなどの備品を、地元住民から借用するなどした。

⑧ 今後の課題 (次年度に向けた改善点、本事業の将来像や課題等)

・校舎増築工事が終わり、グラウンドが全面活用できるため、起震車など防災に関するコンテンツの充実を検討する。

⑨ 感想、自己評価、PR、審査会での助言及び意見を踏まえた改善点

- ・会場レイアウト等を工夫することで、会場内の一体感、ストーリー性は増したと考えている。
- ・展示ブースに小学生の参加型コンテンツを設けるなど、さらに工夫を重ねていきたい。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容

・本部テントをわかりやすく表示してほしい。

右記の I ~ V の該当部分○を付けて下さい。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入してください。

(理由:

助言等の内容について、改善ができましたか。

- I できた
- II おおむねできた
- III 一部できなかった
- IV まったくできなかった
- V 改善意見がなかった

⑩事業実施経過(企画会議・準備会議・準備・当日・反省会・監査等を詳しく列挙してください)

年 月 日	内 容
平成 30 年8月5日	区づくり推進事業審査会
平成 30 年9月 27 日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議① (実施内容、役割分担等の協議、会場レイアウトの検討)
平成 30 年 11 月 22 日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議② (実施内容の詳細協議、PR チラシ内容の検討)
平成 30 年 12 月 17 日	事業実施メンバー代表による合同打ち合わせ会議③ (各団体取組進捗状況の確認、PR チラシの決定)
平成 31 年 1 月5日	事業実施メンバーによるのぼり旗の設置(事前 PR のため)
平成 31 年 1 月 11 日	事業実施メンバーによる事前準備(テント設営、用具の確認等)
平成 31 年 1 月 12 日	高島ふれあいとんどまつり開催
平成 31 年 2 月 4 日	会計による監査
平成 31 年 2 月 4 日	事業実施メンバー代表による合同反省会議

⑪事業への参加状況

事業運営への参加団体等	参加人数
JA 岡山高島支所(部会含む)	10
高島学区連合町内会	20
高島学区婦人会	10
岡山市消防団高島分団	4
高島学区老人クラブ連合会	10
高島学区民生委員協議会	21
岡山市立高島幼稚園 PTA	5
岡山市立高島小学校 PTA	12
高島学区体育協会	5
高島小学校・高島幼稚園	4
計	11団体 101人

⑫事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年 代	備考(加入団体等)
1	委員長				高島学区連合町内会会長
2	副委員長				高島学区婦人会
3	副委員長				JA 岡山高島支所
4	副委員長				JA 岡山高島女性部
5	副委員長 (事務局長)				高島小学校PTA会長
6	幹事				高島学区民生委員
7	委員				高島小学校校長
8	委員				高島小学校副校長
9	委員				JA 岡山高島支所長
10	委員				高島学区連合町内会
11	委員				高島学区連合町内会
12	委員				高島学区連合町内会
13	委員				高島学区連合町内会
14	委員				高島学区連合町内会
15	委員				消防団高島分団
16	委員				高島学区老人クラブ
17	委員				高島学区体育協会
18	委員				高島幼稚園園長
19	委員				高島小学校PTA
20	委員				高島小学校PTA
21	委員				高島小学校PTA
22	委員				高島小学校PTA
23	委員				高島小学校PTA
24	委員				高島小学校PTA
25	委員				高島小学校PTA
26	委員				高島幼稚園PTA
27	委員				高島幼稚園PTA

⑬ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	115,500	102,100	
協賛金			
負担金	85,500	72,296	実行員会団体
広告料			
寄付、他収入	30,000	30,000	地域企業
計	231,000	204,396	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
① 消耗品費	119,000	90,717	櫓木、缶バッヂ、のぼり等
② 食糧費	1,000	966	会議お茶
③ 印刷製本費	12,000	12,024	チラシ作成
④ 燃料費			
⑤ 光熱水費			
⑥ 通信運搬費	6,000	6,318	郵便代
⑦ 広告料			
⑧ 手数料	5,000	5,000	チラシデザイン
⑨ 使用料		100	駐車場代
⑩ 原材料費	85,000	85,779	もちつき等
⑪ 委託料			
⑫ 工事請負費			
⑬ 報償費			
⑭ 保険料	3,000	3,492	イベント共済
計	231,000	204,396	



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31 年 4 月 5 日

岡山市長 大森 雅夫 様

ヒライガックチイキヅクリカイギ

フリガナ
団体名 平井学区地域づくり会議

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名 議長 那須 和夫

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> ア 地域課題解決 <input checked="" type="radio"/> イ 地域課題掘り起し <input type="radio"/> ウ 地域計画づくり <input type="radio"/> エ 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>地域づくり会議の運営と事業展開</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>平井小学校区</p>
<p>①事業実施内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・平井学区地域づくり会議では、高齢者対策として「オレンジカフェひらい」を平成28年10月に立ち上げ、その後今日まで毎月1回のペースで開催を続けています。 ・また、山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」も、年2回実施しておりその結果は、その都度皆様に報告しております。 ・地域の子供たちの居場所づくりのため「プレイパーク」を年2回、成徳学校の裏山で実施しました。大自然の中、親子で楽しんでいました。 ・平成30年度には、旭東病院の協力を得て「認知症サポーター養成講座」を1回、開催しました。平成31年度には、年2回の開催を目指しています。 ・環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として、旭川クリーン作戦（堤防のり面及び河川敷の空き缶、ゴミ等の清掃）を、平井学区環境衛生協議会と協賛で行うことを計画しました。平成30年9月予定
<p>②解決を目指した課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者対策の検討を最優先と考え、認知症予防の一環として「オレンジカフェひらい」を開催することにしました。 ・地域の方々が、元気に楽しく暮らせるよう、「健康チェック」を実施することにしました。 ・子供たちの居場所づくりの一環として「プレイパーク」を開催しました。 ・認知症の方に優しい地域を目指して、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。 ・環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として「旭川クリーン作戦」を計画しました。

<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>事業の目的</p> <p>地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としました。</p> <p>目標の達成状況</p> <p>認知症予防対策事業として立ち上げた「オレンジカフェひらい」は、平成28年10月に第1回目をオープンし、その後今日まで毎月1回のペースで実施しています。</p> <p>山陽学園大学・旭東病院共催で行っている「健康チェック」も年2回開催しています。認知機能・運動機能・骨密度や他ではあまり出来ないようなチェックも行っています。</p> <p>子供たちの居場所づくりの一環として開催している「プレイパーク」も年2回成徳学校の裏山で行っています。</p> <p>旭東病院の協力を得て、認知症の方に優しい地域を目指して「認知症サポーター養成講座」を開催しました。</p> <p>急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を、平井専用IDカードと共に製作したものを、およそ200名の一人暮らしのお年寄りに配布しました。又、愛育委員・民生委員・地域づくり会議メンバーにも配布しました。来年度も引き続き製作、配布していきたいと計画しています。</p> <p>平成30年9月9日決行予定の「旭川クリーン作戦」は、万全の準備をしてきましたが、残念ながら当日大雨のため中止となりました。31年度は是非決行したいと考えています。</p>
<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連合町内役員のみならず、地域の各種団体から推薦された団体代表によって構成する会議体を組織し、会議運営を行っています。 ・ 立ち上げ時のメンバーは25名でしたが、その後メンバー等の都合もあり交代および増員により、現在31名で運営しています。 ・ 効率的な会議運営を行うため、専門部会（プロジェクトチーム）を立ち上げ運営しています。 ・ 学区発刊の新聞「平井学区連合町内会だより」や、平井学区ホームページ「平井学区電子町内会」に地域づくり協議会の活動内容を掲載し、学区内外への情報発信とPRを行っています。

<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・月1回開催している「オレンジカフェひらい」を継続していくと共に、参加された方々が、より楽しい時間を共有できるよう内容を充実していきたいと考えています。 ・年間2回開催の「健康チェック」を地域のもっと大勢の方に受けていただけるよう改善していきたいと考えています。 ・今年2回開催した「プレイパーク」を、同じく年2回開催すると共に、あと1～2回アプローチを変えて子供たちの居場所づくりを考えてみよう計画しています。 ・急な災害時に必要と思われる「緊急用ホイッスル」を平井専用IDカードと共に製作したものを、地域のお年寄りに配布します。 ・環境保全や岡山マラソン等での美化の一環として計画した「旭川クリーン作戦」を続けるよう計画しています。
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>認知症予防事業として始めた「オレンジカフェひらい」もすでに2年半となり参加者の方々も大きな声で歌を歌ったり、軽い体操をしたり、時には落語を聞いて大笑いをしたり楽しい時間が過ごせているように感じます。これからも内容を充実してもっと大勢の方に参加していただけるよう運営していきたいと考えています。</p> <p>子供たちの居場所づくりの一環として始めた「プレイパーク」も年2回実施しており、成徳学校の裏山の大自然の中で親子共々楽しんでいただきました。</p> <p>地域の方々に健康で楽しく暮らせる平井学区を目指して始めた「健康チェック」も年2回開催し、参加していただいた方々から自分の健康についてよくわかってよかったと喜ばれています。</p> <p>大雨のため残念ながら中止となった「旭川クリーン作戦」を平成31年度は実施したいと計画しています。</p>
<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容 現在取り組んでいる事業は、素晴らしいが、マンネリ化防止に努められるよう期待します。 ・毎月のように各専門部会の役員会を開催し、マンネリ化防止を検討しています。 参加者の固定化を防ぎ、新規のかたをどのように増やしていくか検討してもらいたい ・役員の新旧交代や、学校関係者3名の新しいメンバーの加入等で対応しています。 右記のI～Vの該当部分に○を付けてください。なお、IVを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。 (理由：)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>I できた <input checked="" type="radio"/> II おおむねできた III 一部できなかった IV まったくできなかった V 改善意見がなかった</p>

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
山陽学園大学・山陽学園短期大学	定例会参加・アドバイザー
岡山市中区地域包括支援センター	同上
岡山市社会福祉協議会 中区事務所	同上
岡山市中区保健センター	同上
岡山市ふれあい介護予防センター	同上
岡山市 市民協働局 市民協働企画総務課 地域担当職員	会議開催企画・運営・実行支援
平井学区 安全・安心ネットワーク	定例会および専門部会参加等
平井地区民生委員・児童委員協議会	同上
平井地区社会福祉協議会	同上
平井学区愛育委員会	同上
平井学区防犯協議会	同上
平井学区交通安全対策協議会	同上
交通安全協会平井支部	同上
平井学区交通安全母の会	同上
平井学区コミュニティ協議会	同上
平井消防分団	同上
平井学区シルバークラブ連合会	同上
平井すずらん交流会	同上
平井学区電子町内会ホームページ委員会	同上 地域づくり協議会の活動取材等

⑧事業実施経過

4月 7日	岡山市区づくり推進事業 補助金等交付決定通知
4月21日	「オレンジカフェひらい」開催
4月22日	成徳学園裏山にて 「プレイパーク」開催
5月19日	「オレンジカフェひらい」開催
6月 5日	第13回定例会開催
6月16日	「オレンジカフェひらい」開催
6月24日	岡山市 ふれあいセンターにて「認知症フォーラム」開催
7月14日	「オレンジカフェひらい」開催
8月18日	「オレンジカフェひらい」開催
8月30日 31日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」開催
9月 4日	第14回定例会開催
9月 9日	「旭川クリーン作戦」開催予定も大雨のため中止
9月15日	「オレンジカフェひらい」開催
10月13日	「オレンジカフェひらい」開催
10月26日	山陽学園大学・旭東病院共催 「健康チェック」結果報告
11月 3日	成徳学校裏山にて 「プレイパーク」開催
11月10日	「オレンジカフェひらい」開催
11月24日	旭東病院による 「認知症サポーター養成講座」開催
12月 4日	第15回定例会開催
12月15日	「オレンジカフェひらい」開催
1月19日	「オレンジカフェひらい」開催
2月16日	「オレンジカフェひらい」開催
3月 5日	第16回定例会開催
3月16日	「オレンジカフェひらい」開催
3月31日	会計報告・反省会

⑨事業実施メンバー

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	議 長				連合町内会会長
2	副議長				安全・安心ネットワーク会長
3	事務局長				連合町内会副会長 防犯協議会会長
4	会 計				連合町内会副会長 漆町内会会長
5	会計監査				四軒屋町内会会長
6	会計監査				シルバークラブ連合会会長
7	常任委員				連合町内会副会長
8	〃				連合町内会副会長
9	〃				連合町内会副会長
10	〃				川東町内会会長
11	〃				北川町内会会長
12	〃				元北川町内会会長
13	〃				民生委員・児童委員協議会
14	〃				社会福祉協議会会長
15	〃				愛育委員会 顧問
16	〃				愛育委員会 会長
17	〃				交通安全対策協議会会長
18	〃				交通安全協会 平井支部部長
19	〃				交通安全母の会会長
20	〃				すみれ町内会会長 コミュニティ協議会会長
21	〃				山陽学園大学教授
22	〃				新町町内会会長
23	〃				平井消防分団分団長
24	〃				平井上町町内会会長
25	〃				電子町内会ホームページ 委員会
26	〃				すずらん交流会代表
27	〃				すずらん交流会
28	〃				すずらん交流会

⑩ 収支決算書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	225,000	107,800	100円未満切捨て
負担金	225,000	107,969	
参加費			
寄付、他収入			
計	450,000	215,769	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内容(必ず記載してください)
①消耗品費	30,000	89,019	別添添付、収支決算書 内訳書をご参照
②食糧費	50,000	29,674	同上
③印刷製本費	60,000	46,478	同上
④燃料費	10,000	0	同上
⑤光熱水費	0	0	同上
⑥通信運搬費	30,000	10,098	同上
⑦広告料	0	0	同上
⑧手数料	0	0	同上
⑨使用料・賃借料	40,000	0	同上
⑩原材料費	0	0	同上
⑪委託料	100,000	0	同上
⑫工事請負費	0	0	同上
⑬報償費	120,000	20,000	同上
⑭保険料	0	4,500	同上
⑮旅費	10,000	0	同上
⑯その他	0	16,000	同上
計	450,000	215,769	



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成31年4月10日

岡山市長 大森 雅夫 様

ソウメイガックレンゴウジシュボウサイカイ

フリガナ 団体名 操明学区連合自主防災会

所在地

連絡先

フリガナ 代表者役職・氏名 会長 オダヒデヲ 小田光雄

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり ⊕ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>操明学区防災フロント（最前線）事業</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>岡山市中区 操明小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災上の操明防災研修会の講師陣の充実。</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>1) 協働団体＝持続可能な協働連帯組織のマニュアル作成へ。 2) 避難活動要配慮者＝避難を円滑に進めるための研修・訓練。 3) 避難場所＝円滑運営の見直し・町内会以外の受入体制。 4) 企業提携＝提携ルール・連絡網の作成・周知</p>

③ 目的・目標の達成状況

- 1) 持続可能な最前線防災組織づくり
27町内会136人最小組織、避難誘導班長のもとに4～5人の情報連絡網のほぼ完成。
 - 2) 要配慮者支援計画
市危機管理室よりの名簿と、学区で承握した人達の個別計画表の書換え確認
救出救護班員、受入避難場所の決定周知もほぼ完成。
 - 3) 最前線の人材育成
地域マニュアルの完成で統一された防災役員研修会、訓練が出来る様になった。
 - 4) 緊急時連絡網の構築
緊急時連絡の連絡網のほぼ完成。本年初めて緊急時5分以内の連絡網として訓練した。
携帯と無線での結果は良かった。本災害の時の行政との連絡の課題があったが
本災害の時の行政等との学区の状況連絡網出来る。
 - 5) 各種団体・企業及び学区外との協働
- ② 1) 各協働団体との役割分担が明確化された。
2) 真備町の災害を目の当たりにして情報連絡に特化して伝達訓練を行った
3) 協働団体と8/23日、実災害で経験する事が出来た。行政とのつながりが課題。
4) 避難協定を締結した、企業団体と、連絡網で11月3日訓練を行った。

情報公開

- 1) 操明ホームページで訓練・研修会等を紹介している。
- 2) 操明ネットワーク新聞に掲載、年四回全戸配布している。
- 3) 連合町内会役員総会で、年二回報告をしている。
- 4) 紹介に対応して情報公開を行う。
本年は7回にわたり、学区外の地域の皆様と講演、研修会を開催。
- 5) DVDにして訓練模様を全年度残している。

企画等

- 1) 操明地域マニュアル(案)で新役員研修会から避難訓練まで連動して行う。
- 2) 出来る単位自主防災会から独自の企画を生かして訓練を行なう。
地域最前線課題の防災協議会の充実
例、一人一人違う要配慮者支援のあり方
- 3) 学校・地域の団体・企業と緊急時連絡網(5分以内)確認訓練。
- 4) 山陽学園短大と。地域マネジメント学部授業の一環として懇談会2回。
- 5) 観音寺社会福祉協議会と防災懇談会を持つ。

④ 企画等の工夫と情報公開

<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>・防災計画の一部を訓練、その他年度目的を踏まえた次年度計画の概要として記入した。また、昨年度、第一項「活動」の各書の内容は、その種別「課題の解決」に分類し、「計画」に記入した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 新役員の方と持続可能な協働組織作り。 2) 要配慮者避難訓練、見守り体制。 3) 町内会以外の受入体制と非常時連絡網の確立。 4) 企業との提携・連絡網の作成・周知。 5) 単位自主防災会の新役員研修会開催。 6) 連合防災士の操明防災研修会の講師陣の充実。
<p>⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善</p>	<p>・区民の避難行動を支援する避難所確保地域づくりを進めるとして、災害時、持続可能な避難所確保の観点から、避難所確保地域・避難所確保地域・避難所確保地域を重点的に取り組むこととした。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 区づくり事業のおかげで初期計画は、ほぼ出来上がってきたと思います。 <ul style="list-style-type: none"> ・4年間の成果を踏まえ、総合的に研修会・訓練を実践してみたいと思います。 ・研修会等の資料代等で経費がかさむようになりました。工夫が必要です。 2) 学区外交流を進めることで、新たな課題も出てきました。 <ul style="list-style-type: none"> ・操山より南部の膨大な人数の、高台避難場所、施設への経路、それぞれの場所での責任者、連絡網手段、確認等課題が山積です。 ・これらの連絡網の整備を進めて行きます。 3) 無線機の扱いについて <ul style="list-style-type: none"> ・リース期間が終わりますが、災害時連絡機器とし、中古品として買い取りたいと役員会で決まりました。ご無理をお願いする事になるかも知れません。 4) 新役員研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・真備町の災害から、研修会開催を7月実施から5月実施に変更する。新役員研修会が終わっていなかった為、前年度役員からの連絡網が一部機能しなかった。

<p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <p>1) 実状を反映した素晴らしい防災マニュアルができています。読み込みの講習会など、よりきめ細かい取り組みを行うことで、益々の進化を期待します。</p> <p>有難うございます。今年のアンケートで、まだまだ住民の皆様に家庭内で、家庭内での防災意識が高まっていない事がわかりました。</p> <p>2) 防災活動の見本であり、フロントランナーとして、他学区の参考となるよう、計画の立て方や実施方法など、積極的な情報公開をお願い致します。</p> <p>協働団体と地域外団体との防災交流が始まりました。</p> <p>3) 地域防災の課題として、町内未加入者や小中学校等子供への防災教育がありますが、それらに対する積極的な取り組みも期待します。</p> <p>新しく中消防署と協働で企画しております。</p> <p>6) 要配慮者に対する個別避難計画や住民への、5分以内連絡網の訓練実施など、地域住民の一体化を高めていると思います。</p> <p>11/3日訓練データですが、携帯が使えない時間帯がありました。連絡時間も約30分かかりました。連絡世帯も約68%でした。</p> <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。</p> <p>(理由：)</p>	<p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた</p> <p><input checked="" type="radio"/>Ⅱ おおむねできた</p> <p>Ⅲ 一部できなかった</p> <p>Ⅳ まったくできなかった</p> <p>Ⅴ 改善意見がなかった</p>
--	---

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
岡山市中消防署旭東出張所	防災訓練研修会講師
操明小学校	防災訓練・アンケート調査
国土交通省百間川出張所	訓練・研修会等パネル展示。百間川 水門見学講習会
岡山市危機管理室	防災訓練・パネル展
(株) 林原	防災訓練・緊急時連絡網
ふれあいセンター	防災訓練・緊急時連絡網
山陽病院	防災訓練・緊急時連絡網
三番消防分団	防災訓練
沖元消防分団	防災訓練
保健センター	防災訓練・パネル展示
山陽短期大学	地域づくり授業
なかまち一ず(岡山旭東病院)	医療・介護・防災
操明学区民生児童委員	防災訓練
操明学区社会福祉協議会	防災訓練 観音寺社協と防災懇談会
操明学区交通防犯協議会	防災訓練
操明学区環境衛生協議会	防災訓練
操明学区連合町内会	防災訓練・緊急時連絡網
かけはしの会(福祉のまちづくりネットワーク)	出前講座(健康づくり体験)
操明学区連合かがやきクラブ	医療・介護・防災

⑧事業実施経過

本事業は、平成30年度から、事業内容の充実と、地域との連携強化を図るため、従来の事業内容に加え、防災訓練、防災無線機使用訓練、新役員研修会、新役員アンケート調査、11/3防災訓練企画会議、災害対策本部及び避難所開設、アンケート分析、研修会反省会、防災訓練企画会議、連合役員会議、学区敬老会、学区防災訓練、防災アンケート調査、反省会、企画会議、操明学区福祉活動計画推進委員会、学区クリーン作戦、30年度事業反省会、次年度事業計画案会議、防災倉庫備品棚卸、要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成、学区連合自主防災会議、次年度事業計画、連合町内会三役会議、各種行事との打合せ、防災会総会資料の作成、福祉のまちづくり、かけはしの会と交流会、学区連合自主防災会、区づくり事業監査、操明学区福祉活動計画推進委員会、ふれあいセンターふれあい祭り、屋台出店、なかまち一ずと交流パネル展示

月日	活動内容
4月	1日学区桜祭り。 連合自主防災会30年度役員総会(区づくり事業含む) 毎月第四日曜日、8時～防災倉庫草刈り、会議。 学区連合町内会役員総会
5月	区づくり事業企画会議。新一年生保護者に防災アンケート調査。 学区連合自主防災会、役員変更及び研修会議。 新役員変更届作成提出。 小学校運動会。操明学区福祉活動計画推進委員会
6月	学区連合自主防災会会議。 新役員講習会の講師勉強会2回
7月	災害対策本部及び避難所開設 防災無線機使用訓練・新役員研修会。新役員アンケート調査 11/3防災訓練企画会議。 災害対策本部及び避難所開設
8月	アンケート分析 研修会反省会 災害対策本部及び避難所開設
9月	防災訓練企画会議。 連合役員会議。 学区体育祭
10月	学区連合自主防災会会議。 学区敬老会。
11月	学区防災訓練。防災アンケート調査。反省会。 企画会議。 操明学区福祉活動計画推進委員会
12月	学区クリーン作戦。 30年度事業反省会。 次年度事業計画案会議
1月	防災倉庫備品棚卸。 要配慮者名簿の更新及び新規登録者個人避難計画作成。
2月	学区連合自主防災会議、次年度事業計画。 連合町内会三役会議、各種行事との打合せ。 防災会総会資料の作成。 福祉のまちづくり、かけはしの会と交流会
3月	学区連合自主防災会、区づくり事業監査。 操明学区福祉活動計画推進委員会 ふれあいセンターふれあい祭り、屋台出店 なかまち一ずと交流パネル展示

事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考 (加入団体等)
1	企画委員 " "				連合町会長 連合町会副会長 "
2	企画委員長 同副委員長 " 監査 企画委員 " 会計				自主防災会長 防災会副会長 防災会顧問 防災会副会長 " " "
3	企画委員 "				福祉協議会長 連長監事
4	企画委員 "				民児協議会会長 交通防犯協会会長 環境衛生協会会長
5	推進委員長 同副委員長 推進委員 " "				防災会副会長 " " "
6	推進委員 " " " " " " " " " " "				江並上防災会長 二番用水 " 海岸地区 " 藤崎上地区 " 江並下地区 " 藤崎西地区 " 藤崎第二 " 藤崎第四 " 操明小用水 " 仕切外西 " 沖元東 " 藤崎第七 "
7	防災協助力員 "				防災会役員 " 役員
8	推進委員 "				単位町内会班長 "
9	推進委員 "				かがやき連会長 " 役員
10	推進委員 "				福祉協議会副会長

1 1	推進委員 ”				電子町内会会長 ” 役員
1 2	推進委員 ”				コミュニティ協 ” 役員
1 3	推進委員 ”				栄養改善協議会 長役員
1 4	推進委員				小学校校長 幼稚園園長
1 5	推進委員 ”				親子クラブ会長 ” 役員
1 6	推進委員				つくしクラブ会 長 ” 役員
1 7	推進委員	防災消火班員 42名	14単位防災会役員		単位防災会役員
1 8	推進委員	防災救出救護班員 65名	”		”
1 9	推進委員	防災給水給食班員 56名	”		”
2 0					

⑩ 収支決算書

◆収入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	120,000	120,000	
負担金	120,000	168,210	
参加費			
寄付、他収入			
計	240,000	288,210	

◆支出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容
1. 食糧費	30,000	35,914	会議用お茶代
2. 消耗品費	0	15,023	燃料・USBメモリー他
3. 印刷製本費	50,000	71,325	資料コピー代
4. 通信運搬費	8,000	16,784	切手代・電波使用料
5. 使用料・賃借料 (会場費)	152,000	149,164	会場費・無線維持費
計	240,000	288,210	



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31年 3月 31日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ
団体名 住みたいまち幡多学区を創り隊

所在地

連絡先

フリガナ
代表者役職・氏名 代表 長汐 良熊

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) ア 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ ○ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他</p>
<p>事業名</p>	<p>住みたいまち幡多学区を創り隊</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>幡多小学校区</p>
<p>① 事業実施内容</p>	<p>1) 組織・体制の強化・拡大 ○ 若い世代が活躍できる組織・体制を強化・拡大していきます 2) 学区内の活性化を図る活動 ① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動 ② 地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営) ・「泥んこ遊びの会」を幡多学区防災訓練と同日程に実施 ③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現) 1. 学区の行事に積極的に参加して幡多学区の活性化に努める。 1) イメージキャラクター学区内の定着化 2) 主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場に利用する。(イメージキャラクターの活用) 3) 外部に対してPR活動 2. 地域に根付く活動を行う 1) 幡多学区 防犯の日の設定 2) 地域あいさつ運動推進</p>
<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>・「安心・安全 住みたいまち幡多学区」実現のためには、10年後、20年後を担う子供たちが育つ土壌を、今まで作ってくださった先輩方から引き継いでいく担い手が不足している。 ・私たち現役世代の30～50代は日々の生活や仕事に追われ、自分たちの時間を割いてまでなかなか地域づくりに参画することが難しいと考える人が多い。 ・興味のある行事に参加する人は多いが、参画してくれる人が少ない。 ・各町内会や、各種団体でも人材不足が深刻な課題である。 ・新しい事案があがってもなかなか、実現に向けて進めていく人材がいない。 ・学区全体を活性化するために起爆剤的な要素がなかった。</p>

◎1)、2)の内容を実施することを目標に進めてきました。

1)組織・体制の強化・拡大

・若い世代が活躍できる組織・体制を強化・拡大

2)学区内の活性化を図る活動

① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動

② 地域交流活動(誰もが気軽に参加できる事業を企画・運営)

・「泥んこ遊びの会」を幡多学区防災訓練と同日程に実施

③ 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)

③-1. 学区の行事に積極的に参加して幡多学区の活性化に努める。

1.イメージキャラクター学区内の定着化

2.主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場に利用する。(イメージキャラクターの活用)

3.外部に対してPR活動

③-2. 地域に根付く活動を行う

1.幡多学区 防犯の日の設定

2.地域あいさつ運動推進

1)については、昨年同様、学区の数多くの行事に参加・協力してまいりました。

特に2回目となる「泥んこ遊び」は昨年同様防災訓練と一緒に行いました。運営・実施も、幡多学区の皆様(各町内会長、自主防災会、婦人会、愛育委員会、消防団)の全面的な協力があつて、無事成功することができました。特に今年度は西日本豪雨災害があり、参加者も多く、11月23日の第2回目の防災訓練(災害マップ作り)にも参加し、各町内会の役員とも交流を深め、メンバー増には、つながりませんでした。多くの方とかわり、点が線、面となってくることが実感できました。

2)については、連合町内会、交通安全対策協議会より支援予算が総会にて否決され、予算執行されなかったため、活動そのものはできるが、事業ができる懸念がありました。

ただ、PR用の物品については作成ができませんでした。ウイズはあと及び有志者の支援により、泥んこ遊びと、講演会については実施することができました。

①は、昨年好評だったため、「子どもに寄り添う支援とは？」と題して佐藤堯岡山大学教授と、南恭子放課後ラボ講師による2回目の講演会を開催いたしました。また幡多小学校の支援クラスの状況や通級について、渡辺教頭先生に報告もいただき、今回は議員の方や、各町内会長様、幡多小学校の管理職の方、見守り隊、民生委員など80名を超える参加をいただきました。

また、池田滋先生を迎え、特別講座として保護者の悩み相談会を開催いたしました。

今年も、9月に高屋パークフェスティバルで子供たちとともに出店、併せて、高屋クエストの運営、小中学生のボランティア支援も行いました。

②の「泥んこ遊びの会」については上記で述べた通りでございます。

また、今年も「そうめん流し」を、様々な会で実施いたしました。子供たちだけでなく、保護者の方も楽しく、また自然と協力を頂け、関わりの入り口としてはよい活動だと感じました。

③の幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)では、「はたワン」の定着と、活用ということで、学区の主だった行事はもとより、小学校の行事、親子クラブなど、様々なところで活躍しました。

また、あいさつ運動や、交通安全の活動にも参加し、小学校の配布物には「はたワン」が必ず印刷されており、運動会では幡多小学校オリジナル体操「はたワンストレッチ」を行うなど、「はたワン」が浸透してきました。

また、毎年行うバザーでは、PTAと出店してくださる業者の方からの提案で、パン、キーホルダーなど「はたワン」グッズをその間のみの限定で作成して頂き、子供たちだけでなく、保護者や、地域の方からも反響がよく、「はたワン」普及活動に一躍かっただきました。

③-2の「あいさつ運動」は小学校にて取り組んでおり、「はたワン」とともに笑顔で明るい地域づくりの基盤づくりとして、毎月1回行うことができました。

ただし「幡多学区防犯の日」の設定については今の段階では難しく、防犯強化のため、今後取組等を継続して小学校、各種団体と検討していきます。

④ 企画等の工夫と情報公開	<p>イメージキャラクター「はたわん」のPR活動は、小学校を中心にする事で、一気に学区全体に浸透していくことができました。</p> <p>情報公開は、小学校が発行する「学校通信」や、HPなどまたは回覧板、各町内会の掲示板などで公開しております。学区の電子町内会の掲示板にもものせていただいています。</p>
⑤ 次年度計画	<p>1) 組織作りと、横のつながりの強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一緒に活動して頂ける仲間づくりを継続していくことと、各種団体との協力強化する。 <p>2) 学区内の活性化を図る活動</p> <p>① 発達障害の理解者・支援者を増やしていく推進活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事者の保護者の方が相談できる会を充実させ、安心して子育てができるための支援(専門家を呼び相談会や、参考図書を充実させる)や、当事者たちが家から出て集えるイベントの支援を行います。 ・地元企業に協力して頂き、まずは保護者対象の見学会を開催し、子供たちの自立支援を進める。 ・講演会、勉強会、交流会などを実施し、当事者とどう関わればいいのかわからない方に対して情報提供を行い、理解者、支援者を増やします ・引きこもりがちな子供たちに人とかかわる機会を作り(お祭りのブース出店、研修会に参画する等)、地域の方と一緒に活動をし、お互いを知り合い、違和感がない環境をつくります <p>② 幡多学区愛着度岡山NO. 1を目指す(住みたいまち幡多学区の実現)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) イメージキャラクター学区内の定着化 2) 主な学区行事だけでなく、町内会行事、地域のあいさつ運動など、もっと多くの場に利用する。(イメージキャラクターの活用) 3) 外部に対してPR活動(ゆるキャラ選手権などへ出場) 4) 地元企業と連携し「はたワングッツ」作成・販売 5) 地域あいさつ運動推進 <p>小学校での定期的なあいさつ運動と連携し、地域で取り組む支援を行う</p>
⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善	<p>泥んこ遊びや、イメージキャラクター「はたワン」の活用など、小学校を先頭に、多くの団体、ひとが関わり、協力して頂かなければ実現できなかった事業ばかりでした。改めて熱意のある、温かい学区だと思いました。活動を通じて会のメンバーに各町内から少なくとも1名加入していただき、一緒に活動する仲間が増えれば、もっと多くの問題を解決していけると考えております。</p> <p>横のつながり、縦のつながりをこれからも持ち、助け合って学区全体を巻き込んだ活動が今後もできるよう頑張りたいと思います。</p> <p>○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織を学区内全体に広げて活動を行うことが望ましい。 ・課題に優先順位を設け数年で実施してみてもどうか ・担い手不足以前に、地域住民の交流が少ないのでは。 ・イメージキャラクター「はたワン」はよい取り組みだ。 ・「はたワン」に頼りすぎている。 <p>右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記()内へ記入して下さい。</p> <p>(理由:)</p> <p>助言等の内容について、改善ができましたか。</p> <p>Ⅰ できた</p> <p>Ⅱ おおむねできた</p> <p>ⓓ 一部できなかった</p> <p>Ⅳ まったくできなかった</p> <p>Ⅴ 改善意見がなかった</p>

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
幡多学区連合町内会(幡多学区防災会含む)	はたワンによるPR活動、泥んこ遊び
幡多学区婦人会	はたワンによるPR活動、泥んこ遊び、敬老会
幡多学区社会福祉協議会	はたワンによるPR活動、敬老会
幡多学区体育協会	はたワンによるPR活動
幡多学区愛育委員会	はたワンによるPR活動、泥んこ遊び
幡多小学校	はたワンによるPR活動、泥んこ遊び
幡多幼稚園	はたワンによるPR活動
東公民館	はたワンによるPR活動、講演会
高屋町内会	高屋パークフェスティバル出店
ウィズはあと	講演会、特別講座
おひさま会	講演会
幡多学区ちびっこひろば	はたワンによるPR活動

⑧事業実施経過

月	活動内容
4月	11日 幡多小学校入学式(はたワン登場、式後のクラス写真撮影に参加) 15日 スタッフ会議実施(主要メンバーで方向性の確認と事業計画確認) 19日 ウィズはあとスタッフ会議 22日 防災会・泥んこ遊び打合せ(学区防災会委員及びPTA)
5月	22日 幡多学区交代協総会、防災会・泥んこ遊び打合せ 23日 幡多学区連合町内会総会 はたワン貸出について打ち合わせ 24日 幡多学区社会福祉協議会総会 27日 幡多小運動会(幡多小オリジナル はたワンストレッチ) 28日 ウィズはあとスタッフ会議
6月	10日 防災会・泥んこ遊び打合せ 13日 防災会・泥んこ遊び打合せ 15日 ウィズはあとスタッフ会議
7月	5日 子育てクラブそうめん流し 10日 高屋パークフェスティバル実行委員会 13日 泥んこ遊び安全対策及び会場準備 15日 防災訓練及び泥んこ遊び 21日 ウィズはあとスタッフ会議 22日 ウィズはあと・おひさま会合同そうめん流し協力
8月	7日 高屋パークフェスティバル実行委員会 28日 高屋パークフェスティバル実行委員会
9月	8日 ウィズはあとスタッフ打ち合わせ 15日 高屋パークフェスティバル参加(高屋クエスト、発達障害の子どもたちブース出展) 21日 幡多小学校にて交通安全啓発・あいさつ運動
10月	7日 幡多学区敬老会にてお披露目・PR 8日 幡多学区運動会開会式にてお披露目・PR 19日 ウィズはあとスタッフ会議(2月10日の講演会打ち合わせ) 26日 スタッフ会議(中間報告反省会)
11月	16日 ウィズはあとスタッフ会議(2月10日の講演会打ち合わせ) 23日 防災訓練(防災マップ作り)参加

12月	21日 ウィズはあとスタッフ会議(2月講演会に向けて)
1月	12日 幡多学区新年互例会参加 18日 ウィズはあとスタッフ会議(2月開催の講演会に向けた準備) 17日 スタッフ会議(次年度打ち合わせ)
2月	6日 発達障害を理解しよう講演会最終打ち合わせ 9日 幡多小学校開港記念日 あいさつ運動参加 22日 発達障害を理解しよう講演会開催 23日 ウィズはあとスタッフ会議(講演会反省会)
3月	17日 幡多小学校卒業式に参加 15日 ウィズはあと特別講座 24日 スタッフ会議(全体の反省、次年度の取り組み)

⑨事業実施メンバー

	申込み団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳代)	備考(加入団体等)
1	代表				幡多連合町内会長 高屋町内会会長
2	アドバイザー				学区婦人会会長 赤田町内会会長
3	事務局				
4	事務局				ウイズはあと 代表
5					連合町内会副会長 防災担当
6					竜操中PTA会長
7					幡多小PTA会長
8					支援ボランティア
9					支援ボランティア
10					支援ボランティア
11					幡多学区子育て広 場
12					ウイズはあと 竜操中PTA副会長
13					おひさま会
14					おひさま会
15					幡多学区子育て広 場
16					
17					
18					
19					
20					
21					
22					
23					

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
岡山市補助金	282,000	86,000	(100円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	0		
参加者負担金	0		
協賛金	282,000	30,000	ウイズはあと
寄付、他収入	0	56,019	有志
計	564,000	172,019	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算	決 算	備 考
①消耗品費	10,000	7,114	①会議・講演会レジメ用紙
	40,000	25,812	②泥んこ遊び場保護シート 泥除けマット、養生シート 立ち入り禁止杭用角材
	60,000	0	③スタッフ用Tシャツ 2,000円×30着
	60,000	0	④たすき 50本×1,200円
	60,000	0	⑤PR活動用缶バッジ 56mm用1,000個×60円
②食糧費	30,000	3,359	①会議、準備時のスタッフ茶代
③印刷製本費	30,000	0	①講演会用チラシ6,000枚
	8,000	36,720	②ボランティア活動証明書100枚
	60,000	0	③PR活動用品 (シール作成5,000枚)
⑥通信運搬費	10,000	574	封筒、切手代等
⑨使用料	5,000	0	泥んこ遊び会場の水道使用量
⑩原材料費	25,000	0	①泥んこ遊び場看板作成費 (紙、ナイロン、コンパネ、杭等)
⑪委託料	100,000	73,440	①泥んこ遊び場内整備及び安全対策(柄、破片撤去、土手(観客部)づくり等) (重機、人件費、廃材処分費等)
⑬報償費	50,000	25,000	①講師謝礼(2名分)
	16,000	0	②託児謝礼 (2,000円×4名×2回 計8名分)
計	564,000	172,019	

岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31年 4月18日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリガナ トミヤマガクレンゴウチョウナイカイ
団体名 富山学区連合町内会

所在地

連絡先

フリガナ コバンイチロウ
代表者役職・氏名 会長 小橋一郎

実施分野	(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決 イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名	地域の防災力の向上
事業実施区域 (小学校区)	富山小学校区
① 事業実施内容	<p>1、単位町内会・自主防災会単位での防災講習会を実施し、地域の状況にあった防災力の向上、防災意識の向上を図った。今期13町内会で実施し187名が受講した。残念ながら2町内会が未実施となった。</p> <p>講習内容は、「地域コミュニティの防災意識を高めよう、今すぐ見直そう町内会とわが家の防災対策」と題し、中山防災士の講習を中心とし、各班に分かれてのグループワークを行なった。</p> <p>連合町内会からは防災グッズ緊急避難用具の実物提示と備付けの重要性を訴えた。さらにアンケートを実施した。</p> <p>2、学区防災訓練を2月17日(日)富山小学校校庭にて実施。防火防災会・学区連合町内会・社会福祉協議会・婦人会・公民館・愛育委員会・消防団等々諸団体の参画参加により町民に幅広く防災意識、防災力の向上の重要性を訴えることに大きく寄与した。</p> <p>3、「とみやまジュニア防災講座」を12月8日(土)9:00~13:00に実施した。</p> <p>富山中学校生徒46名、若松園8名、海吉中村・本村町内会52名、大学生ボランティア(就実)15名、スタッフ44名、計165名の参加者で行った。スタッフは、公民館、連合町内会、婦人会、中村・本村町内会、富山中学校、就実学園等々多くの団体・個人の協力を得た。初めての試みではあったが、実施できたことは、大変良かったと評価できる。</p> <p>訓練内容は、富山中学校から就実学園森の学校までの約1.8kmを集団で歩行にて避難し、避難場所では、カレー作り、新聞紙による食器づくり、竹炭づくり、テント張り等々の訓練を体験した。</p> <p>4、電子町内会に「地区の防災」コーナーを新設し、学区民へのPR強化を図った。</p>

<p>② 解決を目指した課題</p>	<p>1、富山学区の地理的特徴としては、操山周辺と埋め立て地である平坦地とに大きく分かれており、各町内での防災への対応は、その地理的条件に合った対策を立てることが必要である。そのため各単位町内会毎での防災講習会を実施し、地域に合った防災対策をたて、防災力の向上とともに、防災意識の向上を図ることを目指した。</p> <p>2、単位町内会での講習会時に各家庭での防災グッズ・非常用持出品の備えの重要性を訴えるとともに、家具転倒・火災等による被害発生を防止することを目指した。</p> <p>3、高齢者、障がい者への安全安心体制を作る。</p>
<p>③ 目的・目標の達成状況</p>	<p>1、単位町内会での防災講習会の実施について</p> <p>今期、13単位町内会で実施した</p> <p>前年度に続き2回目の防災講習を実施した町内会を含め、ほぼ全町内会で実施することが出来たが、2町内会で未実施となり100%達成とはならなかった。(達成率90%) 31年度での実施を強く推奨したい。防災講習会を実施した町内では、今までよりも真剣に防災について考え、対応策を検討する等防災意識、防災力の向上が図られた。</p> <p>2、今まで富山学区では、所により水害を受けたり一部土砂崩れの被害はあったが、さして大きな被害が無かったことから、防災に対する意識は必ずしも高くはなかった。しかしながら7月の大雨により水害、土砂崩れ等の危険性を身近に感じ、防災に対する意識の向上、対応力の強化の必要性を感じた人も多くなったと思われる。</p> <p>3、ジュニア防災講座の開催により避難体験・避難時の対応の仕方等が体験でき、参加者全員貴重な経験ができた。実際に災害に遭遇した時に役立つものと思う。</p> <p>また、公民館、就実学園、婦人会、連合町内会、単位町内会、中学校等の協力でスムーズに訓練が実施できたことは、評価できることと思う。この体験を通して町民がお互いに協力して事に対処することの大切さを実感したことと思う。</p> <p>特に中学生と町内会の町民とが一緒に防災訓練に参加したことは、それぞれの世代の対応力の差異を理解しあい、お互いに助け合うことが大切であることを学ぶ上で貴重な体験であった。</p> <p>4、学区全体での防災訓練の実施により、学区としての防災意識、防災力の向上が図られているが、毎年同様の内容での訓練を繰り返すことにより、少しずつではあっても長い目で見ても着実に効果が得られるように取り組みたい。</p> <p>5、高齢者、障がい者への取り組みは不十分であり、次年度においてしっかりと取り組むべき課題である。</p>

<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1、全単位町内会での防災講習の実施を目指し、学区連合町内会長会議での実施状況の確認と未実施の町内会に対して実施の要請を行なった他、小規模町内会には、他町内会との合同開催を検討するように勧奨した。 2、防災講習を行うに際し、講師による講習を行うだけでなく、分科会形式で、各自の置かれた地域の状況確認、それに対する対応策、近隣住民との共助等について話し合いを行い、防災に対する共通認識を持てるよう努めた。 3、単位町内会での防災講習を行うに際し、連合町内会から出向き、防災グッズの展示と非常持出品の備付け、家具の転倒防止、火災報知器の設置の重要性を訴えた。 4、机上講習のみではなく実技訓練を通していざという時の対応力を強化することを目指し、その一環としてジュニア防災講座で避難訓練の実施、避難所での食料づくり等の実体験を行った。次年度以降単位町内会での講習会においても実技型の講習を行なう等の対策を取りたい。 5、災害時にブロック塀の倒壊により犠牲者がでた事例を受け、各町内会でのブロック塀の危険個所の調査点検を行った。 6、防災に関しての住民への情報公開については、町内会長を通しての情報伝達他、公民館だより、電子町内会での広報等を行っていたが、今年度これらに加え、電子町内会に「防災コーナー」を新設し、広く防災への取り組みをPRすることとした。 7、アンケートの実施により実態の把握と今後の取り組みへの参考にした。 単位町内会での講習時に加え、全町民を対象に次年度に跨るが4月に実施する。
<p>⑤ 次年度計画</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き「地域の防災力の向上」を課題として取り組む。 ・今年度は、単位町内会での防災講習会の開催を中心に取り組んだが、次年度はこれに加え、より密度の濃い取り組みをするべく、「富山犠牲者ゼロプロジェクト」と題した取り組みを行うこととした。 ・この課題の取り組みにあたり6組のプロジェクト部会を立ち上げ、各部会での検討結果を基に学区全体での取り組みを進めることとした。 部会は、「要配慮者部会(6名)」「(要配慮者支援体制の検討)」「施設部会(4名)」「(避難施設、資機材備蓄の検討)」「体制部会(7名)」「(組織・体制のあり方検討)」「情報部会(7名)」「(情報収集・伝達の仕組み検討)」「研修部会(6名)」「(防災活動の担い手育成の仕組み、研修会の検討)」「啓蒙部会(5名)」「(学区民への啓蒙活動の検討)の6部会体制とした。

⑥ 事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

- ・「地域の防災力の向上」の中心課題として取り組んだ単位町内会での防災講習については、前年度と合わせ 21 町内会中 19 町内会が実施し、ほぼ所期の効果が得られたものと思う。未実施の 2 町内会については、次年度には必ず実施するように指導したい。
- ・学区全体での講習会に比し、単位町内会単位での防災講習に取り組むことは、地域の特性に合った防災対策を考えるとともに、より身近に防災というものを意識することとなり、確実に町民個々のそして町内全体の防災意識・防災力の向上に繋がったものと思う。次年度も引き続き内容をさらに実技型のものを加味したものとして実施していきたい。
- ・防災講習会ごとのアンケートの実施により町内の現状を把握しているが、次年度の 4 月に実施する学区全体でのアンケートと合わせ、現状の把握と要改善点の検討を行いたい。
- ・学区主体の防災訓練を実施したが、これにより学区全体の防災意識の向上・防災力の向上に寄与したものと思う。次年度以降も引き続き実施したい。
- ・「とみやまジュニア防災講座」は、富山中学校・若松園・2 町内会・就実学園・婦人会・連合町内会・公民館等々の連携により実施したことにより、相互の連帯、共助の重要性が認識されるとともに、防災への関心が高まった。
- ・高齢者・障がい者への取り組みは、一部の町内会を除き、全般的に不十分であった。次年度の取り組み課題としたい。
- ・キッズ防災教室、幼中小生に対する取り組みは、充分ではなかった。次年度の課題としたい。

○区づくり推進

事業審査会からの助言・意見の内容

- ・地域の防災力の向上に向けてキッズ防災教室・防災グッズの斡旋・防災標語の募集など啓発的な取り組みは高く評価できます。
- ・今までの取り組みをきちんと検証できたからこそ、次の企画につながっていると思います。
- ・防災活動は絶えず未完成であり、継続的な見直しが必要だと思えます。
- ・高齢者・障がい者に対する対応策を引き続き検討してもらいたいと思えます。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください。なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

(理由：)

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- ② おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
学区電子町内会	防災に関する町民へのPR、情報の提供
富山公民館	会議場所の提供 単位町内会の防災講習・学区防災訓練での協力 公民館だよりでの広報 富山ジュニア防災講座の主導 防災グッズの展示場所の提供
富山中学校	富山ジュニア防災講座への参加 学区防災訓練でボランティア活動
富山小学校	学区防災訓練での運動場等設供
就実学園	富山ジュニア防災講座における避難場所・設備・人員の提供・企画面への参加
婦人会、愛育委員会、その他諸団体	学区防災訓練、富山ジュニア防災講座等での協力
防火防災会	学区防災訓練の実施
消防団	学区防災訓練での町民への指導、起震車の設備等の提供

⑧事業実施経過

全町全地区を対象に町民を対象とした防災意識の向上の準備として自治体自治体間連携を図り、町民の防災意識の向上を図る。

年 月 日	内 容
H30年 6月9日	連合町内会役員会 下期区づくり事業の内容検討
6月12日	ジュニア防災講座第1回実行委員会
7月1日	第1回町内会長会議 区づくり事業の方向につき説明
8月9日	ジュニア防災講座第2回実行委員会
8月11日	学区役員会 区づくり事業について打ち合わせ
9月6日	学区役員会 区づくり事業について打ち合わせ
10月21日	円山宮西町内会防災講習会 15名参加
10月	電子町内会に「学区の防災」コーナーを開設 町民への広報
10月21日	学区役員会 講習会の取り組み状況を確認
11月25日	円山嶽・表・南町内会防災講習会 33名参加
11月27日	ジュニア防災講座第3回実行委員会
12月2日	第2回連合町内会町内会長会議 防災講習会の実施計画確認、 防火防災会 学区防災訓練の説明
12月8日	ジュニア防災講座実施 参加人数165名
12月15日	海吉中村町内会防災講習会 21名参加
12月16日	31年度区づくり事業について打ち合わせ 22名
12月22日	学区役員会
12月25日	31年度区づくり事業について打ち合わせ 船岳氏東京学区5名
H31年 1月10日	ジュニア防災講座反省会
1月13日	海吉出村町内会防災講習会 37名参加
2月3日	連合町内会町内会長会議 防災講習会の実施状況確認 学区防災訓練打ち合わせ
2月10日	操陽南山・操陽ヒルズ町内会防災講習会 43名参加
2月17日	学区防災訓練 富山小学校
2月17日	円山外新田町内会防災講習会 8名参加
3月10日	福吉川東町内会防災講習会 23名参加
3月23日	円山浜倉町内会防災講習会 役員のみ 4月総会時に再度実施
3～4月	全町内会対象にアンケート実施

事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳 代)	備考(加入団体等)
1	会長				富山学区防火防災 会会長
2	副会長 操陽 南山町内会長				
3	副会長 円山 嶽町内会長				富山学区防火防災 会副会長
4	副会長 山崎 本町町内会長				富山学区防火防災 会実行副委員長
5	顧問 福泊町 内会長				前富山学区連合町 内会長
6	総務				
7	総務 湊光ヶ 丘町内会長				
8	会計				
9	なし				富山学区防火防災 会会長
10	なし				富山学区防火防災 会実行副委員長
11	なし				富山学区防火防災 会実行副委員長
12	なし				富山学区防火防災 会実行副委員長
13	なし				富山学区防火防災 会実行副委員長
14	海吉福吉町内 会長				
15	福泊川東町内 会長				
16	海吉本村町内 会長				
17	海吉中村町内 会長				
18	海吉出村町内 会長				
19	円山境内町内 会長				
20	円山宮西町内 会長				

事業実施メンバー

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年齢 (歳 代)	備考(加入団体等)		
21	円山中央町内 会長						
22	円山団地町内 会長						
23	円山浜倉町内 会長						
24	円山外新田町 内会長						
25	円山南町内会 長						
26	円山表町内会 長						
27	湊池の内町内 会長						
28	湊操山町内会 長						
29	操陽ヒルズ町 内会長						
30	なし					電子町内会運営委 員長	
31	なし					富山公民館地域担 当職員	

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	40,700	17,500	
負担金	40,700	17,525	
参加費			
寄付、他収入			
計	81,400	35,025	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
①消耗品費	14,600	4,662	コピー用紙、封筒
②食糧費	54,800	15,533	お茶、コーヒー、砂糖
③印刷製本費	12,000	14,830	プリント代、コピー代、 印刷代
④燃料費			
⑤光熱水費			
⑥通信運搬費			
⑦広告料			
⑧手数料			
⑨使用料・賃借料			
⑩原材料費			
⑪委託料			
⑫工事請負費			
⑬報償費			
⑭保険料			
⑮旅費			
計	81,400	35,025	



岡山市区づくり推進事業報告書
(地域活動部門)

平成 31 年 4 月 18 日

岡山市長 大森 雅夫 様

フリグナ 団体名 タツノクチガッコウホウカイ 竜之口学区防災マップ作成実行委員会
所在地 [Redacted]
連絡先 [Redacted]
代表者役職・氏名 ノリガリ シツコウイインヂョウ モリ タケ トシ アキ 実行委員長 守谷 俊 昭

<p>実施分野</p>	<p>(該当の分野を○で囲んでください) <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決 <input type="radio"/> 地域課題掘り起し <input type="radio"/> 地域計画づくり <input checked="" type="radio"/> 地域課題解決型の地域組織づくり <input type="radio"/> その他</p>
<p>事業名</p>	<p>竜之口学区防災マップ作成</p>
<p>事業実施区域 (小学校区)</p>	<p>岡山市立竜之口小学校</p>
<p>① 業 実 施 内 容</p>	<p>1.情報収集と掲載情報の決定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学区内の危険場所・消火器設置場所・消火栓の位置、通学途上の危険箇所、一次避難場所(緊急的に一時避難する場所)、二次避難所(学区・行政が指定した施設で宿泊可)などのデータを各町内会より収集し、マップに落とし込む。 ・各町内会の避難ルートの確認。 ・要支援者の把握と援助手段。 <p>2.校正及びマップの印刷。</p> <p>3.学区全体へ「防災マップ」完成の案内。</p> <p>4.各町内会、公共施設、必要施設などに配布。</p> <p>5.「竜之口防災マップ」を使った図上防災訓練(DIG)、実際の避難訓練などを実施。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 毎年12月初めに行っていた防災訓練ですが防災マップが出来るという事で2月24日(日)に学区防災訓練を実施しました。 2) 学区で初めての合同の避難訓練を取り入れました。南海トラフ地震を想定、各町内会は防災マップを活用、避難場所へ集合、点呼を行い人数と安全の確認後、本部へ報告後、安全な避難経路を確認しながら小学校の避難所へ避難。 3) 避難所では人数と安全の報告。 4) 各避難場所の年齢、救護者等が避難所までの到着時間を確認のため計時を実施。

<p>② 解決を 目指し た課題</p>	<p>(課題)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 災害時の対策マニュアルや避難マニュアルがない。 2. 学区は避難経路や一部の町内会を除いて危険個所が共有できていない。 3. 学区は防災訓練は毎年実施しているが避難訓練はできていない、又、各町内会の平常時の避難訓練の徹底が必要と学区全体の避難訓練の実施が必要。 4. 要救護者の対策が把握できていない。
<p>③ 目的・ 目標の 達成状 況</p>	<p> ① 防災マップ作成→配布を計画→協議→正式配布 ② 地域部会→町→町内会→町民へ配布→町民へ説明 ③ 地域部会→町→町内会→町民へ配布→町民へ説明 ④ 地域部会→町→町内会→町民へ配布→町民へ説明 ⑤ 町民へ配布→町民へ説明→町民へ説明 ⑥ 町民へ配布→町民へ説明→町民へ説明 </p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 初めての学区全体の防災マップ作成について各町内会の委員が西日本豪雨の事も有り防災の関心が高い事を改めて確認出来ました。 2. 初めての学区全体の防災マップ作成について改めて危険箇所、施設等の再確認が出来ました。 3. 予定の期日にマップが完成、配付ができました。 4. 初めて学区全体で各町内から委員が選出され防災に関する諸協議を通し課題、問題点等の確認ができた。 5. 普段から防災マップの活用を行い、学区民の防災意識の高揚を図り、のいざの時に一人の犠牲者もない学区として安心・安全な町づくりに取り組みたいと思います。

<p>④ 企画等の工夫と情報公開</p>	<p>1. 第1回実行委員会でゼンリンの地図へ各町内会の危険箇所（用水路・ブロック塀）消火器設置場所、消火栓、井戸、避難場所を記述等する案を進めました。</p> <p>2. 第2回実行委員会の会議で自分が住んでいる場所の危険性等の意見が有り、協議、岡山市が発行しているハザードマップを利用できないか。</p> <p>3. ハザードマップを利用するにはパソコンの技術と時間が必要な事が判明。委員の中で出来る人が有りひと安心です。</p> <p>4. 当初から高齢者等また、誰にも見やすいマップの作成を計画でした、A2サイズで計画、学区は南北に広く地図全体と施設、危険箇所、文字を記入となると、文字は小さく見難い事が判り、委員の様々な意見の結果、避難所の小学校を中心に南北に分け、両面で計画変更しました。全体に大ききなり見やすくなりました。</p> <p>5. 学区は狭い道が多く避難経路が分り難いため道路幅を広げました。</p> <p>6. 各町内会から実行委員会へ2名以上の参加があり、実行委員会の情報を持ち帰り各町内会の意見、情報を取り入れた。</p>
<p>⑤ 次年度計画</p>	<p>まだまだ十分ではありません、今後の避難訓練等を通して問題点等を把握、確認しながら今後市から発行されるハザードマップへ2～3年後に反映、区づくり事業へ参加します。</p> <p>作成した「防災マップ」を有効に活用して行きます。</p>

の事業の実施上の方針を固く把握可能な地域づくりを推進することによって、持続可能な地域づくりに取り組む大層な思いが、地域課題の解決に高まっていること、本事業の目的が自己評価を記入した。

⑥事業実施者の評価・感想、審査会での助言及び意見を踏まえた改善

1. 防災訓練は防災マップを活用し実施、約 300 名の参加がありました、又、自主的な参加者もあり防災意識が高まったと思います。
2. 参加者からは大変判りやすい防災マップが出来たと喜んで頂きました。実行委員会の委員の皆さんが真剣に取り組んだ成果と思います。
3. 避難訓練の反省会を実施
 - 1) 多くの出席者からマップの活用に歓喜の言葉が有りました。
 - 2) まだまだ十分ではありません、今後の避難訓練等を通して問題点等を把握、確認しながら今後市から発行されるハザードマップへ反映します。

○区づくり推進事業審査会からの助言・意見の内容
 予算の詳細がわかりづらい。
 今回の報告書の中へ内訳を記入しました。

右記のⅠ～Ⅴの該当部分に○を付けてください、なお、Ⅳを選ばれたときは、その理由を下記（ ）内へ記入して下さい。

(理由：)
 初めての防災マップのため反省する事もありました。

助言等の内容について、改善ができましたか。

- Ⅰ できた
- ② おおむねできた
- Ⅲ 一部できなかった
- Ⅳ まったくできなかった
- Ⅴ 改善意見がなかった

⑦事業実施にあたっての協働の状況

協働した団体・企業・大学等	協働した内容
前土田町内会	危険箇所等調査及び情報提供
土田町内会	危険箇所等調査及び情報提供
東四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
中四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
東ヶ丘第一町内会	危険箇所等調査及び情報提供
西四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
中四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
南四御神町内会	危険箇所等調査及び情報提供
芙蓉町内会	危険箇所等調査及び情報提供
横縄手町内会	危険箇所等調査及び情報提供
東雄町町内会	危険箇所等調査及び情報提供
竜之口小学校	避難所
竜之口幼稚園	避難所
岡山県立東岡山工業高等学校	避難所
岡山県立聾学校	避難所

⑧事業実施経過 1/2

※時系列に沿って記入がないうち、事業実施の順序の準備段階は合町連合会日誌及び個人、団体の「前
 向き防災実施計画」の準備活動（実施計画）に記述したとおりである。

年 月 日	内 容
4月1日	第1回連合町内会 幹事会 防災マップの取り組み内容を検討
6月2日	第2回連合町内会 幹事会 防災マップ作成内容確認、区づくり事業へ申請を決議
6月28日	区づくり事業へ申請書 提出
8月5日	区づくり事業 審査会へ出席
9月16日	第1回防災マップ作成実行委員会開催 1)岡山市区づくり推進事業 審査会の報告 2)防災マップ作成の進め方 3)竜之口学区オリジナルのマップを作成
10月27日	第2回防災マップ作成実行委員会開催 1)各町内会の危険箇所、施設等を協議 2)岡山市のハザードマップを利用を確認
11月10日	第3回防災マップ作成実行委員会開催 1)各町内会のハザードマップへ転記の原稿確認 2) 防災マップの活用について
11月23日	第4回防災マップ作成実行委員会開催 1) 各町内会のハザードマップへ転記の有無を確認 2) 防災マップ マニュアルを検討

⑧事業実施経過 2/2

※時系列に沿って記述するが、事業実施のための準備（単位・合計町内会・会合日など）は記入しない。推
 助事業実施決定前の準備段階については記載しない。

年 月 日	内 容
1月6日	第5回防災マップ作成実行委員会開催 1) 防災マップの活用について 2) 学区防災訓練でマップを活用した避難訓練を実施決定 活用方法を協議、 3) 防災マップ 3,500 枚 印刷決定
1月26日	防災マップ 3,500 枚 完成
2月2日	第6回連合町内会 幹事会 1) 各町内会へ防災マップを配布 2) 学区防災訓練の概要及び防災マップの活用を説明
2月24日	学区防災訓練を実施 場所: 竜之口小学校 参加者: 約 300 人 内容: 避難訓練、起振車体験、スモークマシン体験、 西日本豪雨災害 パネル展
3月9日	防災マップ作成・学区防災訓練の反省会を開催 1. 防災マップ、学区防災訓練の課題・問題点 1) 防災訓練の目的の確認 2) 防災訓練の企画について 3) 参加者について 4) 防災マップの活用について 5) 竜之口学区の自主防災会について、自主防災体制 6) 防災訓練の有り方 7) 総括

事業実施メンバー (1/2)

	中込団体 での役職	氏 名	住 所	年令	備考 (加入団体等)
1	区づくり 審査員 会長	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	竜之口学区連合町内会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 会長 東四御神町内会 会長
2	副会長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 四御神町内会 会長
3	実行委員長				竜之口学区連合町内会 副会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 副会長 南四御神町内会 会長
4	事務局長				竜之口学区連合町内会 事務局長 竜之口学区体育協会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク事務局長 西四御神町内会 会長
5	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第三町内会 会長
6					
7	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 土田町内会 会長
8	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 中四御神町内会 会長
9	委員				竜之口学区環境衛生協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東雄町町内会 会長
10	委員				学区交通安全対策協議会 会長 竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 横縄手町内会 会長
11	委員 監事				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 芙蓉町内会 会長
12	委員 監事				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 東ヶ丘第一町内会 会長
13	会計				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口地区社会福祉協議会 会長
14	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区コミュニティ協議会 会長 地区民生委員児童委員協議会 会長
15	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区婦人会 会長
16	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区愛育委員会 会長
17	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区栄養改善委員協議会 会長
18	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校 校長
19	委員				竜之口小学校 教頭
20	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口幼稚園 園長

事業実施メンバー (2/2)

	申込団体 での役職	氏 名	住 所	年令	備考 (加入団体等)
21	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜操中学校PTA 竜之口地区 代表
22	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口小学校PTA 会長
23	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口幼稚園PTA 会長
24	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 竜之口学区交通安全母の会 会長
25	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 四御神郵便局 局長
26	委員				竜之口学区安全安心ネットワーク 委員 岡山市消防団財田分団
27	委員				西四御神町内会
28	委員				東ヶ丘第三町内会
29	委員				上田町内会
30	委員				土田町内会
31	委員				上田町内会
32	委員				南四御神町内会
33	委員				南四御神町内会
34	区づくり 審査員委員				南四御神町内会
35	委員				東雄町町内会
36	委員				東雄町町内会
37	委員				横縄手町内会
38	委員				横縄手町内会
39	委員				芙蓉町内会
40	委員				学区老人クラブ連合会 会長
41	委員				四御神町内会
42	委員				四御神町内会
43	委員				
44	委員				

⑩ 収 支 決 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	備 考
岡山市補助金	208,000	184,100	
負担金	52,000	46,138	連合町内会負担金
参加費			
寄付、他収入			
計	260,000	230,238	

◆ 支 出

単位:円

項 目	予 算 額	決 算 額	内 容 (必 ず 記 載 し て く だ さ い)
① 消耗品費		8,221	プリンタインク、用紙等
② 食糧費	10,000	6,904	会議時飲料代
③ 印刷製本費	250,000	215,113	会議用資料、マップ印刷
④ 燃料費			
⑤ 光熱水費			
⑥ 通信運搬費			
⑦ 広告料			
⑧ 手数料			
⑨ 使用料・賃借料			
⑩ 原材料費			
⑪ 委託料			
⑫ 工事請負費			
⑬ 報償費			
⑭ 保険料			
⑮ 旅費			
計	260,000	230,238	